

平成21年度 市民意識調査

新しいまちづくりによる市民満足度等
について

平成22年3月

北九州市

は じ め に

北九州市では、市民の意見を今後の市政運営に役立てるため、毎年「市政評価と市政要望」及び「特定テーマ」について市民意識調査を実施しています。

「特定テーマ」調査では市政の重要事項を取り上げており、本年度は「新しいまちづくりによる市民満足度等について」というテーマで調査を行い報告書にまとめました。

本市は、平成20年度に北九州市の基本構想「『元気発進！北九州』プラン」を策定しました。「人と文化を育み、世界につながる、環境と技術のまち」を目標に掲げ、今年度から取り組みを始めております。

今回の調査で寄せられた市民の皆さまのご意見については、本市がすすめるこれからのまちづくりの参考として活用させていただきたいと思っております。

アンケート調査にご協力くださいました皆さま方に、厚くお礼申し上げます。

平成22年3月

北九州市長 北 橋 健 治

目 次

調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
3 調査の実施	3
4 回収結果	4
調査結果	5
1 回答者の構成	5
2 調査の結果	6
(1) 子育てや教育について	6
(2) 生涯学習について	18
(3) 地域での支え合いについて	23
(4) 高齢者の暮らしについて	28
(5) 人にやさしいまちづくりについて	33
(6) 快適な生活空間について	38
(7) 文化やスポーツについて	43
(8) 町内会などの市民活動について	48
(9) 雇用の機会について	53
(10) 北九州市の魅力について	58
(11) 小倉・黒崎について	61
(12) 交通機能について	67
(13) 公共施設について	77
(14) 環境モデル都市について	82
(15) 市民の環境活動について	84
(16) 自然環境について	88
(17) 市民に身近な行政について	93
3 ま と め	98
資料編	
1 クロス集計表	107
2 調査票	143

新しいまちづくりによる市民満足度等 について

I 調査の概要

1 調査の目的

北九州市では、毎年度、特定テーマについて市民意識調査を実施している。平成 21 年度は、「新しいまちづくりによる市民満足度等について」というテーマで実施した。

平成 20 年 12 月に策定した『元気発進！北九州』プラン』によるまちづくりの成果を、子育てや教育、福祉、環境等の分野別に、市民の「満足感」、「実感」という観点から把握するために、本調査を実施した。

平成 21 年度の調査では、プランに基づくまちづくりの初年度における市政の満足度を調査したが、今後同様の調査を数年ごとに実施し、その数値の変化や、人口、市内総生産額等の基礎的なデータも参考にしながら、将来的なプランの見直しや評価のための参考資料として活用するもの。

2 調査の設計

(1) 調査票

この調査は、郵送調査で実施するため設問をできるだけ整理し、以下 17 分野 36 項目の設問で構成した。

なお、問1については、例年実施している「市政評価と市政要望」の設問であり、別途報告書作成を行っている。(調査票:巻末参照)

(1) 子育てや教育について		(4) 高齢者の暮らしについて	
問 2	子育てをめぐる環境づくりに対する満足感	問 6	高齢者に対するまちづくりへの満足感
副問1	安心して子育てができるまちだと感じられない理由	副問1	高齢者がいきいきと暮らしていけるまちと感じられない理由
問 3	子どもの教育をめぐる環境づくりへの満足感	(5) 人にやさしいまちづくりについて	
副問1	子どもたちが、いきいきと学び、成長していると感じられない理由	問 7	すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らせることへの満足感
(2) 生涯学習について		副問1	市民がお互いを尊重し、安心して暮らせるまちだと感じられない理由
問 4	生涯学習に関する環境づくりへの満足感	(6) 快適な生活空間について	
副問1	生涯学習の環境が整っていると感じられない理由	問 8	住みやすい生活環境を有するまちであることへの満足感
(3) 地域での支え合いについて		副問1	住みやすい、住み続けたい生活環境のまちだとは感じられない理由
問 5	地域とのつながりの中で、安心して暮らせることへの満足感	(7) 文化やスポーツについて	
副問1	地域での支え合いの活動による、暮らし良さが感じられない理由	問 9	芸術・文化・スポーツなどに親しめるまちであることに対する満足感
		副問1	芸術・文化・スポーツなどに親しめるまちだとは感じられない理由

(8) 町内会などの市民活動について		(13) 公共施設について	
問 10	町内会や市民活動に参加しやすい環境にあることへの満足感	問 17	28 市内の公共施設の安心、快適な利用に対する満足感
副問1	町内会や市民活動への参加のしやすさが感じられない理由	副問1	29 公共施設が、安心して、快適に利用できると感じられない理由
(9) 雇用の機会について		(14) 環境モデル都市について	
問 11	市が取り組む人材育成・就業支援策に対する満足感	問 18	30 「環境モデル都市」認定に対する市民の認知度
副問1	雇用機会の充実のための、市の取り組みが十分とは感じられない理由	(15) 市民の環境活動について	
(10) 北九州市の魅力について		問 19	31 市民の、環境へ配慮した生活行動の有無
問 12	21 市外からの来訪者に対して、自慢できるものの有無	問 20	32 市や市民が取り組む環境への配慮行動への満足感
(11) 小倉・黒崎について		(16) 自然環境について	
問 13	22 小倉都心のにぎわい印象にみる満足感	問 21	33 自然とふれ合える、身近な自然環境の存在に対する満足度
問 14	23 黒崎副都心のにぎわい印象に見る満足感	副問1	34 身近な自然環境の存在に対する不満の理由
(12) 交通機能について		(17) 市民に身近な行政について	
問 15	24 市内での車移動の利便性に対する印象	問 22	35 市民の意見が、市政に反映されていることへの満足感
副問1	25 市内での車移動の利便性が感じられない理由	副問1	36 市民の意見が、市政に反映されていると感じられない理由
問 16	26 市内での公共交通機関の利便性に対する印象	フェイスシート	性別・年齢・居住歴・職業 同居の家族
副問1	27 市内での公共交通機関の利便性が感じられない理由		

(2) 標本設計

[調査対象者]

市内に居住する 20 歳以上の男女個人 3,000 人(市内在住外国人 30 人含む)

[標本抽出]

標本抽出は、平成 21 年 9 月 1 日現在の住民基本台帳・外国人登録台帳(20 歳以上 802,782 人、外国人は 10,307 人)をもとに 3,000 人を等間隔抽出した。

行政区別の設定標本数

区 分	居 住 人 口	抽 出 標 本 数	構 成 比
門司区	91,433 人	339 (3) 人	11.3 %
小倉北区	152,045	560 (9)	18.7
小倉南区	172,870	639 (3)	21.3
若松区	71,869	266 (3)	8.9
八幡東区	61,810	228 (3)	7.6
八幡西区	210,773	778 (7)	25.9
戸畑区	52,289	190 (2)	6.3
計	813,089	3,000 (30)	100.0

(注1) 居住人口は 20 歳以上人口で抽出リード件数である

(注2) () 標本数は抽出した外国人 30 人の内訳である

(3) 調査方法

郵送調査法

3 調査の実施

この調査は、北九州市総務市民局市民部広聴課が主体となり実施したものである。

(1) 実査

調査票発送 平成 21 年 9 月 18 日

催告状発送 平成 21 年 9 月 25 日

回収締切り 平成 21 年 10 月 12 日

(2) 集計・分析

集計は、安川情報システム株式会社、分析・コメントは、北九州市立大学都市政策研究所が実施した。

数値の単位未満は四捨五入を原則としたので、総数と内容の合計は必ずしも一致しない場合がある。

4 回収結果

発送標本数 3,000 票のうち、回収標本総数は 1,644 票であった。このうち有効回収数は、1,618 票で、有効回収率は 53.9%であった。(昨年度は有効回収数 1,589 票、有効回収率は 53.0%)

なお、行政区別の回収状況は、下表のとおりである。

行政区別回収状況

区 分	設 定 標 本 数	有 効 回 収 数	有 効 回 収 率
門 司 区	339 人	189 人	55.8 %
小 倉 北 区	560	272	48.6
小 倉 南 区	639	325	50.9
若 松 区	266	150	56.4
八 幡 東 区	228	129	56.6
八 幡 西 区	778	442	56.8
戸 畑 区	190	111	58.4
計	3,000	1,618	53.9

(注 1)設定標本数は外国人(30 サンプル)を含む

II 調査結果

1 回答者の構成

有効回収数 1,618 票の標本は下表のとおりである。

回答者の構成

N : 1,618

性別	男性	女性	無回答				
	40.9%	58.3%	0.8%				
661人	944人	13人					
年齢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
	8.2%	13.7%	14.0%	18.5%	22.4%	22.4%	0.8%
132人	222人	227人	299人	362人	363人	13人	
居住歴	1年未満	2年未満	3年未満	5年未満	10年未満	20年未満	30年未満
	3.3%	2.7%	3.6%	5.5%	10.1%	17.4%	19.8%
	54人	44人	58人	89人	164人	282人	321人
	30年以上	無回答					
36.7%	0.8%						
593人	13人						
職業	自営業	自由業	会社員	公務員・教員	農・林・漁業	主婦・主夫 (パートなど)	主婦・主夫 (専業)
	6.7%	1.2%	23.2%	3.2%	0.6%	14.1%	20.3%
	109人	19人	376人	52人	10人	228人	329人
	学生	無職	その他	無回答			
1.5%	22.1%	5.5%	1.4%				
25人	358人	89人	23人				
同居の家族	1人暮らし	夫婦のみ	親子	親・子・孫	その他	無回答	
	11.9%	29.3%	45.4%	7.7%	4.3%	1.4%	
192人	474人	735人	125人	69人	23		
居住区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
	11.7%	16.8%	20.1%	9.3%	8.0%	27.3%	6.9%
189人	272人	325人	150人	129人	442人	111人	

なお、調査実施時の平成 21 年 9 月 30 日現在の住民基本台帳による 20 歳以上の北九州市民の性別、年齢、住居区の属性別構成は下表に示すとおりである。

これを、今年度調査の有効回収の標本構成と比較すると、性別では調査サンプルの男性が実態より 5.6 ポイント低い結果となっている。これを年齢別にみると、例年の傾向であるが、有効回答率の低さを反映してか 20 歳代で調査サンプルが住民基本台帳の実態ベースより 5.0 ポイント低く、逆に 60 歳代では調査サンプルのウエイトが 4.5 ポイント高いのが目立っている。なお、行政区別では概ね両者間に大きな差はみられていない。調査結果の解釈にあたっては、主にこの 3 点に関するウエイトの構成差異に留意されたい。

平成 21 年 9 月 30 日現在の住民基本台帳による人口構成 (20 歳以上)

性別	男	女					
	46.5%	53.5%					
年齢	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	
	13.2%	16.4%	14.5%	16.5%	17.9%	21.4%	
居住区	門司区	小倉北区	小倉南区	若松区	八幡東区	八幡西区	戸畑区
	11.3%	18.5%	21.4%	8.8%	7.7%	25.9%	6.4%

2 調査の結果

(1) 子育てや環境について

子育てをめぐる環境づくりに対する満足感

問2 北九州市では、放課後の子どもの居場所づくりや、母子健康診査の充実などによる、安心して子育てができる環境づくりを進めています。そこで、おたずねします。
あなたは、北九州市は安心して子育てができるまちだと感じていますか。

N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	43	2.7
2 ある程度感じている	587	36.3
3 どちらとも言えない	500	30.9
4 あまり感じていない	329	20.3
5 ほとんど感じていない	67	4.1
無回答	92	5.7

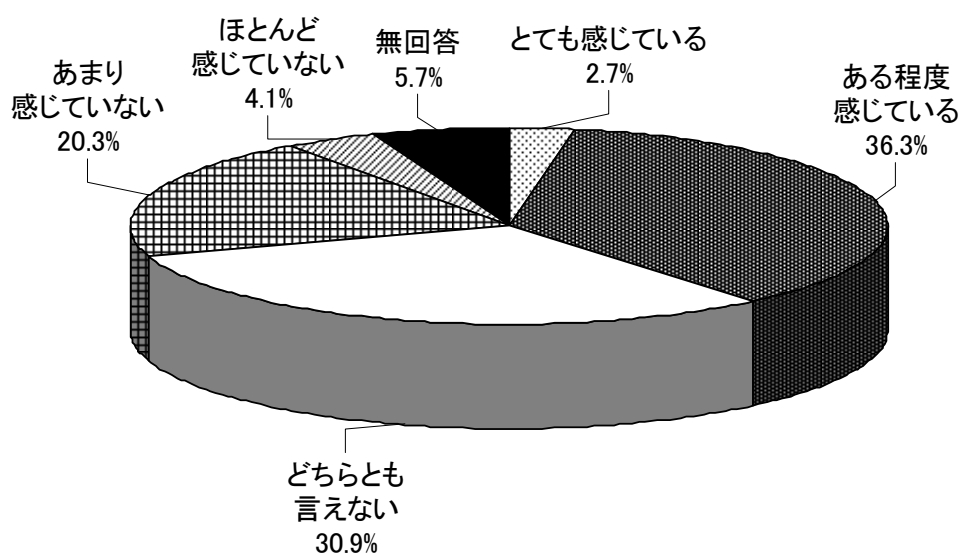
子育てをめぐる環境に対する市民の満足感は、

・肯定層 39.0%

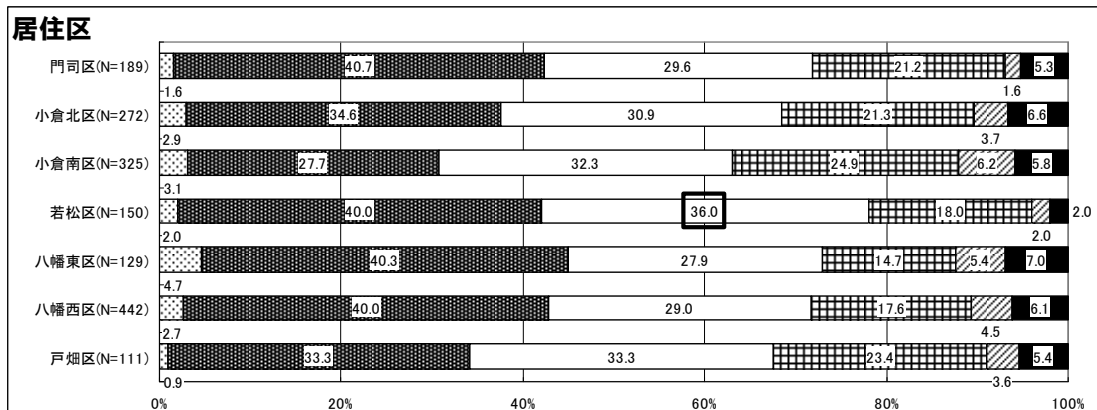
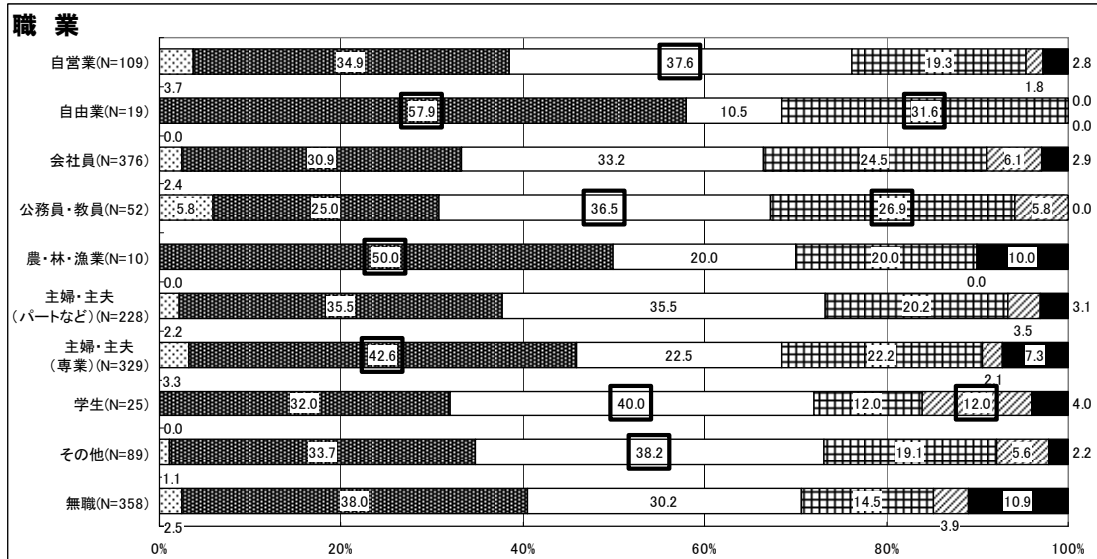
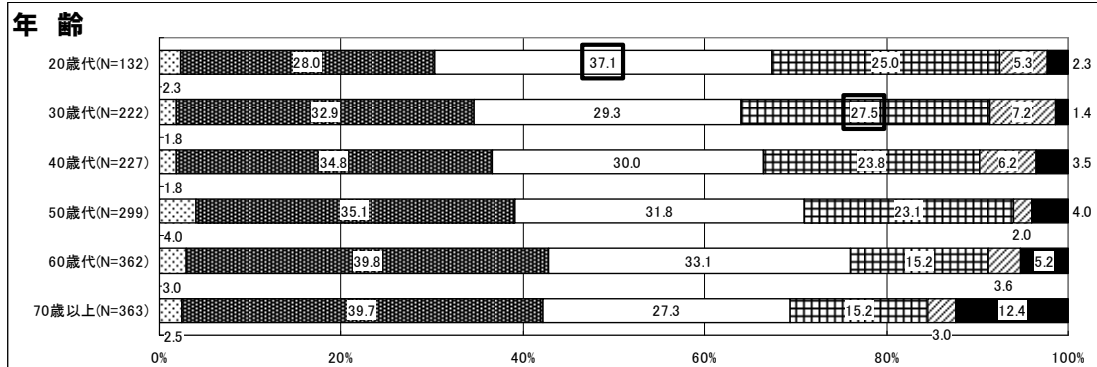
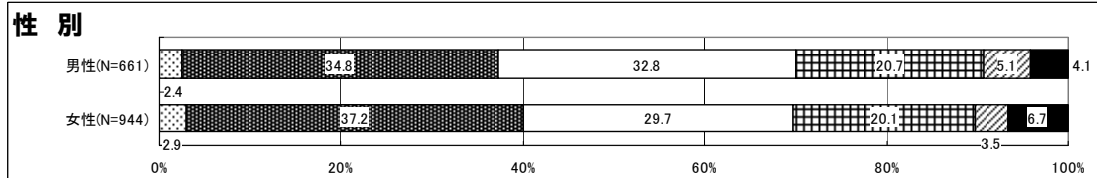
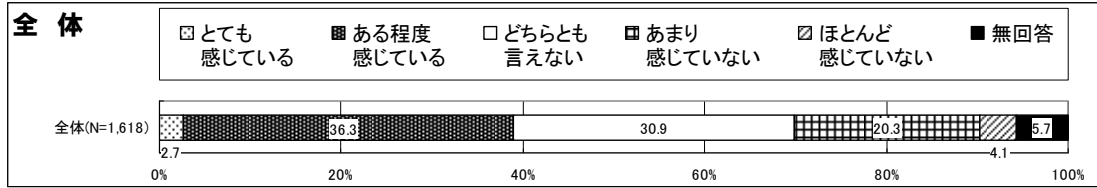
(「とても感じている」2.7% + 「ある程度感じている」36.3%)

・否定層 24.4%

(「あまり感じていない」20.3% + 「ほとんど感じていない」4.1%)



問2 子育てをめぐる環境づくりに対する満足感



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

安心して子育てができるまちだと感じられない理由

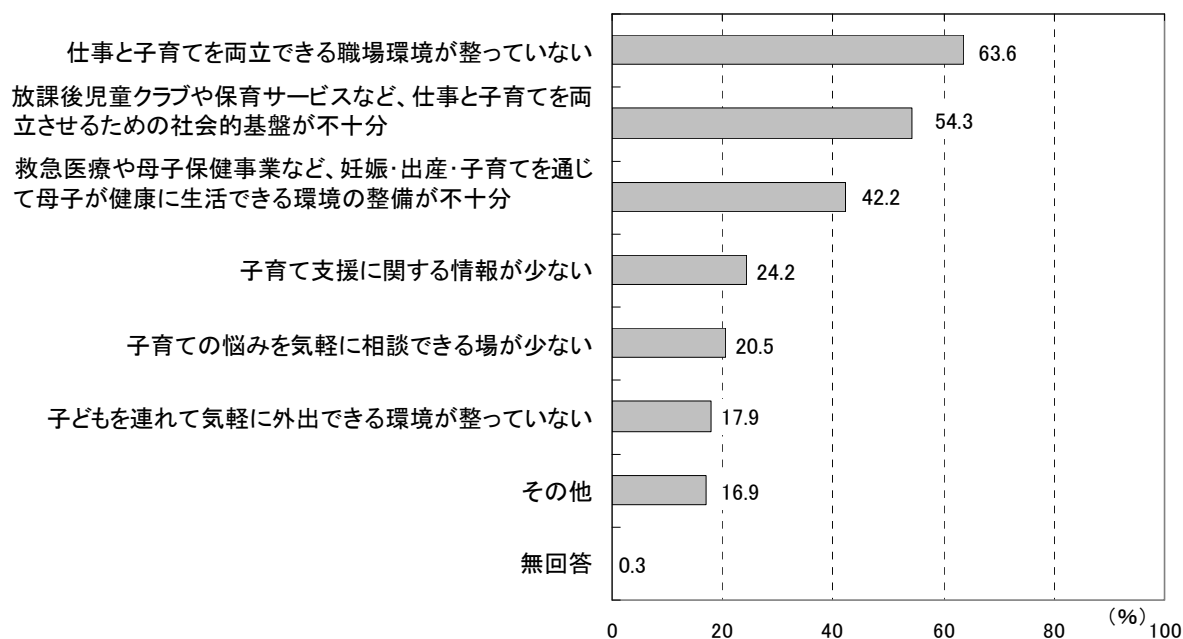
副問2-1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを3つまで選んで下さい。

N:396人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 子育て支援に関する情報が少ない	96	24.2
2 仕事と子育てを両立できる職場環境が整っていない	252	63.6
3 放課後児童クラブや保育サービスなど、仕事と子育てを両立させるための社会的基盤が不十分	215	54.3
4 救急医療や母子保健事業など、妊娠・出産・子育てを通じて母子が健康に生活できる環境の整備が不十分	167	42.2
5 子育ての悩みを気軽に相談できる場が少ない	81	20.5
6 子どもを連れて気軽に外出できる環境が整っていない	71	17.9
7 その他(具体的に:)	67	16.9
無回答	1	0.3

安心して子育てができるまちだと感じられない主な理由は、

- 1位 「仕事と子育てを両立できる職場環境が整っていない」(63.6%)
- 2位 「放課後児童クラブや保育サービスなど、仕事と子育てを両立させるための社会的基盤が不十分」(54.3%)
- 3位 「救急医療や母子保健事業など、妊娠・出産・子育てを通じて母子が健康に生活できる環境の整備が不十分」(42.2%)



副問2 - 1 安心して子育てができるまちだと感じられない理由

	サンプル数	子育て支援に関する情報が少ない	仕事と子育てを両立できる職場環境が整っていない	放課後児童クラブや保育サービスなど、仕事と子育てを両立させるための社会的基盤が不十分	環境の整備が健康に生活できるほど、妊娠や母子保健事業など、出産・子育てをスムーズにできる	子育ての悩みを気軽に相談できる場が少ない	子どもを連れて気軽に外出できる環境が整っていない	その他	無回答	
全体	396	24.2	63.6	54.3	42.2	20.5	17.9	16.9	0.3	
性別	男性	171	25.7	56.7	55.0	38.0	21.1	18.1	0.0	
	女性	223	23.3	69.1	53.8	45.3	19.7	17.9	16.1	0.4
年齢	20歳代	40	45.0	75.0	57.5	45.0	10.0	17.5	12.5	0.0
	30歳代	77	22.1	64.9	62.3	32.5	14.3	24.7	27.3	0.0
	40歳代	68	20.6	55.9	51.5	36.8	13.2	19.1	29.4	0.0
	50歳代	75	24.0	72.0	56.0	60.0	24.0	18.7	8.0	0.0
	60歳代	68	19.1	63.2	48.5	42.6	26.5	13.2	13.2	1.5
	70歳以上	66	24.2	54.5	50.0	36.4	30.3	13.6	9.1	0.0
現在地での居住年数	1年未満	12	25.0	58.3	50.0	50.0	8.3	16.7	25.0	0.0
	2年未満	21	33.3	66.7	61.9	47.6	9.5	14.3	23.8	0.0
	3年未満	12	33.3	66.7	41.7	33.3	16.7	33.3	16.7	0.0
	5年未満	27	29.6	70.4	51.9	29.6	11.1	14.8	25.9	0.0
	10年未満	52	23.1	57.7	55.8	25.0	25.0	9.6	21.2	1.9
	20年未満	70	24.3	64.3	57.1	44.3	15.7	24.3	18.6	0.0
	30年以上	72	22.2	66.7	56.9	55.6	13.9	22.2	9.7	0.0
職業	128	22.7	62.5	51.6	42.2	29.7	15.6	14.8	0.0	
	自営業	23	26.1	47.8	56.5	34.8	21.7	26.1	17.4	0.0
	自由業	6	33.3	66.7	50.0	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0
	会社員	115	27.0	60.9	60.0	39.1	15.7	18.3	19.1	0.0
	公務員・教員	17	11.8	76.5	64.7	52.9	17.6	35.3	17.6	0.0
	農・林・漁業	2	0.0	100.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	54	24.1	75.9	55.6	46.3	16.7	5.6	24.1	0.0
	主婦・主夫(専業)	80	22.5	67.5	47.5	52.5	28.8	22.5	11.3	0.0
	学生	6	16.7	66.7	50.0	83.3	16.7	33.3	0.0	0.0
	無職	66	25.8	57.6	51.5	33.3	22.7	15.2	15.2	1.5
その他	22	22.7	54.5	50.0	18.2	18.2	18.2	22.7	0.0	
同居の家族	1人暮らし	45	20.0	55.6	37.8	53.3	22.2	15.6	11.1	0.0
	夫婦のみ	104	24.0	63.5	53.8	35.6	27.9	17.3	7.7	0.0
	親子(2世代)	195	25.6	67.2	55.9	44.6	15.4	17.9	21.5	0.5
	親・子・孫	30	13.3	56.7	60.0	43.3	23.3	23.3	23.3	0.0
	その他	18	33.3	61.1	72.2	27.8	22.2	16.7	22.2	0.0
居住区	門司区	43	25.6	69.8	58.1	41.9	27.9	23.3	11.6	0.0
	小倉北区	68	26.5	55.9	47.1	30.9	17.6	13.2	25.0	0.0
	小倉南区	101	25.7	70.3	51.5	43.6	19.8	20.8	12.9	0.0
	若松区	30	6.7	50.0	50.0	50.0	26.7	20.0	16.7	0.0
	八幡東区	26	30.8	65.4	76.9	42.3	15.4	15.4	7.7	0.0
	八幡西区	98	23.5	65.3	56.1	42.9	15.3	18.4	20.4	1.0
	戸畑区	30	26.7	56.7	53.3	53.3	33.3	10.0	16.7	0.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

子育てをめぐる環境づくりに対する満足感

【 全体的傾向 】

安心して子育てができるまちだと感じているかどうかをみると、「とても感じている」は2.7%、「ある程度感じている」は36.3%、合計すると、肯定層は39.0%である。一方、「あまり感じていない」は20.3%、「ほとんど感じていない」は4.1%、合計すると、否定層は24.4%である。

肯定層（39.0%）が否定層（24.4%）を14.6ポイント上回っている。

【 属性別にみた傾向 】

- 年齢別にみると、肯定層の割合は、20歳代では30.3%であるが、70歳以上では42.2%となっており、年齢が高いほど高くなっている。一方、否定層は子育ての中心の年齢層である20～40歳代で高く、中でも、30歳代で34.7%と高くなっている。
- 職業別にみると、肯定層は主婦・主夫（専業）（45.9%）で高く、反対に、否定層は公務員・教員（32.7%）、会社員（30.6%）で高くなっている。

（注）自由業、農・林・漁業、学生については、サンプル数が少なくなるため、コメントではふれないことにする。（以下、同様）

- 居住区別にみると、肯定層は八幡東区（45.0%）で最も高く、最も低いのは小倉南区（30.8%）であり、居住区別の差がみられる。

安心して子育てができるまちだと感じられない理由

【 全体的傾向 】

安心して子育てができるまちだと感じられない主な理由は、「仕事と子育てを両立できる職場環境が整っていない」（63.6%）をトップに、「放課後児童クラブや保育サービスなど、仕事と子育てを両立させるための社会的基盤が不十分」（54.3%）、「救急医療や母子保健事業など、妊娠・出産・子育てを通じて母子が健康に生活できる環境の整備が不十分」（42.2%）となっている。

【 属性別にみた傾向 】

- 性別にみると、女性では「仕事と子育てを両立できる職場環境が整っていない」が69.1%と特に高く、男性（56.7%）との意識の差が大きくなっている。
- 年齢別にみると、「仕事と子育てを両立できる職場環境が整っていない」は20歳代（75.0%）、50歳代（72.0%）、「放課後児童クラブや保育サービスなど、仕事と子育てを両立させるための社会的基盤が不十分」は30歳代（62.3%）、「救急医療や母子保健事業など、妊娠・出産・子育てを通じて母子が健康に生活できる環境の整備が不十分」は50歳代（60.0%）で特に高くなっている。
- 子育て世代の中心年齢層である20歳～40歳代で否定層が多くなっている要因として、「仕事と子育てを両立できる職場環境が整っていない」が特に高く、次いで「放課後児童クラブや保育サービスなど、仕事と子育てを両立させるための社会的基盤が不十分」を挙げている。

【 自由記入欄の回答状況 】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 地域ぐるみの子育てに閉鎖的。
- ・ 市の施設（公園、博物館等）を利用する際の駐車代金を無料化すべき。
- ・ 子どもが安心して遊べる場所が少なくなった。

子どもの教育をめぐる環境づくりへの満足感

問3 北九州市では、家庭・学校・地域が連携しながら、確かな学力と体力を向上させる教育の充実や心の教育の推進、非行から子どもを守る環境づくりなどに取り組んでいます。そこで、おたずねします。

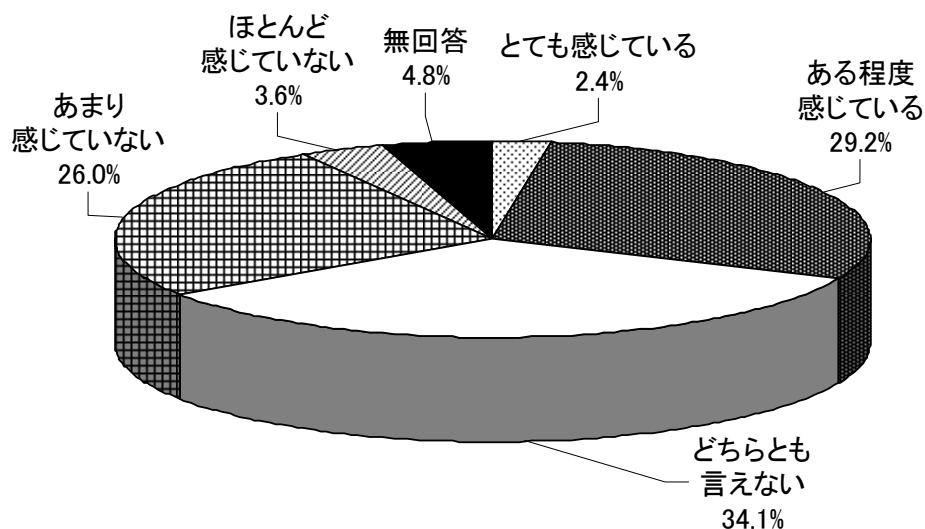
あなたは、北九州市の子どもたちは、いきいきと学び、成長していると感じますか。

N:1,618人

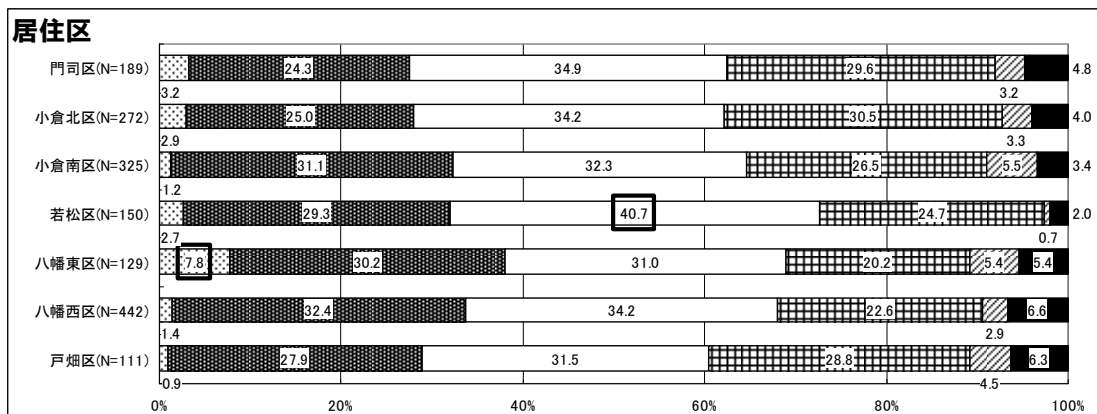
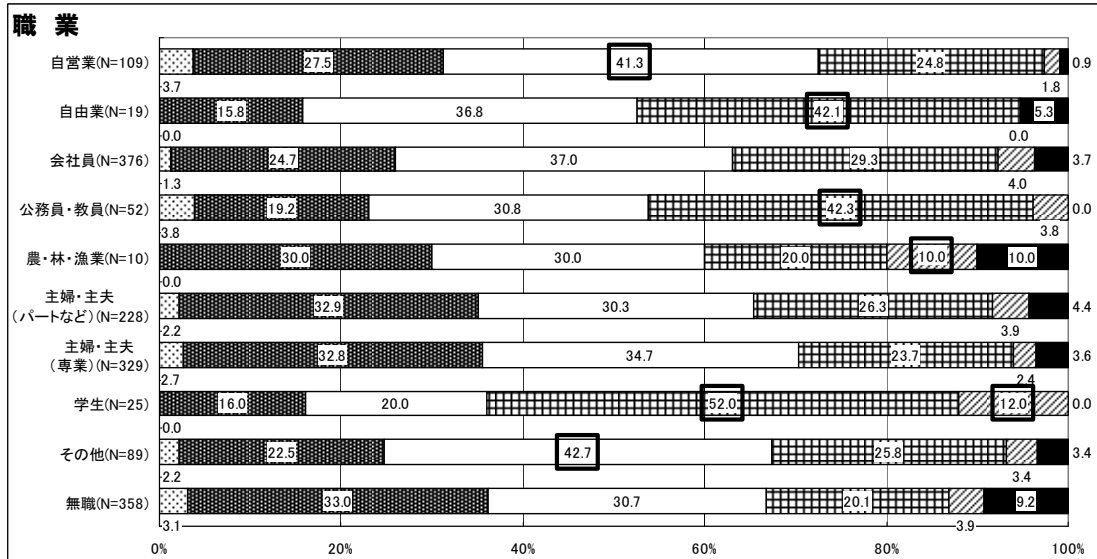
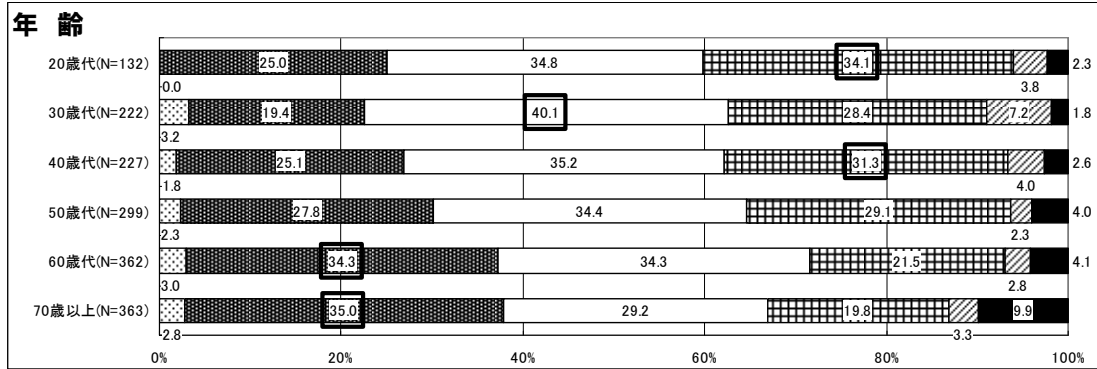
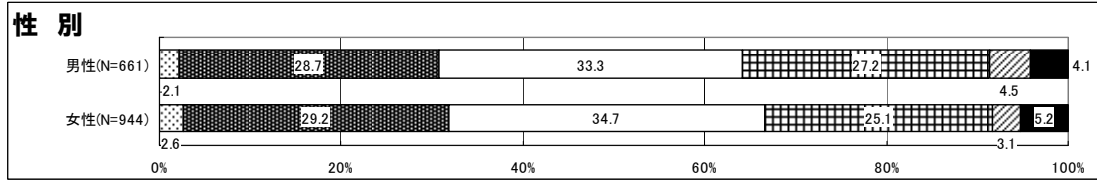
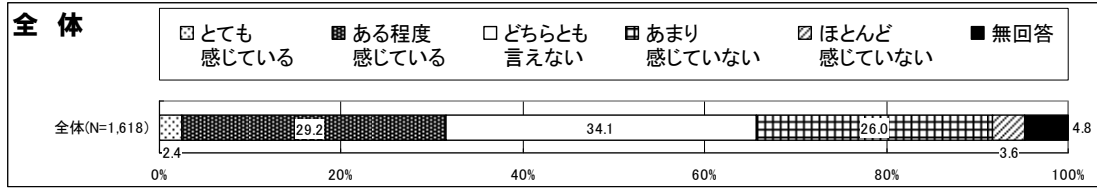
項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	39	2.4
2 ある程度感じている	472	29.2
3 どちらとも言えない	551	34.1
4 あまり感じていない	420	26.0
5 ほとんど感じていない	59	3.6
無回答	77	4.8

子どもの教育をめぐる環境づくりに対する市民の満足感は、

- ・肯定層 31.6%
(「とても感じている」2.4% + 「ある程度感じている」29.2%)
- ・否定層 29.6%
(「あまり感じていない」26.0% + 「ほとんど感じていない」3.6%)



問3 子どもの教育をめぐる環境づくりへの満足感



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

子どもたちが、いきいきと学び、成長していると感じられない理由

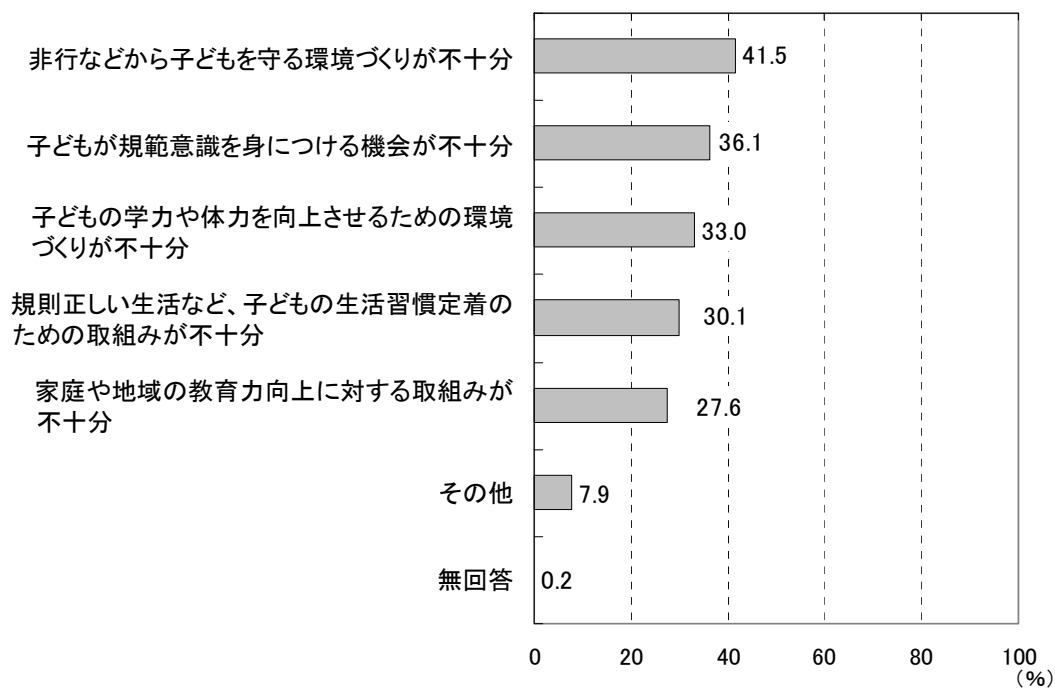
副問3 - 1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

N:479人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 子どもの学力や体力を向上させるための環境づくりが不十分	158	33.0
2 規則正しい生活など、子どもの生活習慣定着のための取組みが不十分	144	30.1
3 子どもが規範意識を身につける機会が不十分	173	36.1
4 家庭や地域の教育力向上に対する取組みが不十分	132	27.6
5 非行などから子どもを守る環境づくりが不十分	199	41.5
6 その他(具体的に:)	38	7.9
無回答	1	0.2

子どもたちが、いきいきと学び、成長していると感じられない主な理由は、

- 1位 「非行などから子どもを守る環境づくりが不十分」(41.5%)
- 2位 「子どもが規範意識を身につける機会が不十分」(36.1%)
- 3位 「子どもの学力や体力を向上させるための環境づくりが不十分」(33.0%)



副問3 - 1 子どもたちが、いきいきと学び、成長していると感じられない理由

		サ ン プ ル 数	り 上 子 め ど 規 つ 子 に 家 る 非 そ 他	が さ の の も 則 け ど も 対 環 行 他	不 十 分 の 学 力 や 体 力 を 向 く	組 み が 不 十 分 な 習 慣 な ど 、 た 子	生 活 な ど 、 子	こ れ が 規 範 意 識 を 身 に	取 組 み が 不 十 分 な 教 育 力 向 上	な ど か ら 子 ど も を 守	無 回 答
全体		479	33.0	30.1	36.1	27.6	41.5	7.9	0.2		
性 別	男性	210	25.7	28.1	36.7	25.7	44.3	9.0	0.0		
	女性	266	38.7	31.2	35.7	28.9	39.5	7.1	0.4		
年 齢	20歳代	50	30.0	30.0	36.0	20.0	50.0	6.0	0.0		
	30歳代	79	31.6	29.1	40.5	30.4	40.5	8.9	0.0		
	40歳代	80	38.8	21.3	40.0	31.3	40.0	11.3	0.0		
	50歳代	94	34.0	33.0	35.1	28.7	42.6	6.4	1.1		
	60歳代	88	26.1	29.5	37.5	26.1	45.5	8.0	0.0		
	70歳以上	84	35.7	35.7	28.6	26.2	33.3	7.1	0.0		
現在地での 居住年数	1年未満	15	46.7	20.0	46.7	20.0	26.7	6.7	0.0		
	2年未満	14	28.6	42.9	35.7	28.6	42.9	14.3	0.0		
	3年未満	18	33.3	16.7	38.9	27.8	33.3	11.1	0.0		
	5年未満	22	18.2	27.3	40.9	36.4	36.4	9.1	0.0		
	10年未満	60	38.3	30.0	38.3	23.3	51.7	6.7	0.0		
	20年未満	92	37.0	23.9	31.5	32.6	41.3	10.9	0.0		
	30年未満	104	30.8	32.7	37.5	26.9	45.2	5.8	0.0		
30年以上	151	31.1	33.1	35.1	25.8	38.4	7.3	0.7			
職 業	自営業	29	27.6	10.3	41.4	31.0	27.6	17.2	0.0		
	自由業	8	25.0	12.5	37.5	37.5	62.5	0.0	0.0		
	会社員	125	32.8	28.0	38.4	27.2	47.2	3.2	0.0		
	公務員・教員	24	29.2	25.0	33.3	54.2	37.5	12.5	0.0		
	農・林・漁業	3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0		
	主婦・主夫(パートなど)	69	39.1	27.5	34.8	27.5	44.9	5.8	0.0		
	主婦・主夫(専業)	86	41.9	38.4	37.2	24.4	36.0	4.7	1.2		
	学生	16	31.3	37.5	37.5	12.5	43.8	6.3	0.0		
	無職	86	27.9	26.7	32.6	24.4	44.2	12.8	0.0		
その他	26	15.4	50.0	34.6	26.9	34.6	15.4	0.0			
同居の家族	1人暮らし	57	33.3	28.1	31.6	24.6	36.8	10.5	0.0		
	夫婦のみ	119	30.3	32.8	36.1	29.4	40.3	5.0	0.8		
	親子(2世代)	244	34.0	29.5	36.1	28.3	43.4	8.6	0.0		
	親・子・孫	30	36.7	30.0	43.3	20.0	33.3	6.7	0.0		
	その他	22	36.4	22.7	36.4	27.3	50.0	9.1	0.0		
居住区	門司区	62	32.3	38.7	35.5	30.6	35.5	6.5	0.0		
	小倉北区	92	25.0	31.5	32.6	23.9	43.5	9.8	1.1		
	小倉南区	104	30.8	30.8	31.7	34.6	38.5	7.7	0.0		
	若松区	38	55.3	23.7	31.6	36.8	23.7	7.9	0.0		
	八幡東区	33	33.3	30.3	33.3	21.2	54.5	9.1	0.0		
	八幡西区	113	37.2	25.7	40.7	24.8	44.2	8.0	0.0		
	戸畑区	37	24.3	29.7	51.4	16.2	54.1	5.4	0.0		

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

子どもの教育をめぐる環境づくりへの満足感

【 全 体 的 傾 向 】

子どもたちがいきいきと学び、成長していると感じているかどうかをみると、「とても感じている」は2.4%、「ある程度感じている」が29.2%、合計すると、肯定層は31.6%である。一方、「あまり感じていない」は26.0%、「ほとんど感じていない」は3.6%、合計すると、否定層は29.6%である。

肯定層（31.6%）と否定層（29.6%）はほぼ同程度となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、年齢が高いほど肯定層の割合が高く、逆に、否定層の割合は年齢が低いほど高くなっている。
- 職業別にみると、公務員・教員で否定層が46.1%と高くなっている。
- 居住区別にみると、肯定層は八幡東区で38.0%と最も高く、門司区で27.5%と最も低くなっており、その差は10.5ポイントである。

子どもたちが、いきいきと学び、成長していると感じられない理由

【 全 体 的 傾 向 】

子どもたちがいきいきと学び、成長していると感じられない主な理由は、「非行などから子どもを守る環境づくりが不十分」(41.5%)が最も高く、次いで、「子どもが規範意識を身につける機会が不十分」(36.1%)、「子どもの学力や体力を向上させるための環境づくりが不十分」(33.0%)となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、20歳代で「非行などから子どもを守る環境づくりが不十分」(50.0%)、70歳以上では、「規則正しい生活など、子どもの生活習慣定着のための取組みが不十分」(35.7%)が高くなっているなど、年齢層により微妙な差がみられる。
- 子育て世代の中心年齢層である20歳～40歳代で否定層が多くなっている要因として、「非行などから子どもを守る環境づくりが不十分」「子どもが規範意識を身につける機会が不十分」「子どもの学力や体力を向上させるための環境づくりが不十分」を挙げている。
- 職業別にみると、主婦・主夫では「非行などから子どもを守る環境づくりが不十分」や「子どもの学力や体力を向上させるための環境づくりが不十分」という環境面を挙げているのに対し、公務員・教員は「家庭や地域の教育力向上に対する取組みが不十分」が最も高く、半数を超えている。
- 居住区別にみると、若松区で「子どもの学力や体力を向上させるための環境づくりが不十分」(55.3%)、八幡東区で「非行などから子どもを守る環境づくりが不十分」(54.5%)、戸畑区で「非行などから子どもを守る環境づくりが不十分」(54.1%)、「子どもが規範意識を身につける機会が不十分」(51.4%)が半数を超えて高くなっている。

【 自由記入欄の回答状況 】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 家庭での子どものしつけが不十分。
- ・ 教員の質が低下している。
- ・ 経済的な格差が子どもの教育に影響している。

(2) 生涯学習について

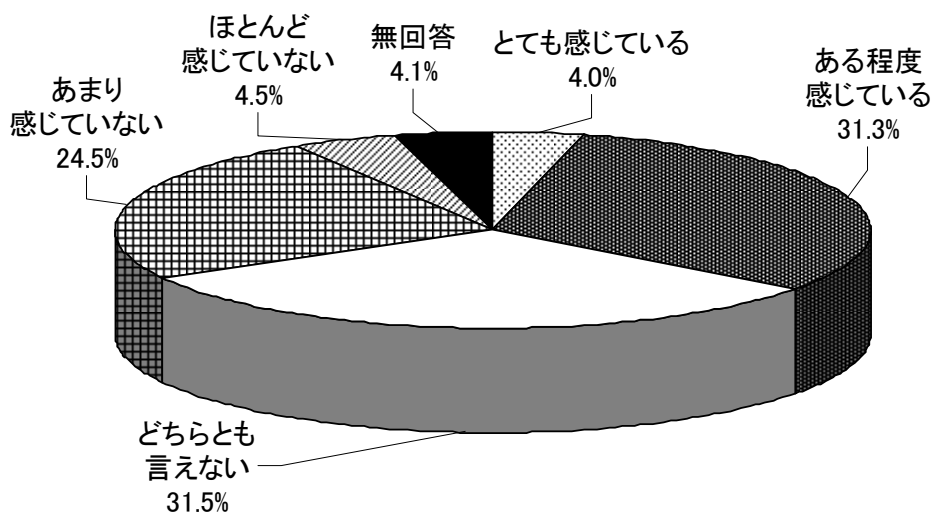
生涯学習に関する環境づくりへの満足感

問4 北九州市では、市民センターや生涯学習センター、図書館等の生涯学習関連施設において、個人の意欲や能力に応じて学ぶことができる生涯学習の推進や、地域活動を支える人材の育成を図るため、ボランティア活動等に関する講座の実施や情報の提供に取り組んでいます。そこで、おたずねします。
あなたは、北九州市は生涯にわたって自由に学び、その成果を活かした活動を行う環境が整っていると感じますか。

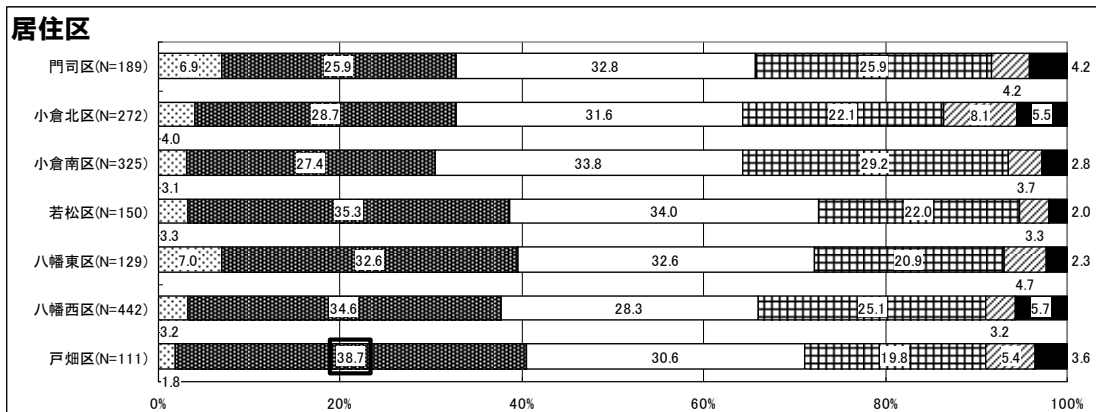
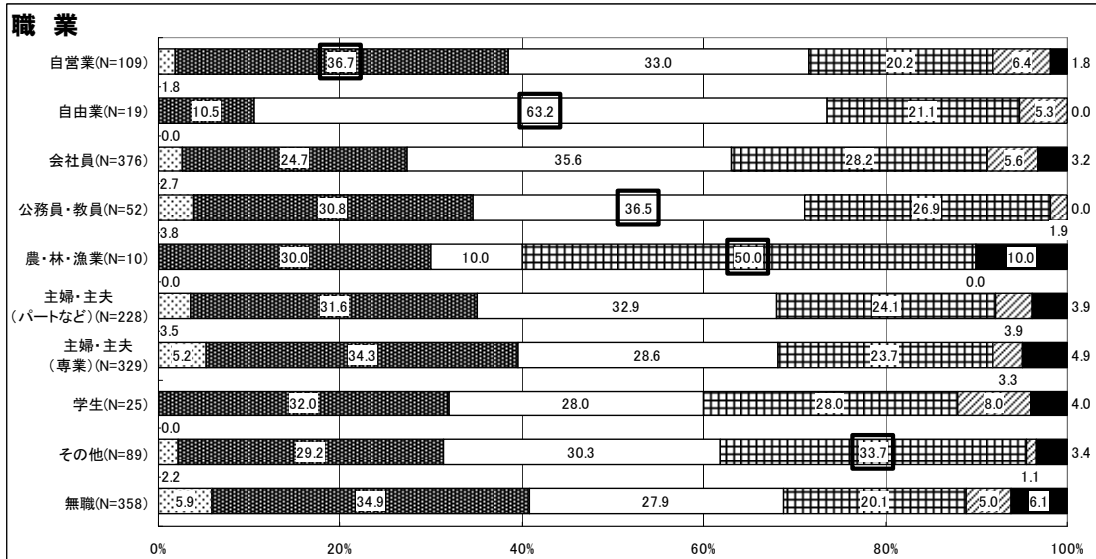
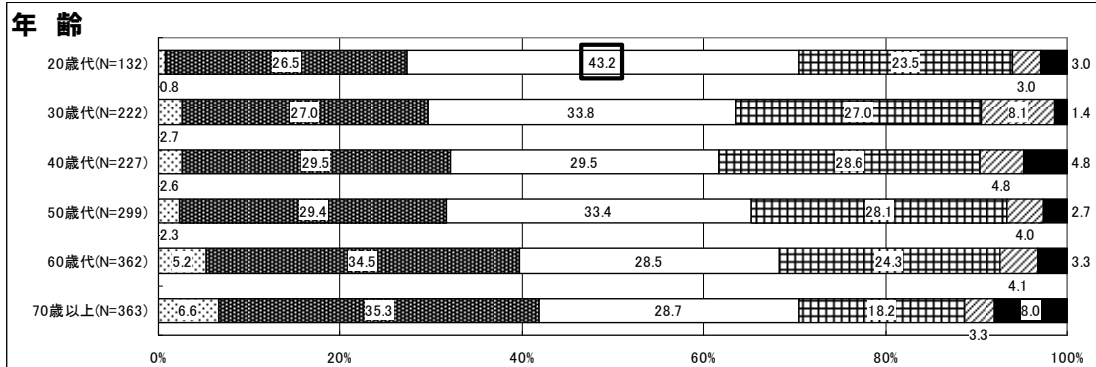
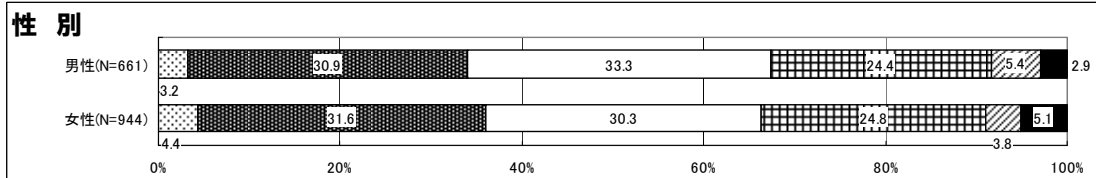
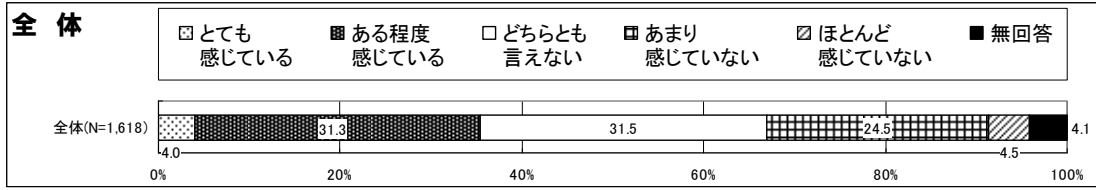
N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	64	4.0
2 ある程度感じている	507	31.3
3 どちらとも言えない	510	31.5
4 あまり感じていない	397	24.5
5 ほとんど感じていない	73	4.5
無回答	67	4.1

生涯学習に関する環境整備への市民の満足感は、
 ・肯定層 35.3%
 (「とても感じている」4.0% + 「ある程度感じている」31.3%)
 ・否定層 29.0%
 (「あまり感じていない」24.5% + 「ほとんど感じていない」4.5%)



問4 生涯学習に関する環境づくりへの満足感



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

生涯学習の環境が整っていると感じられない理由

副問4 - 1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

N:470人

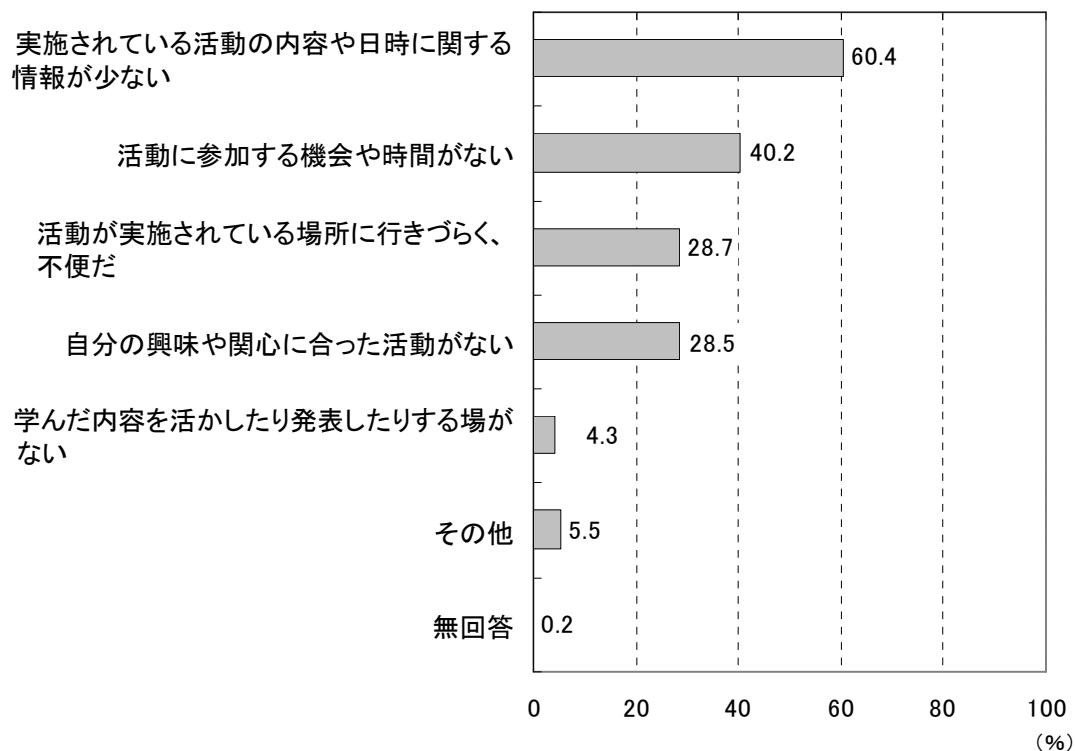
項目	回答数(人)	割合(%)
1 実施されている活動の内容や日時に関する情報が少ない	284	60.4
2 活動が実施されている場所に行きづらく、不便だ	135	28.7
3 自分の興味や関心に合った活動がない	134	28.5
4 学んだ内容を活かしたり発表したりする場がない	20	4.3
5 活動に参加する機会や時間がない	189	40.2
6 その他(具体的に:)	26	5.5
無回答	1	0.2

生涯にわたって自由に学び、活動を行う環境が整っていると感じにくい主な理由は、

1位 「実施されている活動の内容や日時に関する情報が少ない」(60.4%)

2位 「活動に参加する機会や時間がない」(40.2%)

3位 「活動が実施されている場所に行きづらく、不便だ」(28.7%)



副問4 - 1 生涯学習の環境が整っていると感じられない理由

	サンプル数	報 内 容 が 少 な い 時 に 関 する 活 動 の	便 場 活 動 が 実 施 さ れ て い る 不	合 自 分 の 興 味 や 関 心 に	な り 学 ん だ 内 容 を 活 か し た	時 間 が な い 参 加 す る 機 会 や	そ の 他	無 回 答	
全体	470	60.4	28.7	28.5	4.3	40.2	5.5	0.2	
性 別	男性	197	64.0	24.9	29.9	4.6	38.6	5.1	0.0
	女性	270	58.1	30.7	27.8	4.1	41.5	5.9	0.4
年 齢	20歳代	35	65.7	34.3	28.6	5.7	28.6	5.7	0.0
	30歳代	78	61.5	20.5	25.6	7.7	42.3	10.3	0.0
	40歳代	76	69.7	22.4	28.9	1.3	50.0	2.6	0.0
	50歳代	96	62.5	34.4	22.9	4.2	46.9	3.1	0.0
	60歳代	103	54.4	30.1	36.9	4.9	37.9	4.9	0.0
	70歳以上	78	55.1	28.2	28.2	2.6	28.2	7.7	1.3
現在地での 居住年数	1年未満	17	64.7	29.4	23.5	5.9	23.5	5.9	0.0
	2年未満	19	73.7	21.1	21.1	5.3	42.1	5.3	0.0
	3年未満	17	64.7	35.3	11.8	11.8	29.4	5.9	0.0
	5年未満	23	69.6	21.7	30.4	8.7	34.8	17.4	0.0
	10年未満	54	59.3	29.6	37.0	1.9	44.4	1.9	0.0
	20年未満	82	57.3	28.0	30.5	6.1	48.8	2.4	0.0
	30年未満	89	59.6	29.2	27.0	4.5	42.7	5.6	0.0
	30年以上	166	59.6	28.3	28.9	2.4	36.7	6.6	0.6
職 業	自営業	29	72.4	17.2	27.6	6.9	41.4	0.0	0.0
	自由業	5	60.0	20.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0
	会社員	127	70.1	21.3	22.0	2.4	47.2	4.7	0.0
	公務員・教員	15	46.7	40.0	40.0	6.7	33.3	0.0	0.0
	農・林・漁業	5	60.0	40.0	20.0	0.0	80.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	64	54.7	29.7	29.7	7.8	54.7	7.8	0.0
	主婦・主夫(専業)	89	58.4	40.4	30.3	3.4	32.6	1.1	0.0
	学生	9	55.6	22.2	33.3	11.1	11.1	11.1	0.0
	無職	90	53.3	28.9	34.4	4.4	25.6	10.0	1.1
	その他	31	61.3	19.4	32.3	3.2	45.2	9.7	0.0
同居の家族	1人暮らし	55	67.3	18.2	32.7	5.5	34.5	5.5	1.8
	夫婦のみ	112	58.9	24.1	34.8	2.7	42.9	1.8	0.0
	親子(2世代)	244	59.4	31.1	27.0	4.5	40.6	8.2	0.0
	親・子・孫	29	65.5	27.6	17.2	10.3	37.9	3.4	0.0
	その他	24	58.3	45.8	20.8	0.0	41.7	0.0	0.0
居住区	門司区	57	64.9	21.1	29.8	5.3	28.1	8.8	0.0
	小倉北区	82	62.2	22.0	23.2	4.9	41.5	6.1	1.2
	小倉南区	107	65.4	33.6	26.2	3.7	42.1	2.8	0.0
	若松区	38	52.6	39.5	28.9	2.6	39.5	2.6	0.0
	八幡東区	33	51.5	18.2	33.3	3.0	48.5	9.1	0.0
	八幡西区	125	56.8	34.4	32.0	4.8	37.6	7.2	0.0
	戸畑区	28	64.3	17.9	28.6	3.6	57.1	0.0	0.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

生涯学習に関する環境づくりへの満足感

【 全 体 的 傾 向 】

生涯にわたって自由に学び、その成果を活かした活動を行う環境が整っていると感じているかどうかをみると、「とても感じている」は4.0%、「ある程度感じている」は31.3%、合計すると、肯定層は35.3%である。一方、「あまり感じていない」は24.5%、「ほとんど感じていない」は4.5%、合計すると、否定層は29.0%である。

肯定層（35.3%）が否定層（29.0%）を6.3ポイント上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、肯定層の割合は20歳代では27.3%であるが、70歳以上では41.9%にも達しており、年齢が高いほど高くなっている。
- 居住区別にみると、肯定層は戸畑区で40.5%と最も高く、小倉南区で30.5%と最も低くなっている。

生涯学習の環境が整っていると感じられない理由

【 全 体 的 傾 向 】

生涯にわたって自由に学び、その成果を活かした活動を行う環境が整っていると感じられない主な理由は、「実施されている活動の内容や日時に関する情報が少ない」が60.4%と特に高く、次いで、「活動に参加する機会や時間がない」が40.2%となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、40歳代、50歳代では「活動に参加する機会や時間がない」が他の年齢層よりも高くなっている。
- 職業別にみると、主婦・主夫（専業）では「活動が実施されている場所に行きづらく、不便だ」が40.4%（全体では28.7%）と高く、第2位の理由となっている。
- 「活動に参加する機会や時間がない」について、戸畑区では57.1%と、唯一、半数を超えている。

【 自由記入欄の回答状況 】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 図書館を整備してほしい。
- ・ 参加費が高い。
- ・ 高齢者や障害者は参加しづらい。

(3) 地域での支え合いについて

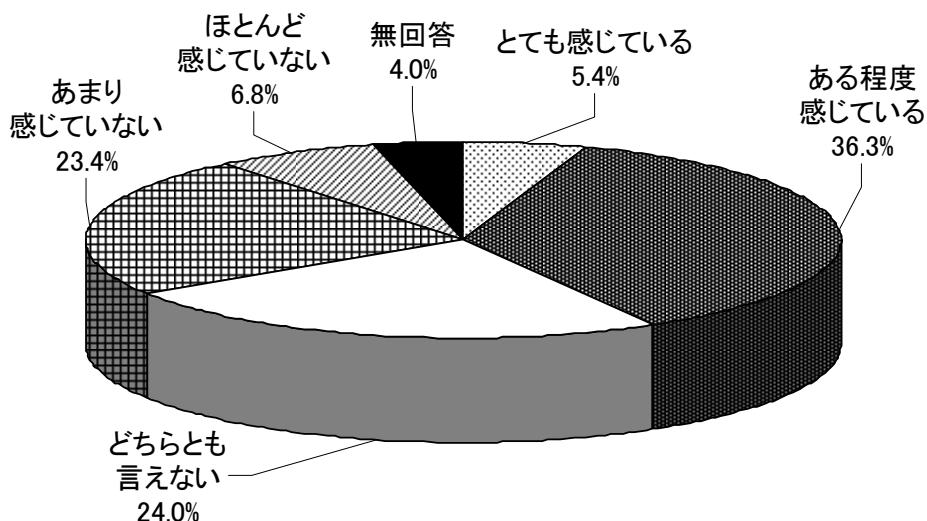
地域とのつながりの中で、安心して暮らせることへの満足感

問5 北九州市には、民生委員・児童委員による見守りや自治会・町内会によるふれあいや支え合いの活動、老人クラブによる「友愛訪問」など様々な地域を支えるネットワークがあります。これらのネットワークをさらに結びつけることによって地域における見守り支援体制を充実・強化する「いのちをつなぐネットワーク事業」に取り組んでいます。そこで、おたずねします。
あなたは、地域とのつながりの中で安心して暮らせていると感じますか。

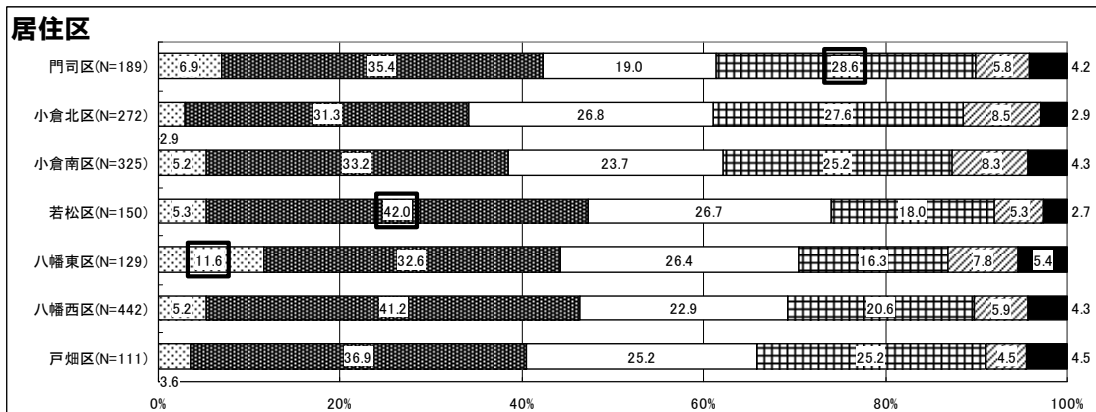
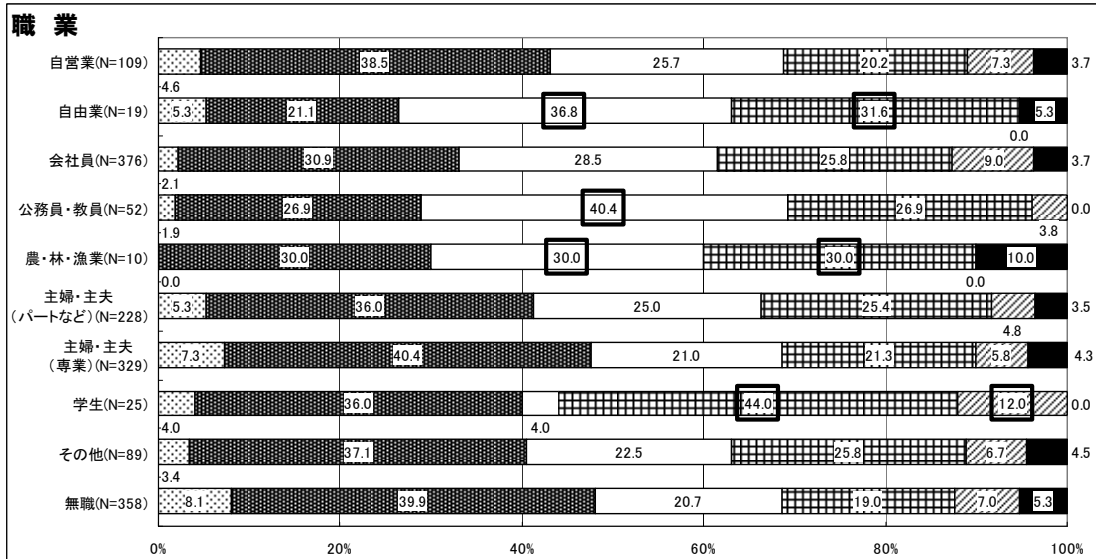
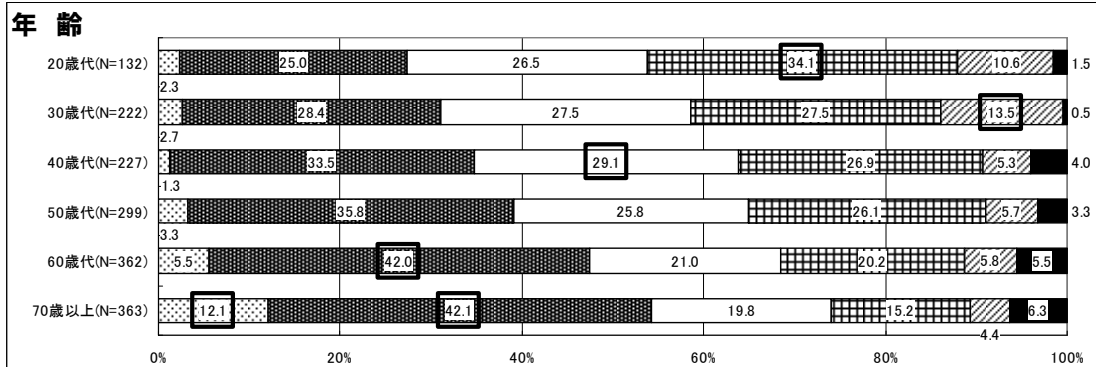
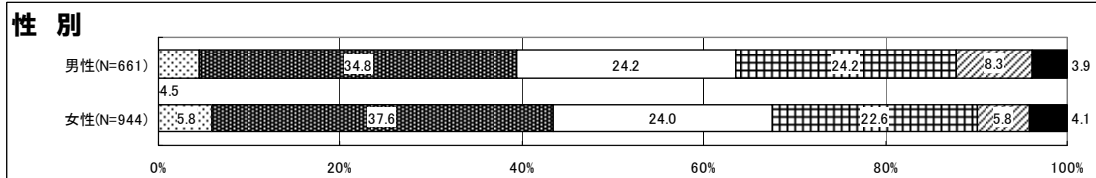
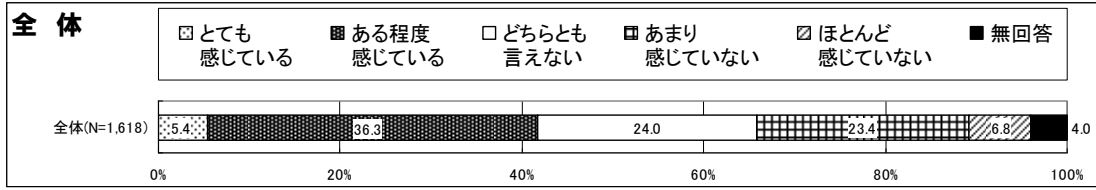
N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	88	5.4
2 ある程度感じている	588	36.3
3 どちらとも言えない	389	24.0
4 あまり感じていない	378	23.4
5 ほとんど感じていない	110	6.8
無回答	65	4.0

地域とのつながりの中で、安心して暮らせることへの満足感は、
 ・肯定層 41.7%
 (「とても感じている」5.4% + 「ある程度感じている」36.3%)
 ・否定層 30.2%
 (「あまり感じていない」23.4% + 「ほとんど感じていない」6.8%)



問5 地域とのつながりの中で、安心して暮らせることへの満足感



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

地域での支え合いの活動による、暮らし良さが感じられない理由

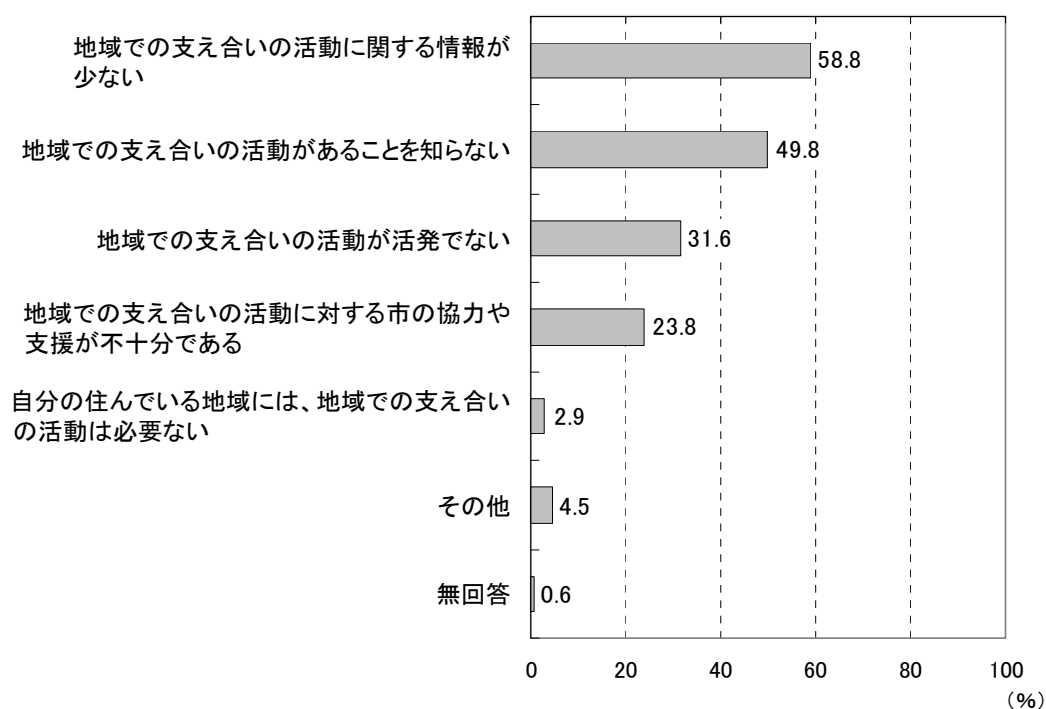
副問5 - 1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

N:488人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 地域での支え合いの活動があることを知らない	243	49.8
2 地域での支え合いの活動に関する情報が少ない	287	58.8
3 地域での支え合いの活動が活発でない	154	31.6
4 地域での支え合いの活動に対する市の協力や支援が不十分である	116	23.8
5 自分の住んでいる地域には、地域での支え合いの活動は必要ない	14	2.9
6 その他(具体的に:)	22	4.5
無回答	3	0.6

地域での支え合いの活動による暮らしを感じられないとする主な理由は、

- 1位 「地域での支え合いの活動に関する情報が少ない」(58.8%)
- 2位 「地域での支え合いの活動があることを知らない」(49.8%)
- 3位 「地域での支え合いの活動が活発でない」(31.6%)



副問5 - 1 地域での支え合いの活動による、暮らし良さが感じられない理由

		サンプル数	い動地 が ある こと を 合 知 ら な 活	い動地 に 関 す る 支 え 合 い の 活	動地 が 活 で 支 え 合 い の 活	支動地 に 対 す る 支 え 合 い の 活	い に 自 分 の 活 動 は 必 要 な い 支 え 合 い	そ の 他	無 回 答
全体		488	49.8	58.8	31.6	23.8	2.9	4.5	0.6
性別	男性	215	48.4	57.2	28.4	25.1	2.8	5.1	0.5
	女性	268	51.5	60.4	34.0	22.8	2.6	4.1	0.7
年齢	20歳代	59	50.8	55.9	30.5	25.4	3.4	3.4	0.0
	30歳代	91	62.6	51.6	33.0	26.4	5.5	2.2	0.0
	40歳代	73	54.8	63.0	26.0	20.5	0.0	8.2	1.4
	50歳代	95	51.6	70.5	27.4	24.2	2.1	3.2	0.0
	60歳代	94	43.6	57.4	31.9	24.5	3.2	7.4	1.1
	70歳以上	71	35.2	53.5	40.8	21.1	1.4	2.8	1.4
現在地での 居住年数	1年未満	19	52.6	36.8	36.8	31.6	10.5	0.0	0.0
	2年未満	23	60.9	60.9	21.7	8.7	4.3	4.3	0.0
	3年未満	21	61.9	57.1	28.6	19.0	0.0	4.8	0.0
	5年未満	32	56.3	62.5	34.4	18.8	0.0	6.3	0.0
	10年未満	59	59.3	64.4	20.3	27.1	0.0	3.4	1.7
	20年未満	94	50.0	61.7	24.5	27.7	5.3	3.2	0.0
	30年未満	97	41.2	63.9	39.2	25.8	1.0	5.2	0.0
	30年以上	138	47.1	53.6	36.2	21.7	2.9	5.8	1.4
職 業	自営業	30	46.7	50.0	30.0	20.0	3.3	6.7	0.0
	自由業	6	66.7	83.3	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
	会社員	131	55.7	57.3	26.7	24.4	1.5	4.6	0.0
	公務員・教員	16	31.3	68.8	31.3	37.5	6.3	0.0	0.0
	農・林・漁業	3	66.7	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	69	50.7	62.3	37.7	17.4	2.9	7.2	1.4
	主婦・主夫(専業)	89	50.6	62.9	37.1	27.0	2.2	2.2	1.1
	学生	14	35.7	50.0	28.6	35.7	7.1	0.0	0.0
	無職	93	41.9	59.1	35.5	21.5	4.3	4.3	0.0
その他	29	62.1	51.7	20.7	24.1	0.0	6.9	0.0	
同居の家族	1人暮らし	70	54.3	60.0	30.0	20.0	1.4	0.0	0.0
	夫婦のみ	128	43.8	63.3	32.0	24.2	2.3	3.1	0.0
	親子(2世代)	225	56.4	56.9	29.8	23.6	2.2	6.2	0.9
	親・子・孫	32	31.3	56.3	43.8	37.5	3.1	6.3	0.0
	その他	25	40.0	52.0	36.0	16.0	12.0	8.0	4.0
居住区	門司区	65	49.2	63.1	33.8	29.2	0.0	3.1	0.0
	小倉北区	98	49.0	57.1	32.7	19.4	3.1	3.1	1.0
	小倉南区	109	56.0	60.6	31.2	19.3	1.8	4.6	0.0
	若松区	35	48.6	57.1	28.6	28.6	5.7	0.0	0.0
	八幡東区	31	45.2	48.4	29.0	25.8	6.5	12.9	0.0
	八幡西区	117	46.2	55.6	35.0	25.6	3.4	6.0	0.9
	戸畑区	33	51.5	72.7	18.2	27.3	3.0	3.0	3.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

地域とのつながりの中で、安心して暮らせることへの満足感

【 全 体 的 傾 向 】

地域とのつながりの中で、安心して暮らせていると感じているかどうかをみると、「とても感じている」は5.4%、「ある程度感じている」は36.3%、合計すると、肯定層は41.7%である。一方、「あまり感じていない」は23.4%、「ほとんど感じていない」は6.8%、合計すると、否定層は30.2%である。

肯定層（41.7%）が否定層（30.2%）を11.5ポイント上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、肯定層は年齢が高いほど高く、否定層は年齢が低いほど高くなっており、極めて顕著な傾向となっている。

肯定層	20 歳代 27.3%	30 歳代 31.1%	40 歳代 34.8%
	50 歳代 39.1%	60 歳代 47.5%	70 歳以上 54.2%

否定層	20 歳代 44.7%	30 歳代 41.0%	40 歳代 32.2%
	50 歳代 31.8%	60 歳代 26.0%	70 歳以上 19.6%

- 居住区別にみると、肯定層は、若松区で47.3%と最も高く、小倉北区で34.2%と最も低くなっている。

地域での支えあいの活動による、暮らし良さが感じられない理由

【 全 体 的 傾 向 】

地域とのつながりの中で、安心して暮らせていると感じていない主な理由は、「地域での支えあいの活動に関する情報が少ない」（58.8%）と「地域での支えあいの活動があることを知らない」（49.8%）の2つの理由が特に高くなっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、「地域での支えあいの活動に関する情報が少ない」は50歳代（70.5%）、「地域での支えあいの活動があることを知らない」は30歳代（62.6%）、40歳代（54.8%）で高くなっている。
- 居住区別にみると、「地域での支えあいの活動に関する情報が少ない」は戸畑区（72.7%）、「地域での支えあいの活動があることを知らない」は小倉南区（56.0%）で高くなっている。

【 自由記入欄の回答状況 】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 活動の成果が部分的である。
- ・ 地域の活動に関心のない人が多い。
- ・ 地域のネットワークに加入しづらい雰囲気がある

(4) 高齢者の暮らしについて

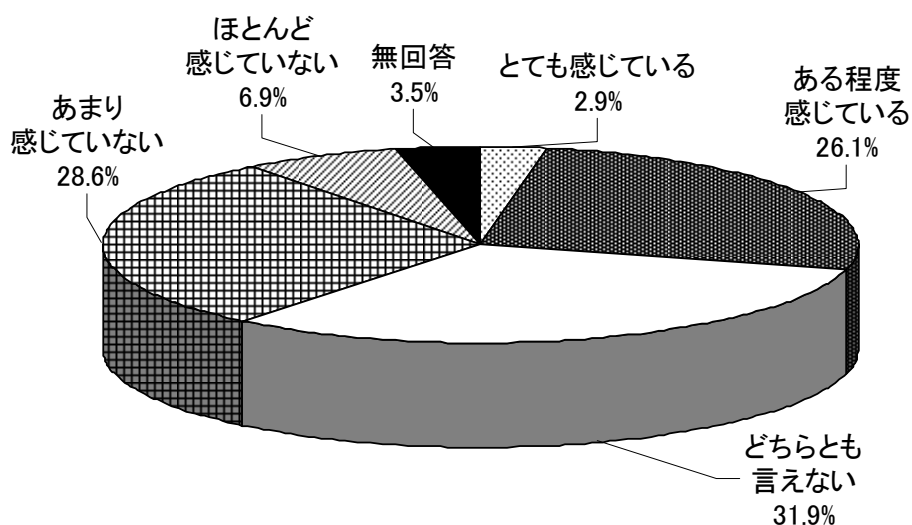
高齢者に対するまちづくりへの満足感

問6 北九州市では、高齢者が生きがいを持ち生涯現役でいきいきと活躍できる環境づくりを進めるとともに、たとえ介護が必要となっても安心して住みなれた地域で生活を継続していくために必要な保健・医療・福祉サービスの充実や外出しやすい生活環境の整備などに取り組んでいます。そこで、おたずねします。
あなたは、北九州市は高齢者がいつまでもいきいきと自分らしく生活していけるまちだと感じますか。

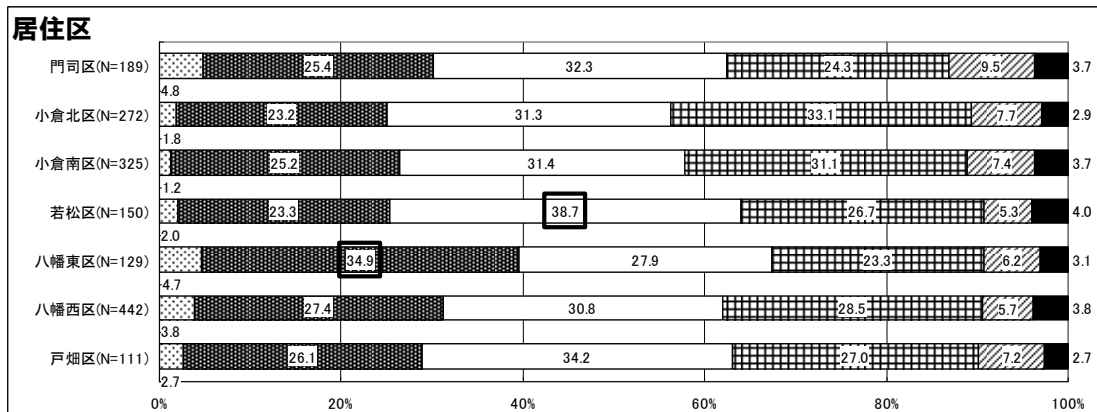
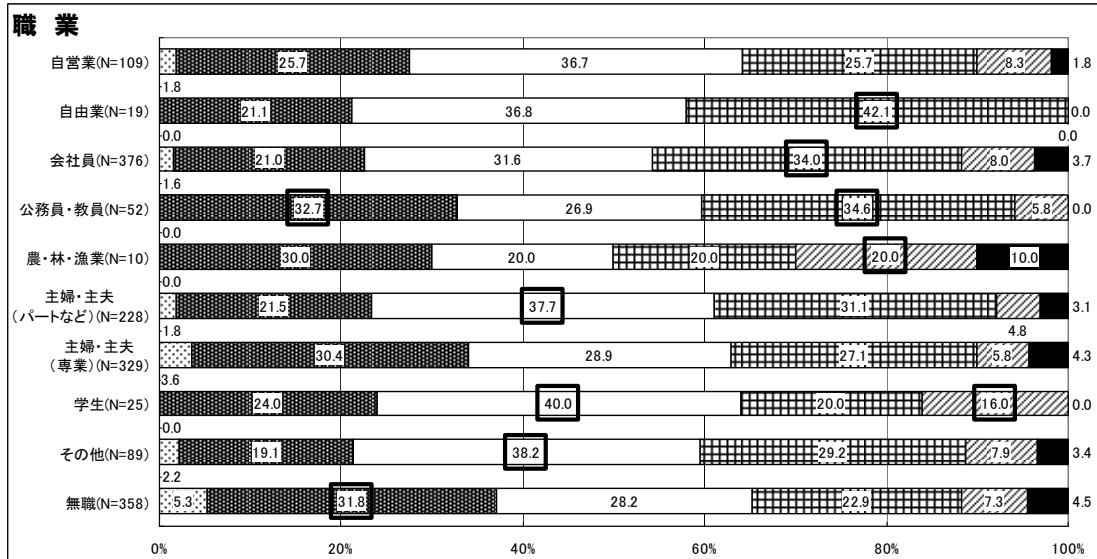
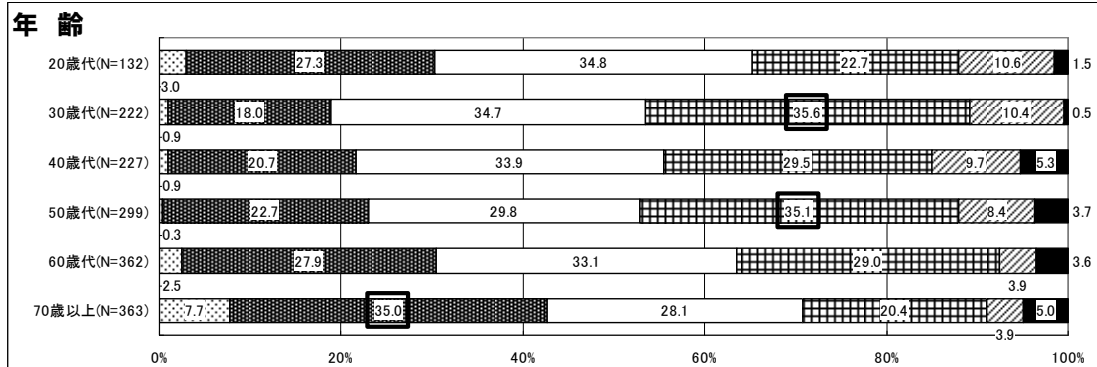
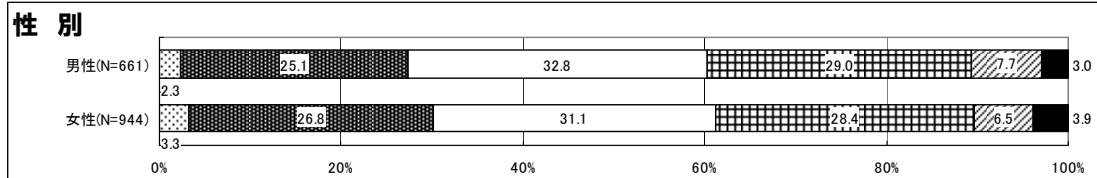
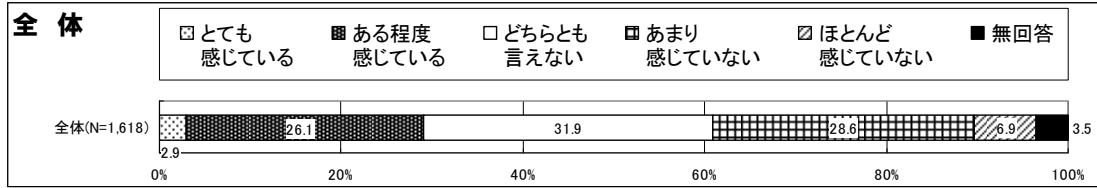
N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	47	2.9
2 ある程度感じている	423	26.1
3 どちらとも言えない	516	31.9
4 あまり感じていない	463	28.6
5 ほとんど感じていない	112	6.9
無回答	57	3.5

高齢者に関するこれまでのまちづくりへの、市民の満足感は、
 ・肯定層 29.0%
 (「とても感じている」2.9% + 「ある程度感じている」26.1%)
 ・否定層 35.5%
 (「あまり感じていない」28.6% + 「ほとんど感じていない」6.9%)



問6 高齢者に対するまちづくりへの満足感



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

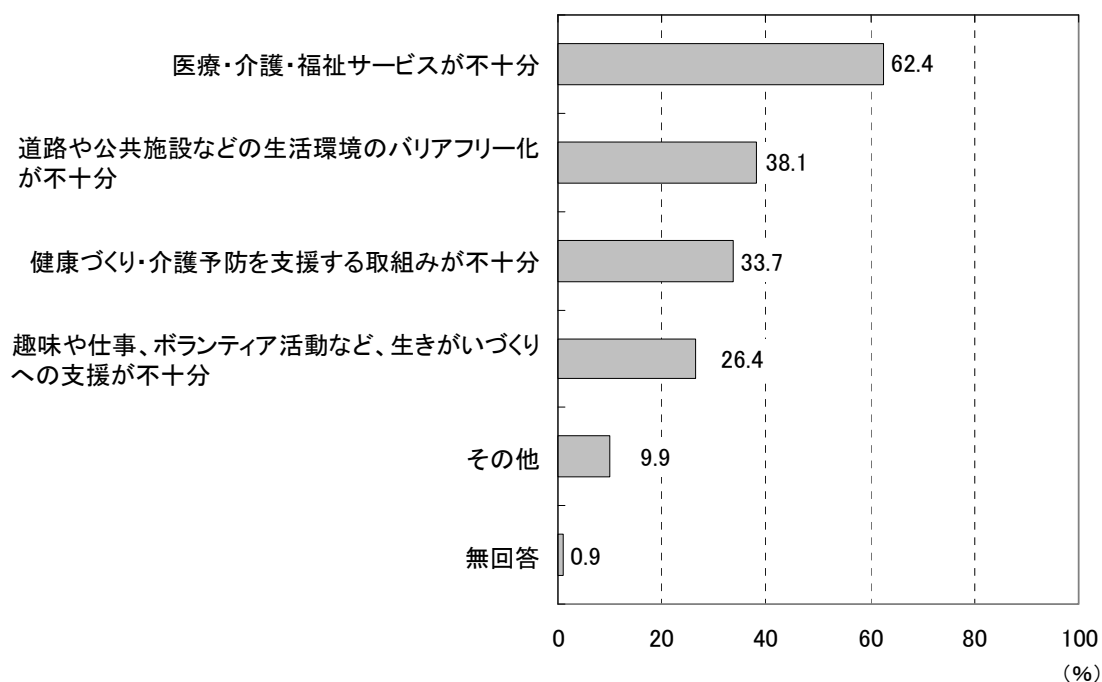
高齢者がいきいきと暮らしていけるまちと感じられない理由

副問6 - 1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

N:575人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 趣味や仕事、ボランティア活動など、生きがいがづくりへの支援が不十分	152	26.4
2 健康づくり・介護予防を支援する取組みが不十分	194	33.7
3 医療・介護・福祉サービスが不十分	359	62.4
4 道路や公共施設などの生活環境のバリアフリー化が不十分	219	38.1
5 その他(具体的に:)	57	9.9
無回答	5	0.9

高齢者がいきいきと生活できるまちだとは、感じられないとする主な理由は、
 1位 「医療・介護・福祉サービスが不十分」(62.4%)
 2位 「道路や公共施設などの生活環境のバリアフリー化が不十分」(38.1%)
 3位 「健康づくり・介護予防を支援する取組みが不十分」(33.7%)



副問6 - 1 高齢者がいきいきと暮らしていけるまちと感じられない理由

	サンプル数	支援などが不十分	趣味や仕事、生きがいづくりへの活動	健康づくり・介護予防を支援する取り組みが不十分	医療・介護・福祉サービスが不十分	道路や公共施設などの生活環境のバリアフリー化が不十分	その他	無回答
全体	575	26.4	33.7	62.4	38.1	9.9	0.9	
性別	男性	243	27.2	37.4	63.0	28.8	9.5	1.2
	女性	329	25.8	31.0	61.7	45.0	10.3	0.6
年齢	20歳代	44	29.5	31.8	61.4	54.5	11.4	0.0
	30歳代	102	23.5	35.3	65.7	38.2	11.8	0.0
	40歳代	89	21.3	25.8	68.5	41.6	14.6	0.0
	50歳代	130	32.3	40.0	66.2	37.7	3.1	0.0
	60歳代	119	23.5	40.3	57.1	35.3	10.1	0.8
	70歳以上	88	28.4	22.7	53.4	30.7	12.5	4.5
現在地での居住年数	1年未満	23	34.8	21.7	52.2	34.8	17.4	0.0
	2年未満	19	31.6	26.3	57.9	52.6	10.5	0.0
	3年未満	19	42.1	21.1	73.7	36.8	10.5	0.0
	5年未満	31	16.1	58.1	58.1	32.3	6.5	0.0
	10年未満	79	30.4	30.4	65.8	34.2	5.1	1.3
	20年未満	104	18.3	37.5	67.3	43.3	7.7	1.0
	30年未満	116	25.9	31.9	67.2	36.2	12.1	0.9
	30年以上	181	28.2	33.7	55.8	38.1	11.6	1.1
職業	自営業	37	27.0	32.4	59.5	24.3	10.8	0.0
	自由業	8	0.0	0.0	75.0	37.5	25.0	0.0
	会社員	158	27.2	36.1	62.7	34.8	8.9	0.6
	公務員・教員	21	19.0	38.1	90.5	33.3	4.8	0.0
	農・林・漁業	4	25.0	25.0	75.0	75.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	82	26.8	36.6	64.6	40.2	8.5	0.0
	主婦・主夫(専業)	108	29.6	33.3	61.1	50.9	5.6	1.9
	学生	9	33.3	22.2	66.7	55.6	11.1	0.0
	無職	108	22.2	28.7	61.1	32.4	13.0	1.9
	その他	33	33.3	45.5	48.5	33.3	15.2	0.0
同居の家族	1人暮らし	62	29.0	32.3	59.7	30.6	11.3	1.6
	夫婦のみ	151	29.1	32.5	60.9	35.8	7.9	1.3
	親子(2世代)	282	25.2	35.8	62.8	41.1	10.3	0.0
	親・子・孫	41	17.1	26.8	75.6	39.0	7.3	2.4
	その他	32	34.4	31.3	56.3	34.4	15.6	3.1
居住区	門司区	64	29.7	34.4	65.6	34.4	7.8	0.0
	小倉北区	111	26.1	32.4	65.8	33.3	12.6	0.0
	小倉南区	125	27.2	34.4	59.2	44.0	9.6	0.0
	若松区	48	29.2	35.4	62.5	39.6	2.1	2.1
	八幡東区	38	34.2	26.3	68.4	26.3	13.2	0.0
	八幡西区	151	22.5	35.1	60.3	37.1	11.9	2.0
	戸畑区	38	23.7	34.2	60.5	52.6	5.3	2.6

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

高齢者に対するまちづくりへの満足感

【 全 体 的 傾 向 】

高齢者がいつまでもいきいきと自分らしく生活していけるまちだと感じているかどうかをみると、「とても感じている」は2.9%、「ある程度感じている」が26.1%、合計すると、肯定層は29.0%である。一方、「あまり感じていない」は28.6%、「ほとんど感じていない」は6.9%、合計すると、否定層は35.5%である。

否定層（35.5%）が肯定層（29.0%）を6.5ポイント上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、肯定層は、20歳代では全体とほぼ同じ30.3%であるが、30歳代（18.9%）、40歳代（21.6%）、50歳代（23.0%）では低くなっている。一方、60歳代（30.4%）、70歳代以上（42.7%）と年齢が上がるにつれ肯定層の割合が高くなっている。
- 職業別にみると、肯定層は、主婦・主夫（パートなど）では23.3%にとどまっているが、主婦・主夫（専業）では34.0%と、10.7ポイントも高くなっている。
- 居住区別にみると、肯定層は八幡東区（39.6%）で最も高く、小倉北区（25.0%）で最も低くなっている。

高齢者がいきいきと暮らしていけるまちと感じられない理由

【 全 体 的 傾 向 】

高齢者がいつまでもいきいきと自分らしく生活していけるまちと感じていない主な理由は、「医療・介護・福祉サービスが不十分」が62.4%と、最も高くなっている。次いで、「道路や公共施設などの生活環境のバリアフリー化が不十分」（38.1%）と「健康づくり・介護予防を支援する取組みが不十分」（33.7%）が30%台で並んでいる。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 性別にみると、女性では「道路や公共施設などの生活環境のバリアフリー化が不十分」が45.0%（男性28.8%）と高くなっている。
- 年齢別にみると、「医療・介護・福祉サービスが不十分」は60歳代、70歳以上よりも50歳代以下の方が高くなっている。
- 設問のターゲットと想定される70歳以上で、否定層に回っている人が挙げた要因として、「医療・介護・福祉サービスが不十分」が特に多かった。
- 居住区別にみると、戸畑区では「道路や公共施設などの生活環境のバリアフリー化が不十分」が52.6%と高くなっている。

【 自由記入欄の回答状況 】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 経済的な面で老後が不安である。
- ・ 医療・介護等の施設を増やしてほしい。
- ・ 郊外に住む高齢者のための交通機関の整備が不十分である。

(5) 人にやさしいまちづくりについて

すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らせることへの満足感

問7 北九州市では、全ての市民が年齢、性別、障害の有無、国籍、社会的身分又は門地などにかかわらず安心して学び、働き、活動できるまちづくりを進めています。そこで、おたずねします。

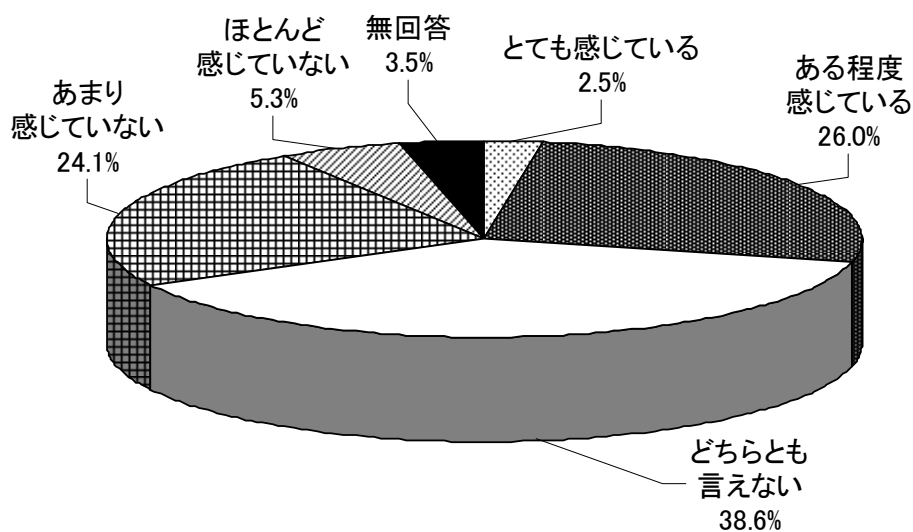
あなたは、北九州市はすべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らすことができるまちだと感じますか。

N:1,618人

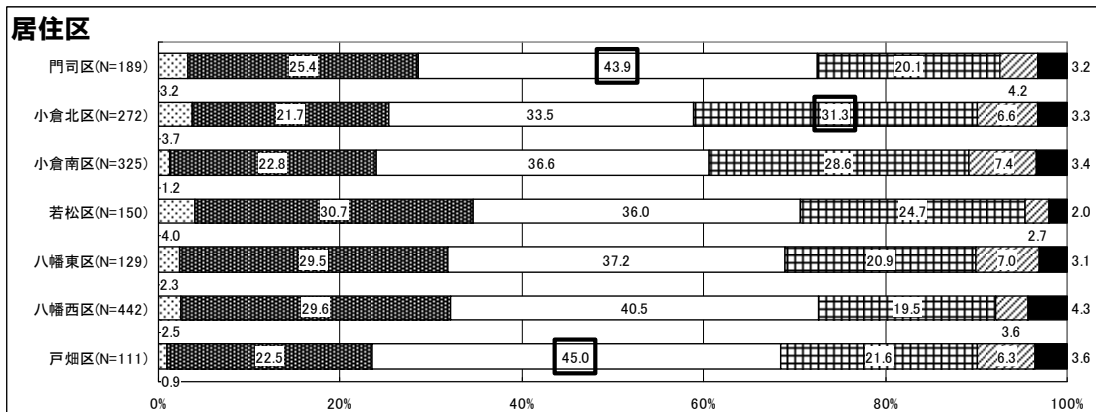
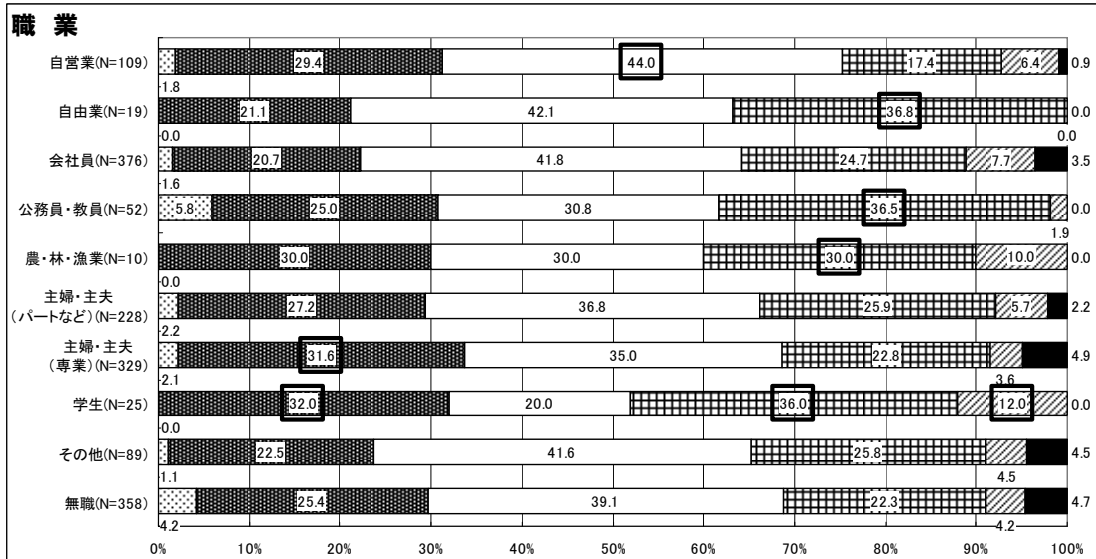
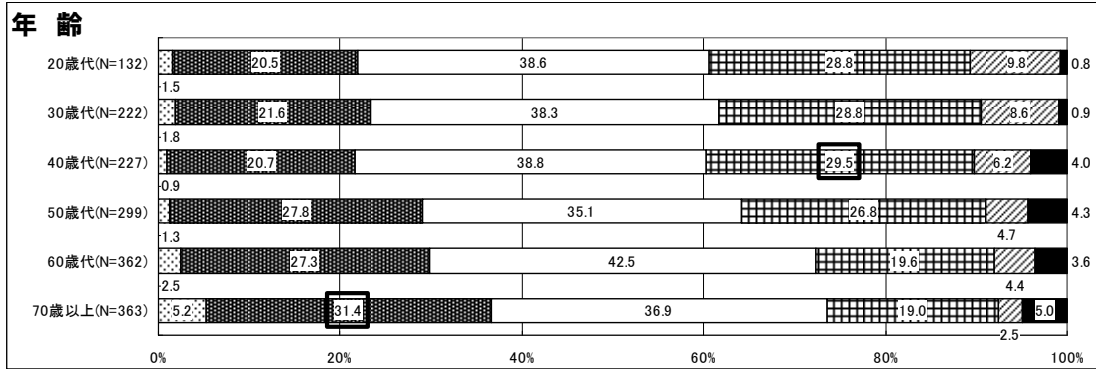
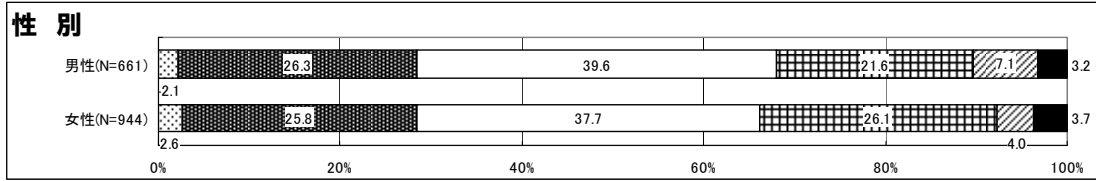
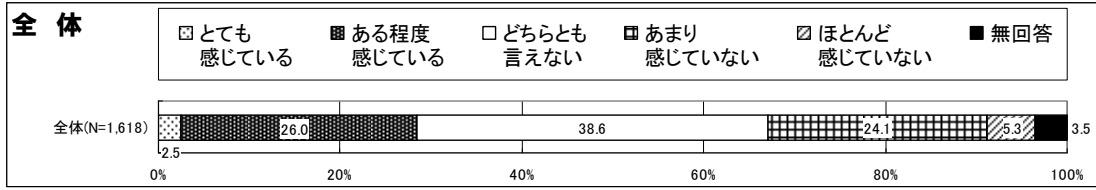
項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	41	2.5
2 ある程度感じている	421	26.0
3 どちらとも言えない	624	38.6
4 あまり感じていない	390	24.1
5 ほとんど感じていない	86	5.3
無回答	56	3.5

すべての市民が安心して暮らすことができるまちとして、市民の満足感は、

- ・肯定層 28.5%
(「とても感じている」2.5% + 「ある程度感じている」26.0%)
- ・否定層 29.4%
(「あまり感じていない」24.1% + 「ほとんど感じていない」5.3%)



問7 すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らせることへの満足感



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

市民がお互いを尊重し、安心して暮らせるまちだと感じられない理由

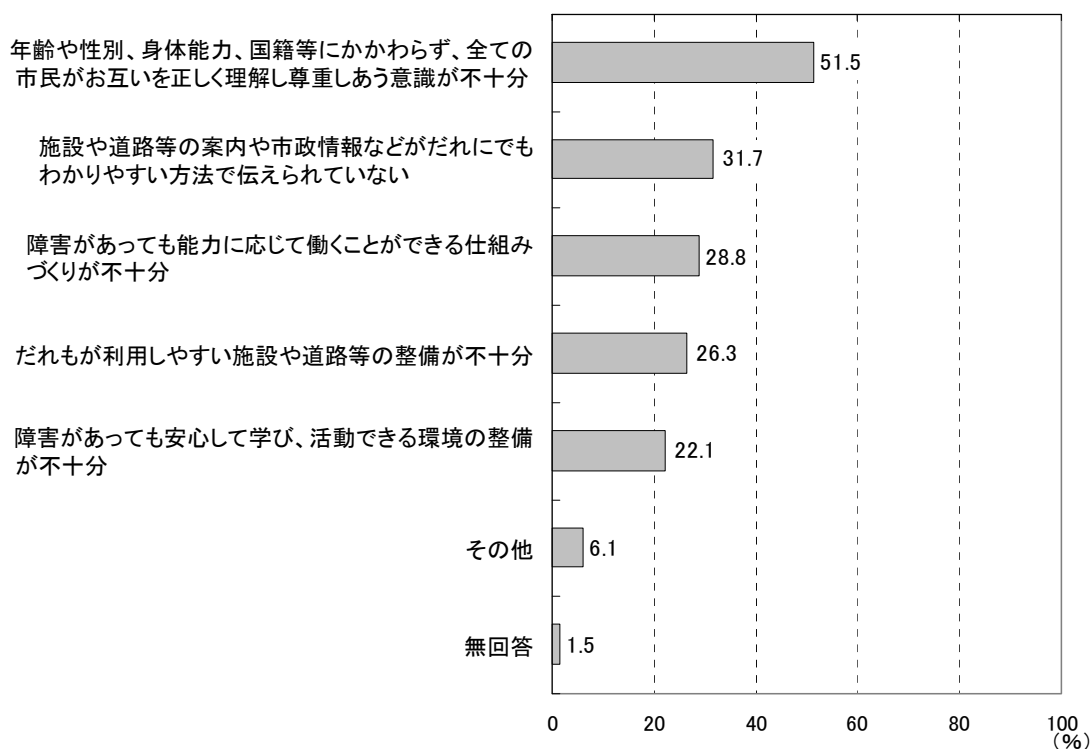
副問7-1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

N:476人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 年齢や性別、身体能力、国籍等にかかわらず、全ての市民がお互いを正しく理解し尊重しあう意識が不十分	245	51.5
2 だれもが利用しやすい施設や道路等の整備が不十分	125	26.3
3 施設や道路等の案内や市政情報などがだれにでもわかりやすい方法で伝えられていない	151	31.7
4 障害があっても安心して学び、活動できる環境の整備が不十分	105	22.1
5 障害があっても能力に応じて働くことができる仕組みづくりが不十分	137	28.8
6 その他(具体的に:)	29	6.1
無回答	7	1.5

市民がお互いを尊重し、安心して暮らせるまちであると感じられないとする主な理由は、

- 1 位 「年齢や性別、身体能力、国籍等にかかわらず、全ての市民がお互いを正しく理解し尊重しあう意識が不十分(51.5%)」
- 2 位 「施設や道路等の案内や市政情報などがだれにでもわかりやすい方法で伝えられていない」(31.7%)
- 3 位 「障害があっても能力に応じて働くことができる仕組みづくりが不十分」(28.8%)



副問7 - 1 市民がお互いを尊重し、安心して暮らせるまちだと感じられない理由

	サンプル数	し 重 し あ う 意 識 が 不 十 分	年 齢 や 性 別 、 身 体 能 力 、 国 籍 等 に お か わ ら ず 、 全 て の 人 が お 互 い を 正 し く 理 解	だ れ も が 利 用 し や す い 施 設 が 不 十 分	い り や す い 方 法 で 伝 え ら れ て か 政 府	施 設 や 道 路 等 の 案 内 や 市 政	障 害 が あ つ て も 安 心 し て 学 び 、 活 動 で き る 環 境 の 整 備	障 害 が あ つ て も 能 力 に 応 じ て 働 く こ と が で き る	そ の 他	無 回 答
全体	476	51.5	26.3	31.7	22.1	28.8	6.1	1.5		
性 別	男性	190	52.1	23.2	34.2	21.1	22.6	7.9	2.1	
	女性	284	51.1	27.8	30.3	22.9	32.7	4.9	1.1	
年 齢	20歳代	51	51.0	21.6	33.3	21.6	35.3	7.8	0.0	
	30歳代	83	57.8	19.3	22.9	27.7	32.5	9.6	0.0	
	40歳代	81	56.8	18.5	32.1	21.0	30.9	8.6	0.0	
	50歳代	94	58.5	26.6	35.1	24.5	35.1	2.1	1.1	
	60歳代	87	49.4	35.6	29.9	17.2	27.6	2.3	1.1	
	70歳以上	78	33.3	32.1	38.5	20.5	11.5	7.7	6.4	
現在地での 居住年数	1年未満	22	63.6	18.2	18.2	9.1	22.7	13.6	0.0	
	2年未満	21	42.9	19.0	47.6	33.3	19.0	14.3	0.0	
	3年未満	17	52.9	23.5	29.4	17.6	35.3	11.8	0.0	
	5年未満	24	54.2	20.8	50.0	20.8	25.0	0.0	0.0	
	10年未満	59	54.2	20.3	28.8	22.0	30.5	6.8	1.7	
	20年未満	98	55.1	26.5	37.8	23.5	25.5	4.1	1.0	
	30年未満	95	57.9	22.1	23.2	26.3	32.6	5.3	1.1	
	30年以上	138	42.0	34.1	31.9	19.6	29.7	5.8	2.9	
職 業	自営業	26	50.0	34.6	34.6	0.0	19.2	7.7	3.8	
	自由業	7	28.6	0.0	28.6	28.6	71.4	0.0	0.0	
	会社員	122	58.2	19.7	32.8	18.9	32.8	5.7	0.8	
	公務員・教員	20	65.0	15.0	20.0	40.0	20.0	5.0	0.0	
	農・林・漁業	4	25.0	25.0	25.0	0.0	75.0	0.0	25.0	
	主婦・主夫(パートなど)	72	56.9	26.4	25.0	19.4	37.5	6.9	0.0	
	主婦・主夫(専業)	87	43.7	33.3	34.5	26.4	31.0	2.3	3.4	
	学生	12	33.3	33.3	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	
	無職	95	44.2	29.5	34.7	25.3	18.9	6.3	1.1	
その他	27	66.7	22.2	29.6	25.9	14.8	14.8	0.0		
同居の家族	1人暮らし	62	53.2	19.4	35.5	14.5	32.3	3.2	3.2	
	夫婦のみ	115	46.1	32.2	39.1	19.1	21.7	2.6	3.5	
	親子(2世代)	243	51.9	24.7	27.6	27.2	31.3	8.6	0.0	
	親・子・孫	36	61.1	25.0	25.0	16.7	33.3	5.6	0.0	
その他	15	60.0	33.3	33.3	13.3	13.3	6.7	6.7		
居住区	門司区	46	50.0	37.0	28.3	21.7	32.6	4.3	0.0	
	小倉北区	103	54.4	21.4	28.2	23.3	29.1	6.8	1.9	
	小倉南区	117	53.8	20.5	30.8	29.9	24.8	7.7	0.0	
	若松区	41	51.2	36.6	26.8	19.5	17.1	0.0	9.8	
	八幡東区	36	52.8	19.4	33.3	22.2	36.1	8.3	0.0	
	八幡西区	102	48.0	28.4	38.2	13.7	33.3	6.9	1.0	
	戸畑区	31	45.2	35.5	35.5	19.4	29.0	3.2	0.0	

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らせることへの満足感

【 全 体 的 傾 向 】

すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らすことができるまちだと感じているかどうかをみると、「とても感じている」は2.5%、「ある程度感じている」は26.0%、合計すると、肯定層は28.5%である。一方、「あまり感じていない」は24.1%、「ほとんど感じていない」は5.3%、合計すると、否定層は29.4%である。

肯定層（28.5%）と否定層（29.4%）はほぼ同程度となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、肯定層は年齢が高いほど高く、否定層は年齢が低いほど高くなる傾向が顕著にみられる。
- 同居家族別にみると、親・子・孫層で肯定層が43.2%と高くなっている。
資料編 1 クロス集計表参照
- 居住区別にみると、肯定層は若松区（34.7%）で最も高く、戸畑区（23.4%）で最も低くなっている。

市民がお互いを尊重し、安心して暮らせるまちだと感じられない理由

【 全 体 的 傾 向 】

すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らすことができるまちだと感じられない主な理由は、「年齢や性別、身体能力、国籍等にかかわらず、全ての市民がお互いを正しく理解し尊重しあう意識が不十分」が51.5%と、半数を超え、次いで、「施設や道路等の案内や市政情報などがだれにでもわかりやすい方法で伝えられていない」（31.7%）、「障害があっても能力に応じて働くことができる仕組みづくりが不十分」（28.8%）と続いている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、70歳以上では、「施設や道路等の案内や市政情報などがだれにでもわかりやすい方法で伝えられていない」が38.5%と、トップの理由になっている。

【 自由記入欄の回答状況 】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 外国語表記など、外国籍の人々が安心して暮らせるための環境の整備が不十分。
- ・ 暴力団の追放を進めるべき。
- ・ 精神障害者への理解が不十分。

(6) 快適な生活空間について

住みやすい生活環境を有するまちであることへの満足感

問8 北九州市では、市民の意見を取り入れた公園づくりや、安心して通行できる身近な道路の整備、安心しておいしく飲める水の提供など、暮らしやすい環境づくりを進めています。そこで、おたずねします。

あなたは、北九州市は住みやすい、住み続けたいと思えるような生活環境を有するまちだと感じますか。

N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	176	10.9
2 ある程度感じている	820	50.7
3 どちらとも言えない	285	17.6
4 あまり感じていない	226	14.0
5 ほとんど感じていない	46	2.8
無回答	65	4.0

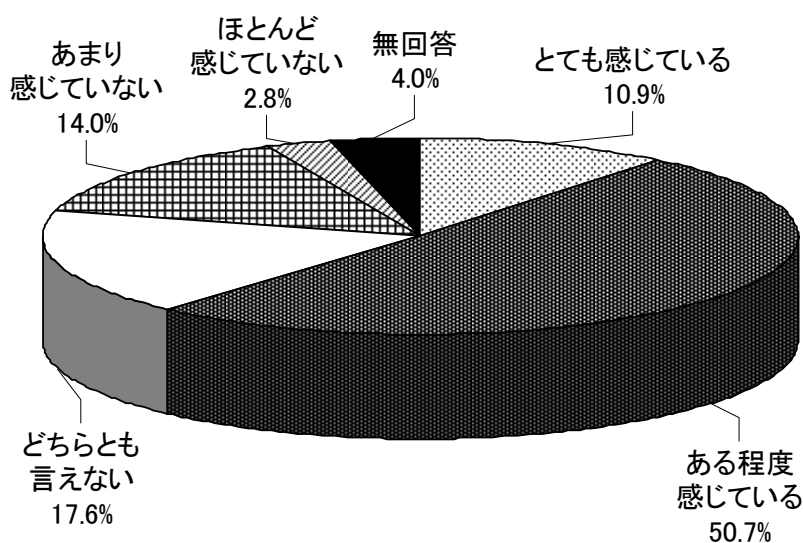
住みやすい生活環境を有するまちであることへの、市民の満足感は、

・肯定層 61.6%

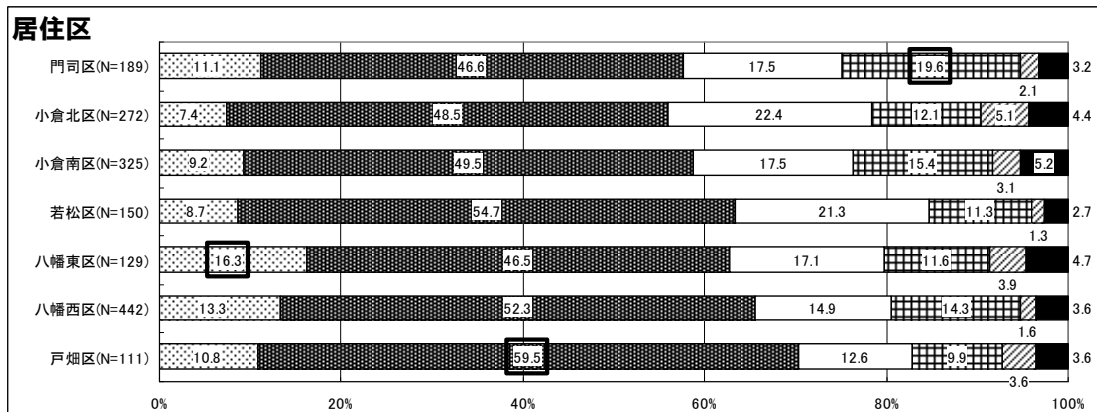
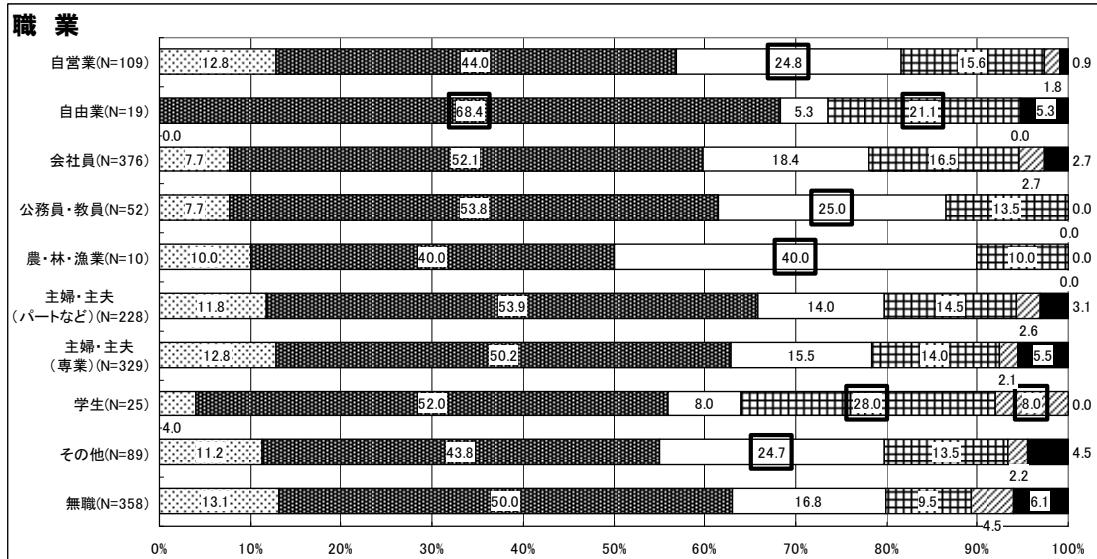
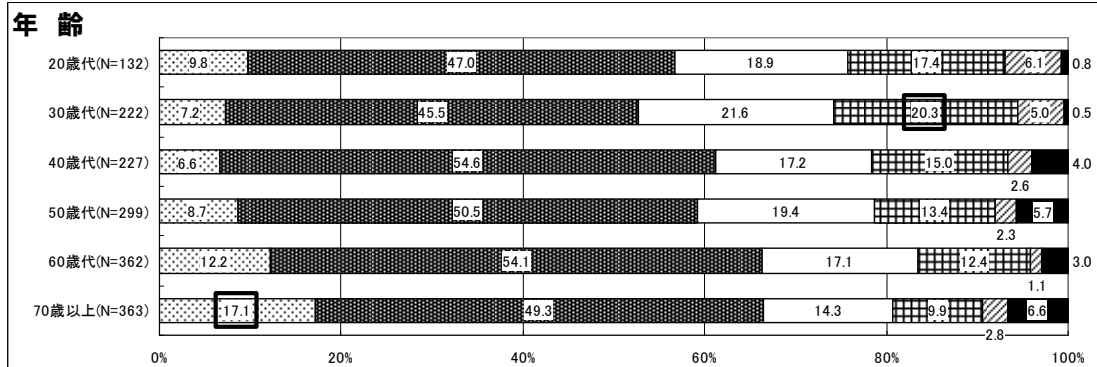
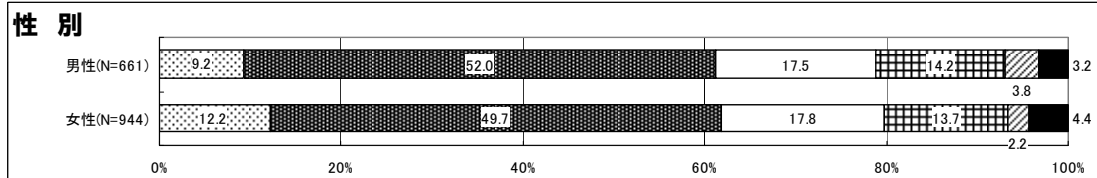
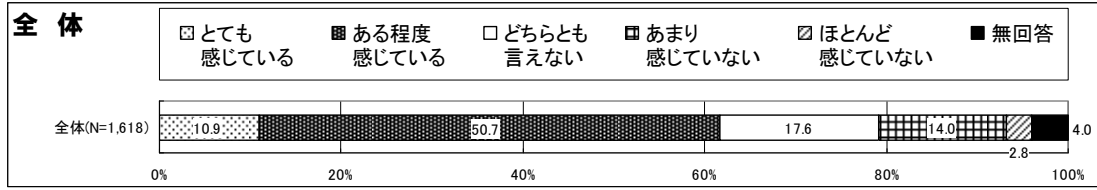
(「とても感じている」10.9% + 「ある程度感じている」50.7%)

・否定層 16.8%

(「あまり感じていない」14.0% + 「ほとんど感じていない」2.8%)



問8 住みやすい生活環境を有するまちであることへの満足感



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

住みやすい、住み続けたい生活環境のまちだとは感じられない理由

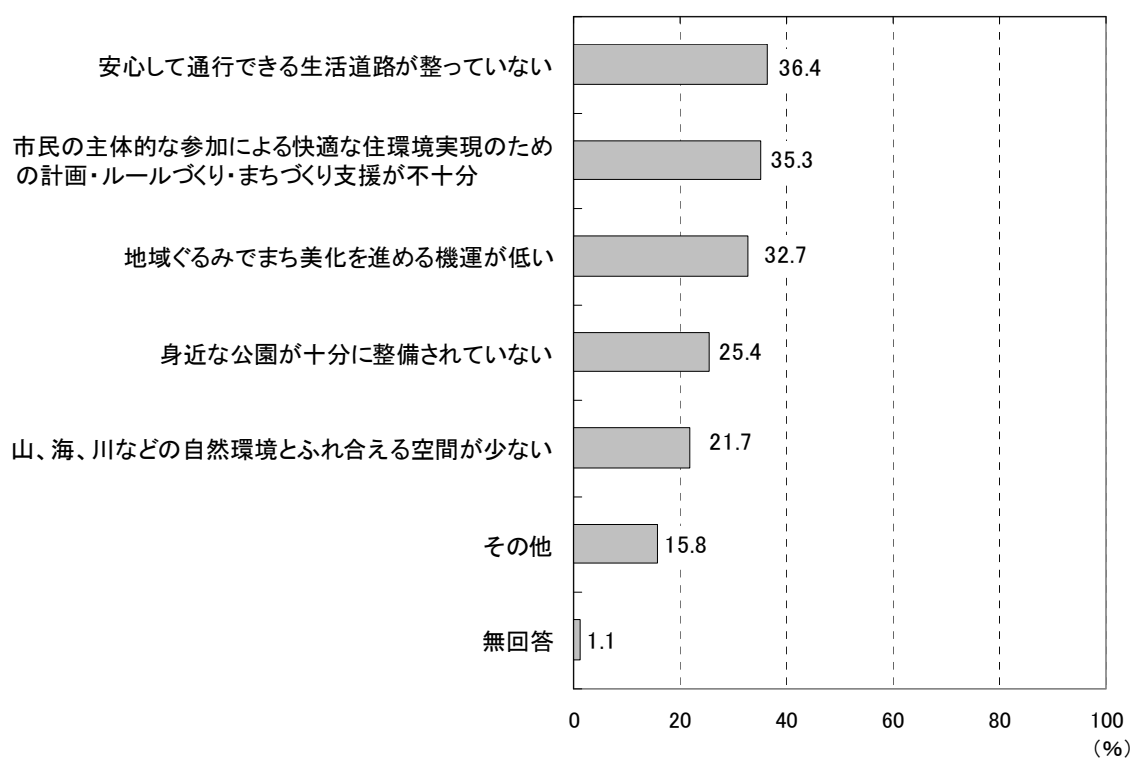
副問 8 - 1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

N:272人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 身近な公園が十分に整備されていない	69	25.4
2 山、海、川などの自然環境とふれ合える空間が少ない	59	21.7
3 安心して通行できる生活道路が整っていない	99	36.4
4 地域ぐるみでまち美化を進める機運が低い	89	32.7
5 市民の主体的な参加による快適な住環境実現のための計画・ルールづくり・まちづくり支援が不十分	96	35.3
6 その他(具体的に:)	43	15.8
無回答	3	1.1

快適な生活空間を有するまちであることを、感じられないとする主な理由は、

- 1位 「安心して通行できる生活道路が整っていない」(36.4%)
- 2位 「市民の主体的な参加による快適な住環境実現のための計画・ルールづくり・まちづくり支援が不十分」(35.3%)
- 3位 「地域ぐるみでまち美化を進める機運が低い」(32.7%)



副問 8 - 1 住みやすい、住み続けたい生活環境のまちだとは感じられない理由

		サンプル数	身近な公園が十分に整備されていない	山、海、川などの自然環境とふれ合える空間が少なく	安心して通行できる生活道路が整っていない	地域ぐるみでまち美化を進める機運が低い	市民の主眼的な参加による計画・実施の現況が不十分	その他	無回答
	全体	272	25.4	21.7	36.4	32.7	35.3	15.8	1.1
性別	男性	119	22.7	20.2	31.9	37.0	37.0	19.3	0.8
	女性	150	28.0	23.3	40.0	29.3	33.3	13.3	1.3
年齢	20歳代	31	32.3	19.4	38.7	22.6	25.8	22.6	0.0
	30歳代	56	33.9	19.6	32.1	32.1	35.7	17.9	0.0
	40歳代	40	37.5	12.5	42.5	27.5	32.5	20.0	0.0
	50歳代	47	12.8	25.5	40.4	40.4	40.4	12.8	2.1
	60歳代	49	30.6	26.5	38.8	30.6	40.8	10.2	2.0
	70歳以上	46	8.7	26.1	28.3	39.1	30.4	15.2	2.2
	現在地での居住年数	1年未満	13	0.0	15.4	53.8	30.8	23.1	23.1
2年未満		13	46.2	15.4	38.5	15.4	46.2	15.4	0.0
3年未満		8	50.0	25.0	50.0	12.5	25.0	0.0	0.0
5年未満		21	38.1	9.5	38.1	38.1	33.3	23.8	0.0
10年未満		37	18.9	13.5	27.0	40.5	51.4	18.9	0.0
20年未満		49	28.6	28.6	36.7	26.5	30.6	18.4	2.0
30年未満		52	21.2	25.0	32.7	44.2	28.8	11.5	3.8
30年以上		76	25.0	25.0	38.2	28.9	35.5	14.5	0.0
職業	自営業	19	15.8	15.8	31.6	52.6	52.6	10.5	0.0
	自由業	4	25.0	25.0	50.0	0.0	50.0	25.0	0.0
	会社員	72	26.4	19.4	37.5	33.3	31.9	19.4	1.4
	公務員・教員	7	14.3	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	0.0
	農・林・漁業	1	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	39	38.5	23.1	41.0	25.6	28.2	15.4	2.6
	主婦・主夫(専業)	53	24.5	28.3	41.5	30.2	34.0	11.3	1.9
	学生	9	11.1	22.2	11.1	33.3	33.3	33.3	0.0
	無職	50	20.0	22.0	38.0	30.0	36.0	16.0	0.0
	その他	14	35.7	14.3	14.3	50.0	42.9	7.1	0.0
同居の家族	1人暮らし	29	24.1	20.7	24.1	31.0	44.8	20.7	3.4
	夫婦のみ	74	17.6	27.0	33.8	33.8	36.5	12.2	1.4
	親子(2世代)	129	27.1	20.2	39.5	34.1	32.6	17.8	0.8
	親・子・孫	20	45.0	20.0	35.0	15.0	30.0	15.0	0.0
	その他	15	20.0	20.0	40.0	46.7	40.0	13.3	0.0
居住区	門司区	41	39.0	29.3	26.8	31.7	34.1	12.2	0.0
	小倉北区	47	25.5	19.1	38.3	31.9	27.7	21.3	0.0
	小倉南区	60	26.7	18.3	40.0	35.0	43.3	8.3	1.7
	若松区	19	10.5	26.3	31.6	42.1	26.3	21.1	5.3
	八幡東区	20	10.0	35.0	35.0	25.0	25.0	25.0	0.0
	八幡西区	70	22.9	17.1	38.6	32.9	38.6	17.1	1.4
	戸畑区	15	33.3	20.0	40.0	26.7	40.0	13.3	0.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

住みやすい生活環境を有するまちであることへの満足感

【 全 体 的 傾 向 】

住みやすい、住み続けたいと思えるような生活環境を有するまちだと感じているかどうかをみると、「とても感じている」は 10.9%、「ある程度感じている」が 50.7%、合計すると、肯定層は 61.6%である。一方、「あまり感じていない」は 14.0%、「ほとんど感じていない」は 2.8%、合計すると、否定層は 16.8%である。

肯定層（61.6%）が否定層（16.8%）を大きく上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、20歳代、30歳代は40歳代以上に比べて肯定層の割合が低く、否定層の割合が高くなっている。
- 居住区別にみると、肯定層は戸畑区で70.3%と特に高くなっている。

住みやすい、住み続けたい生活環境のまちだとは感じられない理由

【 全 体 的 傾 向 】

住みやすい、住み続けたいと思えるような生活環境を有するまちだと感じられない主な理由は、「安心して通行できる生活道路が整っていない」（36.4%）、「市民の主体的な参加による快適な住環境実現のための計画・ルールづくり・まちづくり支援が不十分」（35.3%）、「地域ぐるみでまち美化を進める機運が低い」（32.7%）の3つが30%台で並んでいる。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、「身近な公園が十分整備されていない」は20歳代（32.3%）、30歳代（33.0%）、40歳代（37.5%）で高くなっている。
- 20歳～30歳代で否定層が多くなっている要因として、「安心して通行できる生活道路が整っていない」「身近な公園が十分に整備されていない」「市民の主体的な参加による快適な住環境実現のための計画・ルールづくり・まちづくり支援が不十分」を挙げている。

【 自由記入欄の回答状況 】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ ソフトの重要さ、教育、道徳にお金をかけてほしい。
- ・ 騒音の対策が遅れている地域がある。
- ・ 自転車が行きやすい道路を作ってほしい。

(7) 文化やスポーツについて

芸術・文化・スポーツなどに親しめるまちであることに対する満足感

問9 北九州市では、音楽や演劇、スポーツに関するイベントの開催などにより、芸術・文化やスポーツを盛んにする取組みを進めています。そこで、おたずねします。

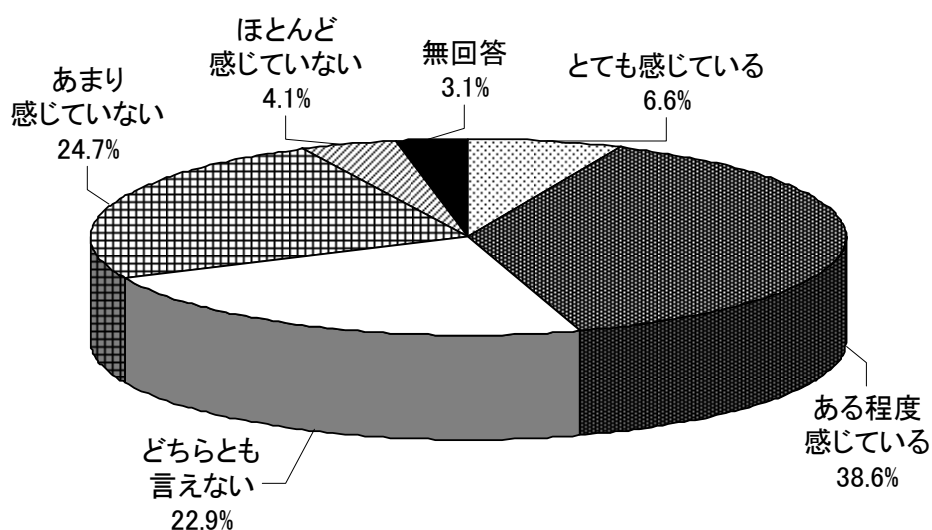
北九州市は、芸術・文化やスポーツに親しむ（見る、参加する）機会に恵まれているまちだと感じますか。

N:1,618人

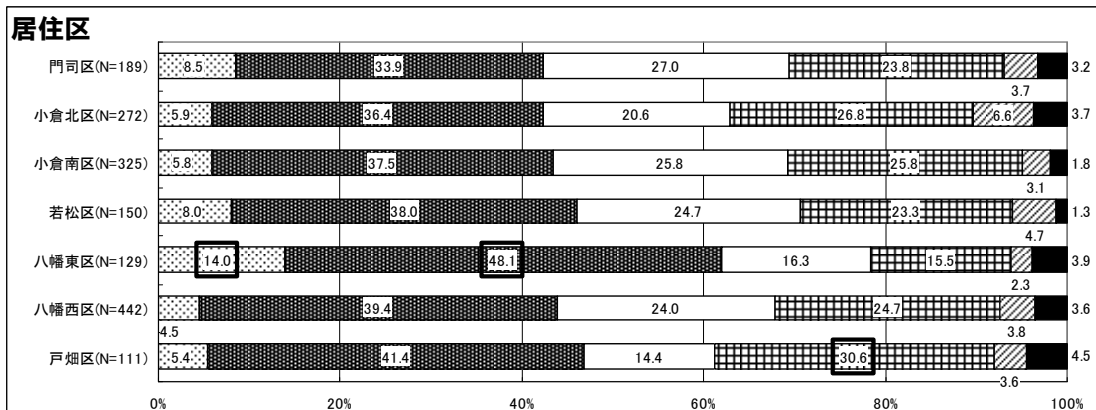
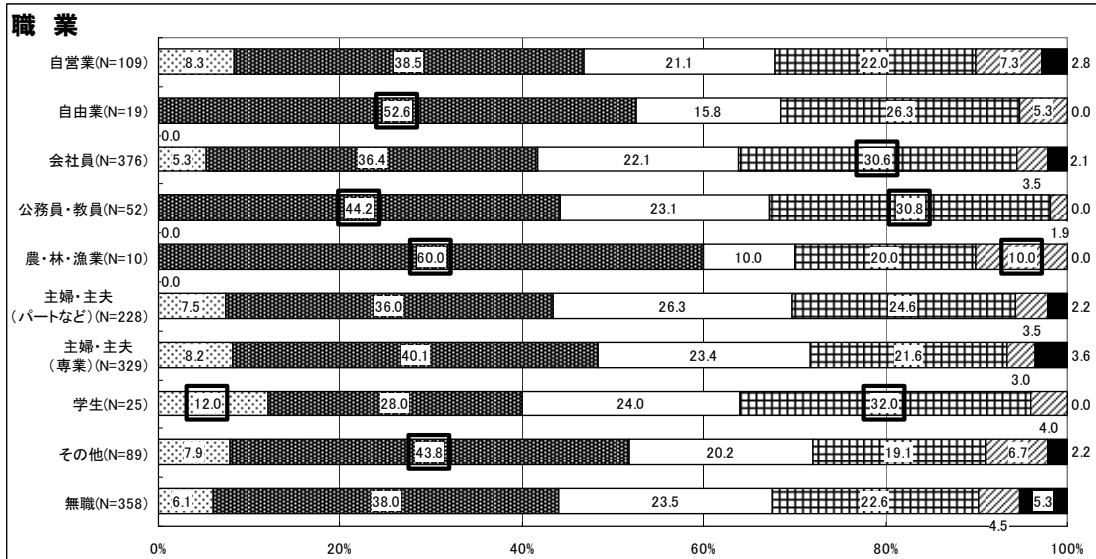
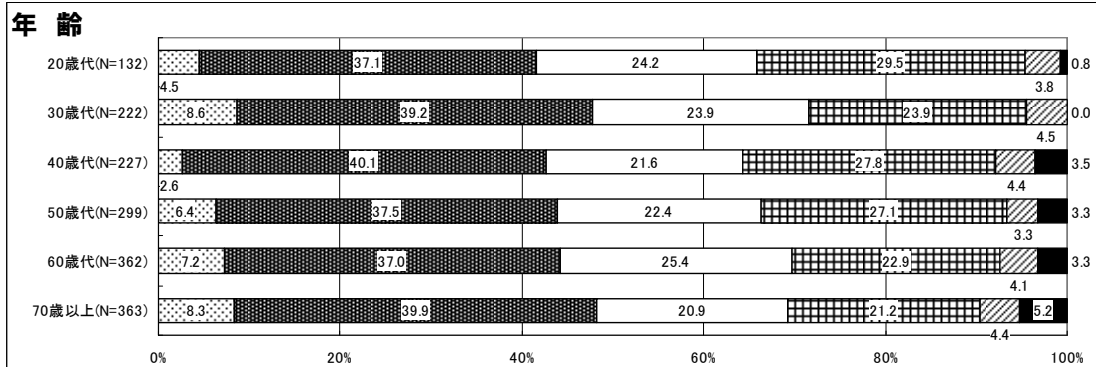
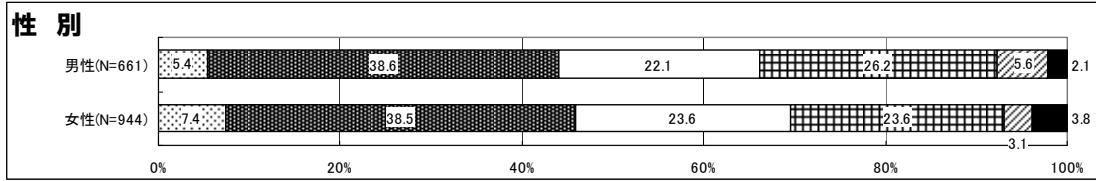
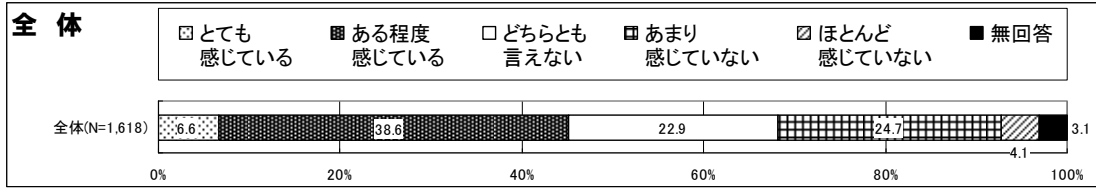
項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	107	6.6
2 ある程度感じている	624	38.6
3 どちらとも言えない	371	22.9
4 あまり感じていない	400	24.7
5 ほとんど感じていない	66	4.1
無回答	50	3.1

文化・芸術・スポーツなどへの親和性（見る・参加する）に対する市民の満足感は、

- ・肯定層 45.2%
 （「とても感じている」6.6% + 「ある程度感じている」38.6%）
- ・否定層 28.8%
 （「あまり感じていない」24.7% + 「ほとんど感じていない」4.1%）



問9 芸術・文化・スポーツなどに親しめるまちであることに対する満足感



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

芸術・文化・スポーツなどに親しめるまちだとは感じられない理由

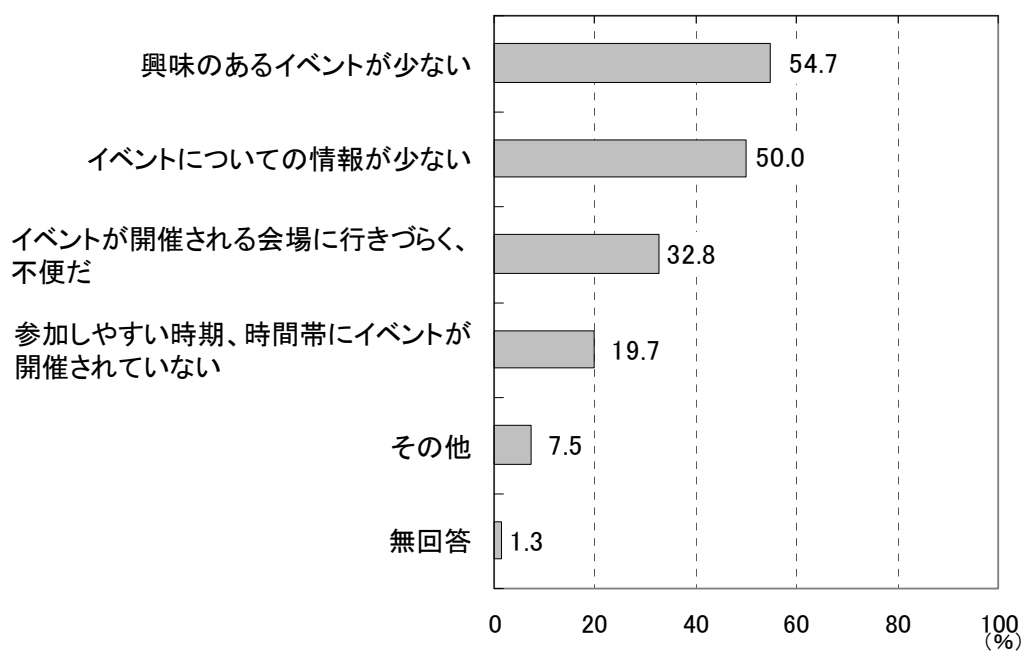
副問9 - 1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを2つ選んで下さい。

N:466人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 イベントについての情報が少ない	233	50.0
2 興味のあるイベントが少ない	255	54.7
3 参加しやすい時期、時間帯にイベントが開催されていない	92	19.7
4 イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ	153	32.8
5 その他(具体的に:)	35	7.5
無回答	6	1.3

文化やスポーツなどに親しめるまちであると感じられない主な理由は、

- 1位 「興味のあるイベントが少ない」(54.7%)
- 2位 「イベントについての情報が少ない」(50.0%)
- 3位 「イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ」(32.8%)



副問9 - 1 芸術・文化・スポーツなどに親しめるまちだとは感じられない理由

		サンプル数	イベントが少ないについての情報	興味のあるイベントが	時間帯にイベントがない時間帯、開催時間	会場に行きづらく開催されない	その他	無回答
全体		466	50.0	54.7	19.7	32.8	7.5	1.3
性別	男性	210	47.6	54.8	22.4	29.0	9.5	1.0
	女性	252	52.4	54.8	17.9	35.7	6.0	1.2
年齢	20歳代	44	72.7	61.4	13.6	13.6	2.3	0.0
	30歳代	63	44.4	58.7	30.2	22.2	14.3	0.0
	40歳代	73	56.2	61.6	12.3	28.8	11.0	1.4
	50歳代	91	46.2	59.3	29.7	31.9	9.9	0.0
	60歳代	98	48.0	54.1	22.4	34.7	3.1	2.0
	70歳以上	93	45.2	39.8	9.7	50.5	5.4	2.2
現在地での居住年数	1年未満	14	50.0	50.0	21.4	21.4	7.1	0.0
	2年未満	17	58.8	52.9	23.5	23.5	5.9	0.0
	3年未満	14	64.3	50.0	28.6	21.4	7.1	0.0
	5年未満	23	47.8	52.2	13.0	30.4	13.0	0.0
	10年未満	56	51.8	62.5	23.2	25.0	3.6	1.8
	20年未満	77	50.6	61.0	18.2	33.8	6.5	0.0
	30年未満	98	49.0	56.1	18.4	36.7	8.2	0.0
	30年以上	163	48.5	49.7	20.2	35.6	8.6	2.5
職業	自営業	32	56.3	43.8	15.6	34.4	6.3	0.0
	自由業	6	100.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	会社員	128	48.4	59.4	27.3	20.3	10.9	0.8
	公務員・教員	17	41.2	64.7	23.5	35.3	5.9	5.9
	農・林・漁業	3	66.7	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	64	54.7	60.9	21.9	29.7	3.1	1.6
	主婦・主夫(専業)	81	49.4	50.6	16.0	46.9	2.5	1.2
	学生	9	77.8	77.8	11.1	22.2	0.0	0.0
	無職	97	44.3	44.3	18.6	44.3	11.3	1.0
	その他	23	47.8	60.9	8.7	13.0	13.0	0.0
同居の家族	1人暮らし	63	54.0	44.4	22.2	36.5	3.2	0.0
	夫婦のみ	125	52.0	56.8	16.8	34.4	2.4	0.8
	親子(2世代)	217	49.8	56.2	21.7	30.4	11.5	0.9
	親・子・孫	33	48.5	42.4	27.3	30.3	6.1	6.1
	その他	23	34.8	78.3	4.3	39.1	13.0	0.0
居住区	門司区	52	46.2	57.7	21.2	46.2	1.9	0.0
	小倉北区	91	57.1	60.4	13.2	17.6	11.0	0.0
	小倉南区	94	55.3	61.7	16.0	27.7	5.3	2.1
	若松区	42	40.5	54.8	11.9	47.6	7.1	2.4
	八幡東区	23	21.7	69.6	34.8	26.1	8.7	0.0
	八幡西区	126	50.8	39.7	24.6	41.3	9.5	1.6
	戸畑区	38	50.0	60.5	26.3	23.7	5.3	2.6

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

芸術・文化・スポーツなどに親しめるまちであることに対する満足感

【 全 体 的 傾 向 】

芸術・文化やスポーツに親しむ（見る、参加する）機会に恵まれているまちだと感じているかどうかをみると、「とても感じている」は6.6%、「ある程度感じている」は38.6%、合計すると、肯定層は45.2%である。一方、「あまり感じていない」は24.7%、「ほとんど感じていない」は4.1%、合計すると、否定層は28.8%である。

肯定層（45.2%）が否定層（28.8%）を16.4ポイント上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 居住区別にみると、八幡東区で肯定層が62.1%と高くなっているのが目立つ。

芸術・文化・スポーツなどに親しめるまちだとは感じられない理由

【 全 体 的 傾 向 】

芸術・文化やスポーツに親しむ（見る、参加する）機会に恵まれているまちだと感じられない主な理由は、「興味のあるイベントが少ない」（54.7%）と「イベントについての情報が少ない」（50.0%）の2つが高くなっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、20歳代では「イベントについての情報が少ない」が72.7%、70歳以上では「イベントが開催される会場に行きづらく、不便だ」が50.5%と、特に高くなっている。

【 自由記入欄の回答状況 】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ イベントを開催するための大型の会場がない。
- ・ イベントが開催される地域に偏りがある。
- ・ 他市と比較して文化的なレベルが低いように感じる。

(8) 町内会などの市民活動について

町内会や市民活動に参加しやすい環境にあることへの満足感

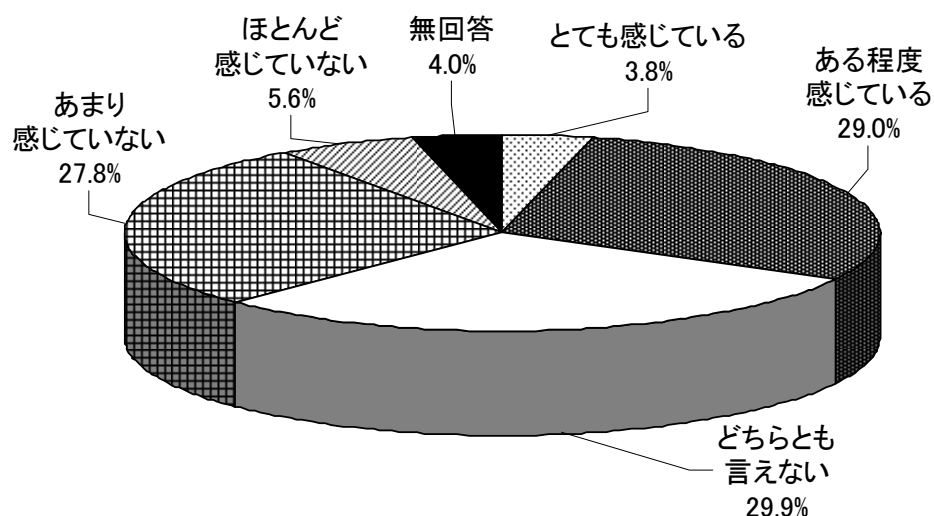
問 1 0 北九州市では、自治会・町内会の支えあい活動の支援や NPO・ボランティア活動の促進に取り組んでいます。そこで、おたずねします。

あなたは、北九州市は町内会や NPO、ボランティアなどの市民活動に参加しやすい環境（地域の雰囲気、NPO やボランティアなどに関する情報の提供など）が整ったまちだと感じますか。

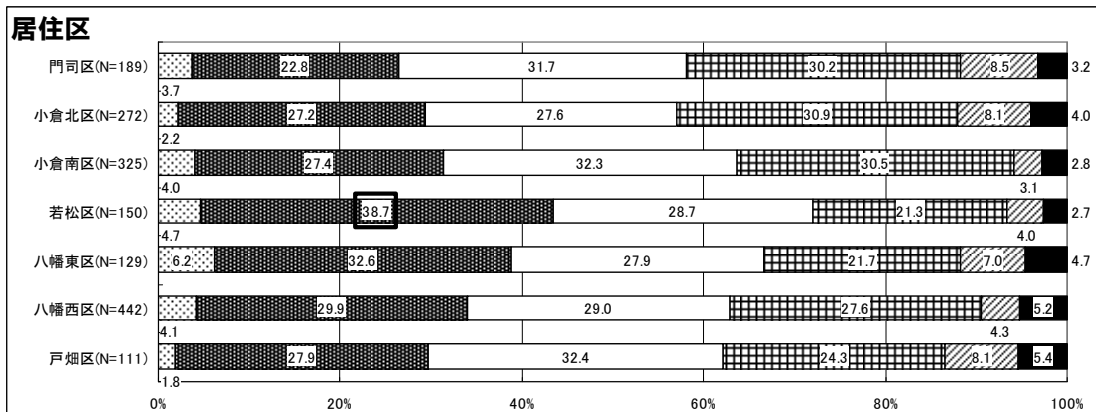
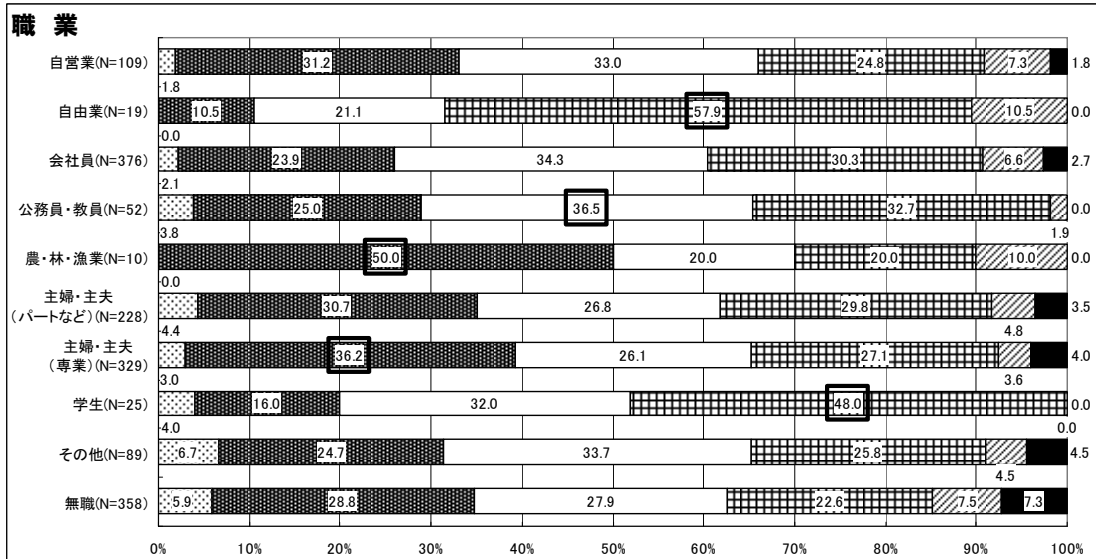
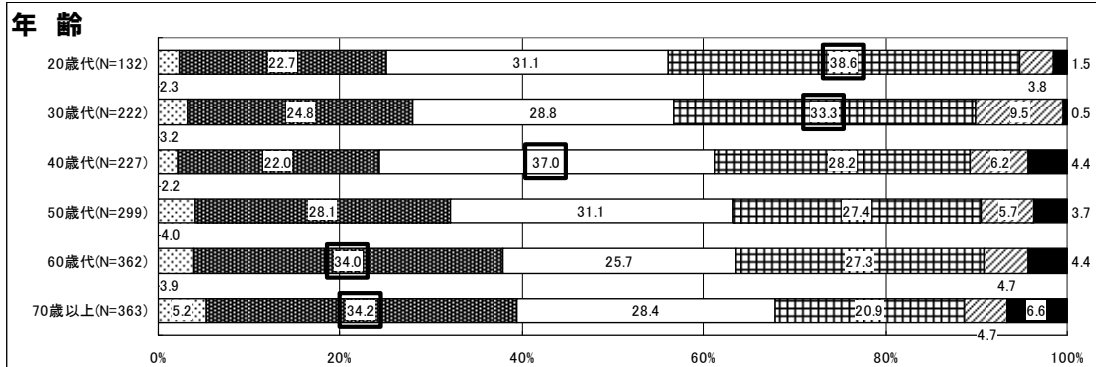
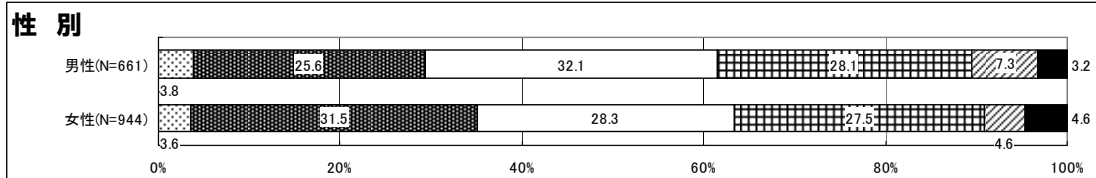
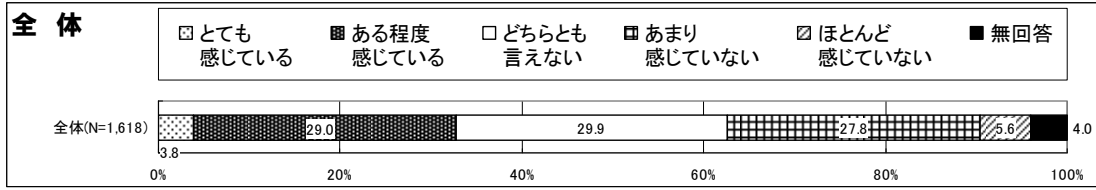
N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	61	3.8
2 ある程度感じている	469	29.0
3 どちらとも言えない	483	29.9
4 あまり感じていない	449	27.8
5 ほとんど感じていない	91	5.6
無回答	65	4.0

町内会や市民活動などへの参加のしやすさに関する市民の満足感は、
 ・肯定層 32.8%
 (「とても感じている」3.8% + 「ある程度感じている」29.0%)
 ・否定層 33.4%
 (「あまり感じていない」27.8% + 「ほとんど感じていない」5.6%)



問10 町内会や市民活動に参加しやすい環境にあることへの満足感



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

町内会や市民活動への参加のしやすさが感じられない理由

副問10-1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から1つ選んで下さい。

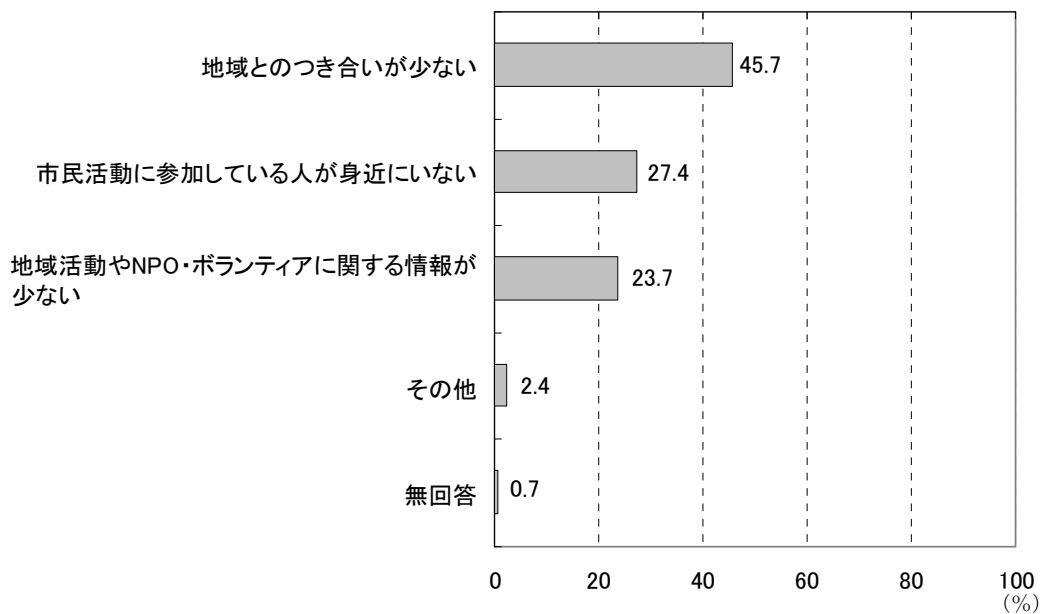
N:540人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 地域とのつき合いが少ない	247	45.7
2 市民活動に参加している人が身近にいない	148	27.4
3 地域活動やNPO・ボランティアに関する情報が少ない	128	23.7
4 その他(具体的に:)	13	2.4
無回答	4	0.7

市民にとって、活動への参加のしやすさが感じられない主な理由は、

1位 「地域とのつき合いが少ない」(45.7%)

2位 「市民活動に参加している人が身近にいない」(27.4%)



副問10-1 町内会や市民活動への参加のしやすさを感じられない理由

		サンプル数	ない地域とのつき合いが少	る市民が活動に参加していない	報ラ地 がン域 少テ活 ないイ動 にアや 関N するP 情O ボ	その他	無回答
全体		540	45.7	27.4	23.7	2.4	0.7
性別	男性	234	49.1	23.9	23.5	2.6	0.9
	女性	303	43.2	30.0	23.8	2.3	0.7
年齢	20歳代	56	39.3	37.5	21.4	1.8	0.0
	30歳代	95	45.3	27.4	23.2	4.2	0.0
	40歳代	78	39.7	32.1	28.2	0.0	0.0
	50歳代	99	49.5	23.2	24.2	3.0	0.0
	60歳代	116	48.3	25.0	24.1	2.6	0.0
	70歳以上	93	48.4	24.7	20.4	2.2	4.3
現在地での 居住年数	1年未満	19	57.9	42.1	0.0	0.0	0.0
	2年未満	19	52.6	31.6	15.8	0.0	0.0
	3年未満	18	50.0	22.2	22.2	5.6	0.0
	5年未満	36	41.7	25.0	30.6	2.8	0.0
	10年未満	67	40.3	32.8	19.4	6.0	1.5
	20年未満	81	64.2	18.5	14.8	2.5	0.0
	30年未満	119	44.5	23.5	30.3	1.7	0.0
	30年以上	178	38.8	30.9	27.0	1.7	1.7
職業	自営業	35	37.1	14.3	42.9	2.9	2.9
	自由業	13	46.2	30.8	15.4	7.7	0.0
	会社員	139	45.3	25.2	26.6	2.9	0.0
	公務員・教員	18	38.9	44.4	11.1	5.6	0.0
	農・林・漁業	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	79	35.4	36.7	25.3	2.5	0.0
	主婦・主夫(専業)	101	48.5	22.8	26.7	2.0	0.0
	学生	12	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	無職	108	53.7	25.9	17.6	0.0	2.8
その他	27	55.6	22.2	14.8	7.4	0.0	
同居の家族	1人暮らし	70	51.4	32.9	14.3	0.0	1.4
	夫婦のみ	147	53.7	20.4	22.4	3.4	0.0
	親子(2世代)	255	42.0	29.4	25.9	2.4	0.4
	親・子・孫	35	28.6	31.4	31.4	2.9	5.7
	その他	28	50.0	21.4	25.0	3.6	0.0
居住区	門司区	73	39.7	32.9	23.3	4.1	0.0
	小倉北区	106	49.1	26.4	22.6	0.0	1.9
	小倉南区	109	50.5	29.4	20.2	0.0	0.0
	若松区	38	34.2	31.6	31.6	2.6	0.0
	八幡東区	37	45.9	21.6	24.3	8.1	0.0
	八幡西区	141	45.4	25.5	23.4	4.3	1.4
	戸畑区	36	47.2	22.2	30.6	0.0	0.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

町内会や市民活動に参加しやすい環境にあることへの満足感

【 全 体 的 傾 向 】

町内会や NPO、ボランティアなどの市民活動に参加しやすい環境（地域の雰囲気、NPO やボランティアなどに関する情報の提供など）が整ったまちだと感じているかどうかをみると、「とても感じている」は 3.8%、「ある程度感じている」は 29.0%、合計すると、肯定層は 32.8%である。一方、「あまり感じていない」は 27.8%、「ほとんど感じていない」は 5.6%、合計すると、否定層は 33.4%である。

肯定層（32.8%）と否定層（33.4%）がほぼ同数となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、概ね、肯定層は年齢が高いほど高く、否定層は年齢が低いほど高くなる傾向にある。20 歳代、30 歳代では否定層が 40%を超えている。
- 居住区別にみると、肯定層は若松区（43.4%）で最も高く、門司区（26.5%）で最も低い。

町内会や市民活動への参加のしやすさが感じられない理由

【 全 体 的 傾 向 】

町内会や NPO、ボランティアなどの市民活動に参加しやすい環境が整ったまちだと感じられない主な理由は、「地域とのつき合いが少ない」（45.7%）が最も高く、次いで、「市民活動に参加している人が身近にいない」（27.4%）と「地域活動や NPO・ボランティアに関する情報が少ない」（23.7%）となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 同居の家族別にみると、親・子・孫では「地域とのつき合いが少ない」が 28.6% と非常に少なくなっており、多世代家族では地域のつながりが強くなっている様子がうかがえる。資料編 1 クロス集計表参照
- 20 歳～30 歳代で否定層が多くなっている要因として、「地域とのつき合いが少ない」「市民活動に参加している人が身近にいない」が特に多かった。

【 自由記入欄の回答状況 】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 高齢者に任せきりで、若者が無関心。
- ・ 活動している住民が固定化され、内容もマンネリ化している。

(9) 雇用の機会について

市が取り組む人材育成・就業支援策に対する満足感

問 1 1 北九州市では、就業に必要な能力開発の機会の提供や就業相談の実施など、地元企業で活躍できる人材の育成、就業の支援に取り組んでいます。そこで、おたずねします。

あなたは、北九州市が取り組んでいる人材育成・就業支援は十分であると感じますか。

N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	16	1.0
2 ある程度感じている	228	14.1
3 どちらとも言えない	598	37.0
4 あまり感じていない	529	32.7
5 ほとんど感じていない	175	10.8
無回答	72	4.4

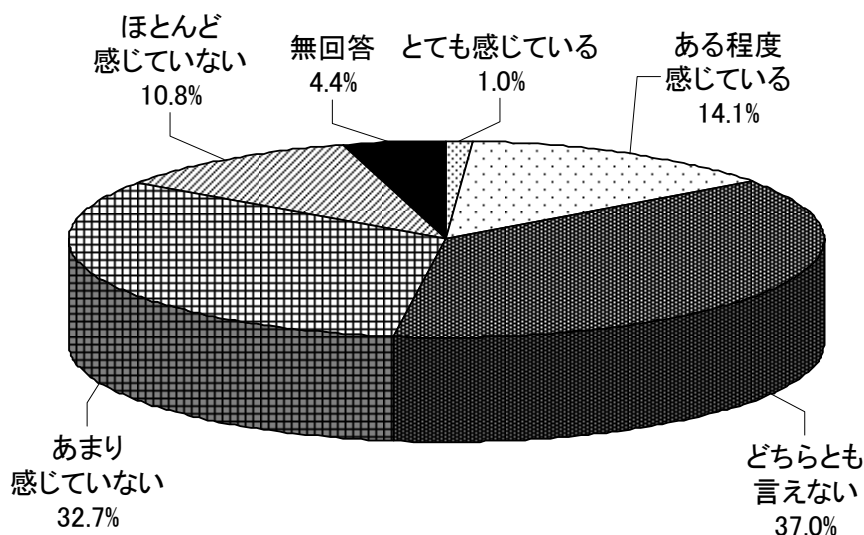
市が取り組む人材育成・就業支援策に対する市民の満足感は、

・肯定層 15.1%

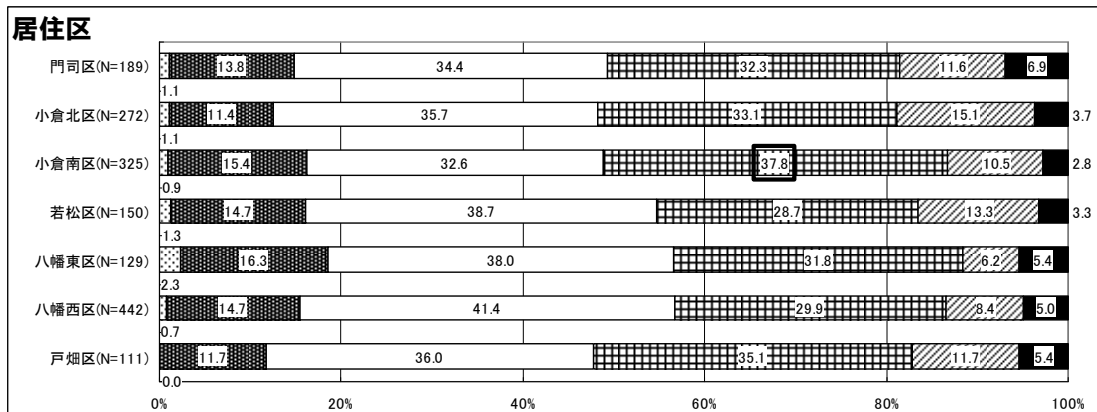
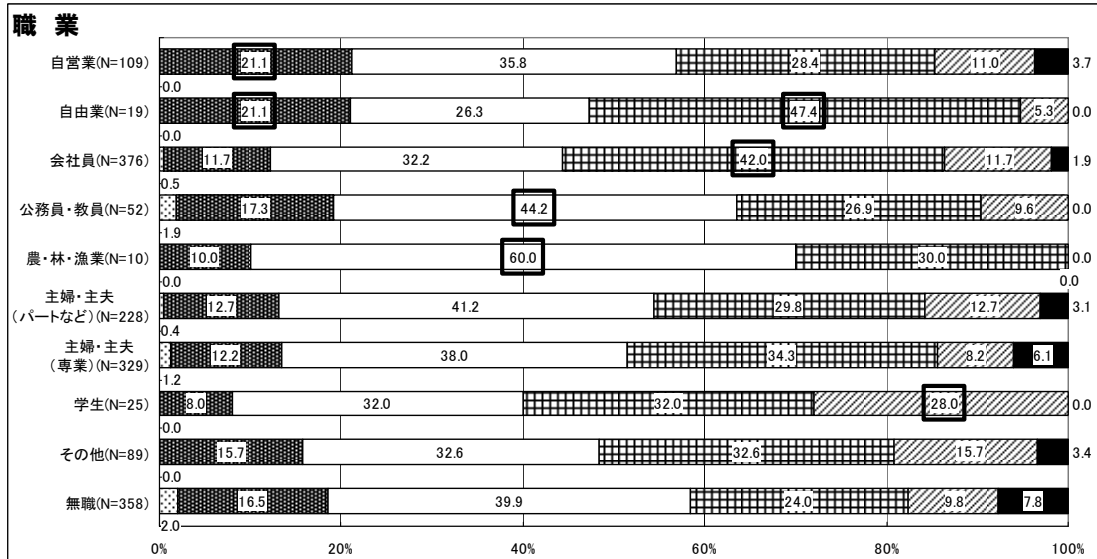
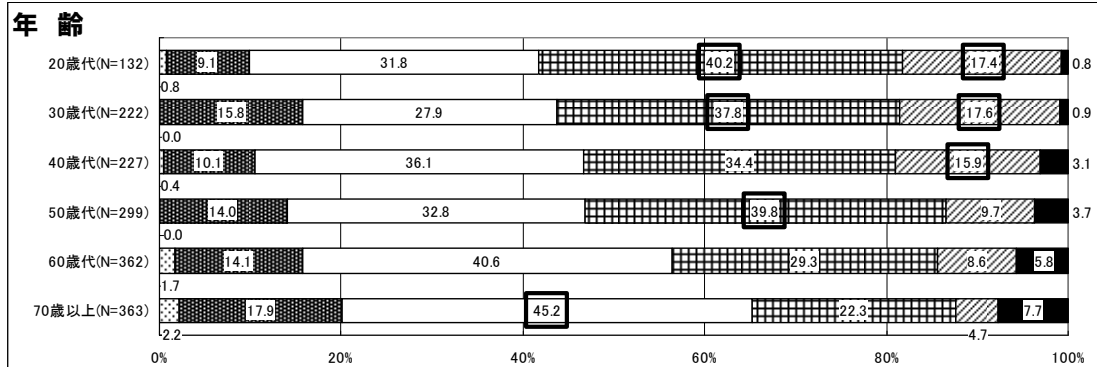
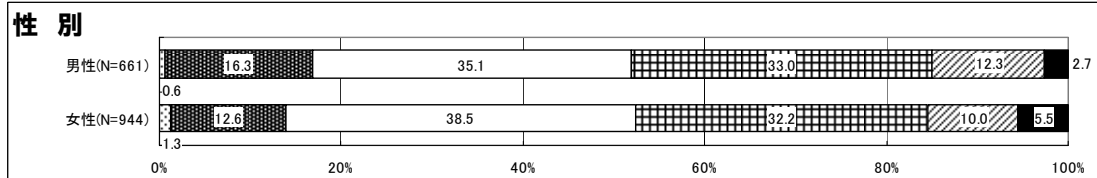
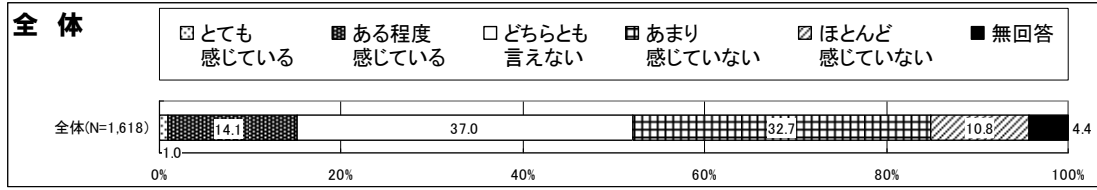
(「とても感じている」1.0% + 「ある程度感じている」14.1%)

・否定層 43.5%

(「あまり感じていない」32.7% + 「ほとんど感じていない」10.8%)



問 1 1 市が取り組む人材育成・就業支援策に対する満足感



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

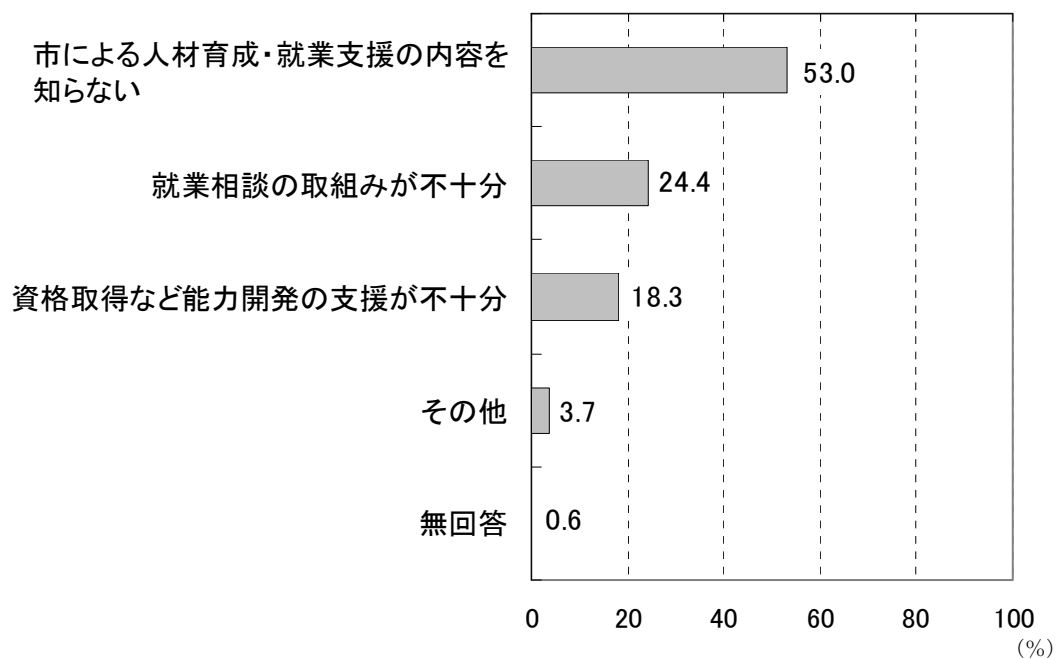
雇用機会の充実のための、市の取組みが十分とは感じられない理由

副問 1 1 - 1 (4 もしくは 5 と選んだ) 理由について、下記から 1 つ選んで下さい。

N:704人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 資格取得など能力開発の支援が不十分	129	18.3
2 就業相談の取組みが不十分	172	24.4
3 市による人材育成・就業支援の内容を知らない	373	53.0
4 その他(具体的に:)	26	3.7
無回答	4	0.6

雇用機会の充実のための、市の取組みが十分とは感じられない主な理由は、
 1 位 「市による人材育成・就業支援の内容を知らない」(53.0%)
 2 位 「就業相談の取組みが不十分」(24.4%)



副問 1 1 - 1 雇用機会の充実のための、市の取組みが十分とは感じられない理由

		サンプル数	の資格支援取得が不十分	十分就業相談の取組みが不	い業市に支える内容人材育成知らな就	その他	無回答
全体		704	18.3	24.4	53.0	3.7	0.6
性別	男性	299	18.4	24.4	52.5	4.0	0.7
	女性	398	18.6	23.6	53.8	3.5	0.5
年齢	20歳代	76	27.6	21.1	47.4	3.9	0.0
	30歳代	123	25.2	19.5	50.4	4.9	0.0
	40歳代	114	15.8	23.7	54.4	6.1	0.0
	50歳代	148	19.6	29.7	48.6	1.4	0.7
	60歳代	137	12.4	23.4	59.9	2.9	1.5
	70歳以上	98	13.3	24.5	57.1	4.1	1.0
現在地での居住年数	1年未満	30	23.3	16.7	60.0	0.0	0.0
	2年未満	26	26.9	19.2	42.3	11.5	0.0
	3年未満	26	23.1	19.2	57.7	0.0	0.0
	5年未満	49	12.2	22.4	61.2	4.1	0.0
	10年未満	82	23.2	26.8	43.9	6.1	0.0
	20年未満	122	24.6	23.8	50.0	1.6	0.0
	30年未満	142	17.6	26.1	50.0	4.2	2.1
	30年以上	219	13.2	24.2	58.4	3.7	0.5
職業	自営業	43	16.3	32.6	46.5	2.3	2.3
	自由業	10	0.0	30.0	70.0	0.0	0.0
	会社員	202	17.8	24.3	53.5	4.0	0.5
	公務員・教員	19	10.5	15.8	68.4	5.3	0.0
	農・林・漁業	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	97	18.6	29.9	48.5	3.1	0.0
	主婦・主夫(専業)	140	16.4	22.1	57.9	2.1	1.4
	学生	15	26.7	40.0	33.3	0.0	0.0
	無職	121	19.8	19.8	54.5	5.8	0.0
その他	43	27.9	18.6	46.5	7.0	0.0	
同居の家族	1人暮らし	75	17.3	26.7	52.0	2.7	1.3
	夫婦のみ	166	10.8	22.9	63.9	1.8	0.6
	親子(2世代)	367	22.3	23.7	49.3	4.1	0.5
	親・子・孫	53	20.8	28.3	41.5	9.4	0.0
	その他	29	10.3	20.7	65.5	3.4	0.0
居住区	門司区	83	19.3	25.3	49.4	6.0	0.0
	小倉北区	131	15.3	23.7	58.0	3.1	0.0
	小倉南区	157	23.6	22.3	52.9	1.3	0.0
	若松区	63	19.0	20.6	54.0	4.8	1.6
	八幡東区	49	16.3	32.7	49.0	2.0	0.0
	八幡西区	169	16.6	24.3	52.7	4.7	1.8
	戸畑区	52	15.4	28.8	50.0	5.8	0.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

市が取り組む人材育成・就業支援策に対する満足感

【 全 体 的 傾 向 】

市が取り組んでいる人材育成・就業支援は十分であると感じているかどうかをみると、「とても感じている」は1.0%、「ある程度感じている」は14.1%、合計すると、肯定層は15.1%である。一方、「あまり感じていない」は32.7%、「ほとんど感じていない」は10.8%、合計すると、否定イメージ派は43.5%である。

否定層（43.5%）が肯定層（15.1%）を大きく上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、年齢の低いほど否定層の割合が高くなっている。20歳代（57.6%）、30歳代（55.4%）、40歳代（50.3%）では半数を超えている。
- 職業別にみると、会社員で否定層が53.7%と、半数を超えている点が注目される。

雇用機会の充実のための、市の取組みが十分とは感じられない理由

【 全 体 的 傾 向 】

市が取り組んでいる人材育成・就業支援は十分と感じられない主な理由は、「市による人材育成・就業支援の内容を知らない」が53.0%と半数を超え、圧倒的に高くなっている。次いで、「就業相談の取組みが不十分」（24.4%）、「資格取得など能力開発の支援が不十分」（18.3%）となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、「資格取得など能力開発の支援が不十分」の割合が、20歳代で27.6%、30歳代で25.2%と高くなっている。
- 20歳～40歳代で否定層が多くなっている要因として、特に多かったのが「市による人材育成・就業支援の内容を知らない」であった。

【 自由記入欄の回答状況 】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 年齢や学歴の面で就業制限がある。
- ・ 雇用不足を考えてほしい。

(10) 北九州市の魅力について

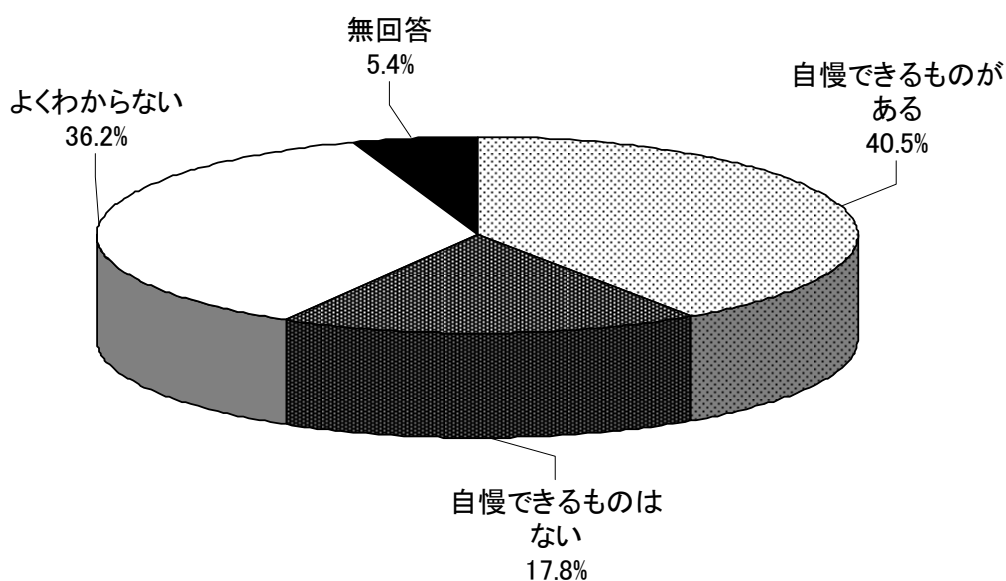
21 市外からの来訪者に対して、自慢できるものの有無

問12 北九州市では、環境における先進的な取組みや、ものづくりのまちとしての発展を支えてきた技術やノウハウ、特産品などの強みを活かした魅力づくりや、映画・テレビドラマ等のロケ誘致・支援などを通じた北九州市の魅力発信に取り組んでいます。そこで、おたずねします。

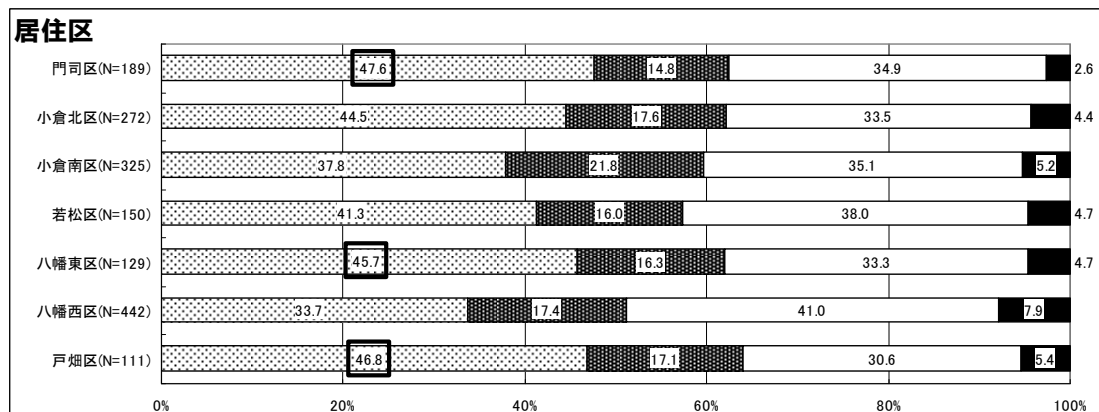
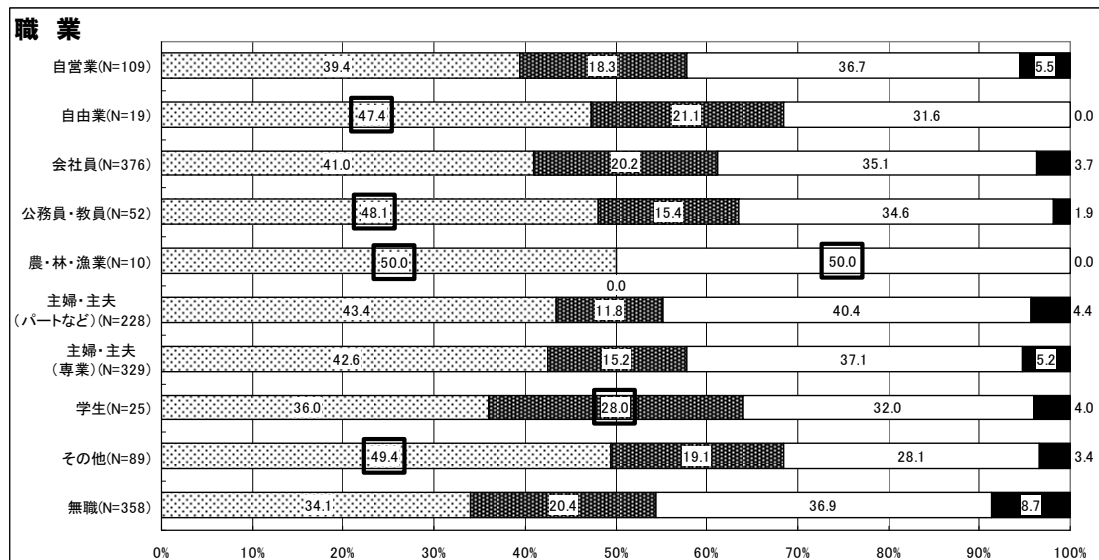
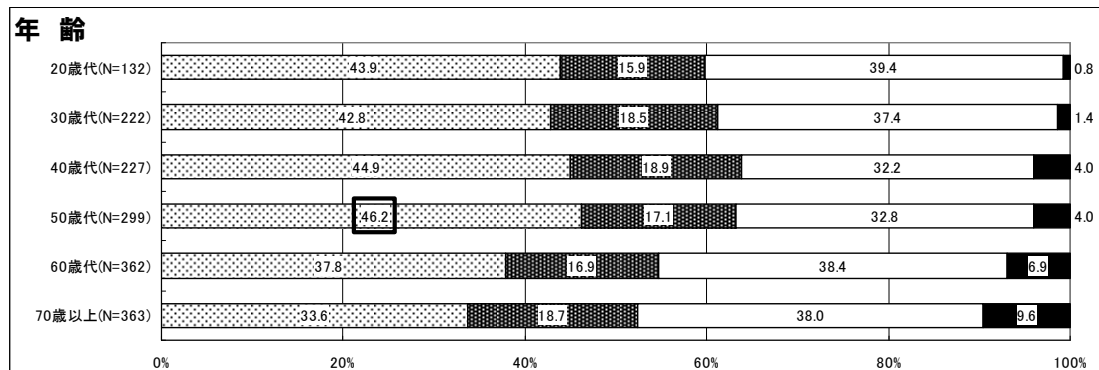
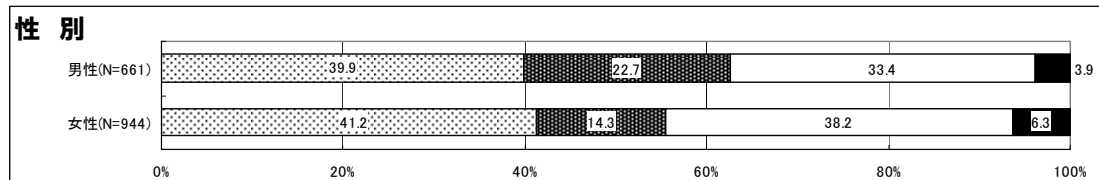
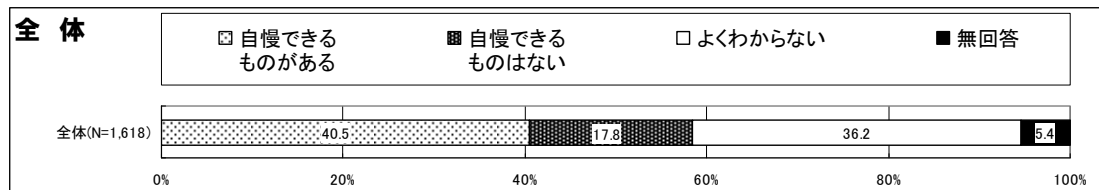
あなたは、北九州市には市外からの来訪者に自慢できる偉人や食べ物、イベント、景勝地などがあると感じますか。

N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 自慢できるものがある(具体的に:)	656	40.5
2 自慢できるものはない	288	17.8
3 よくわからない	586	36.2
無回答	88	5.4



問 1 2 市外からの来訪者に対して、自慢できるものの有無



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

【 全 体 的 傾 向 】

市外からの来訪者に自慢できる偉人や食べ物、イベント、景勝地などの有無については、「自慢できるものがある」は40.5%である。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 居住区別みると、「自慢できるものがある」は、門司区で47.6%と最も高く、八幡西区で33.7%と最も低い。

【 市外からの来訪者に対して、自慢できるもの 】

自慢できるものがあると回答した656人から、自慢できるもの(複数回答可)を挙げてもらった。

総 合

順位	項 目	N :
1 位	門司港レトロ	234
2 位	皿倉山	101
3 位	平尾台	94
4 位	小倉城	75
5 位	松本清張	73
6 位	鮮魚等	69
7 位	自然環境	49
8 位	祭り・花火大会一般	45
9 位	わっしょい百万夏まつり	36
10 位	じんだ煮・ぬかみそ炊き	34

分野別ベスト3

ジャンル	項 目	N :
人 物	松本清張	73
	火野葦平	9
	森 鷗外	8
食 べ 物	鮮魚等	69
	じんだ煮・ぬかみそ炊き	34
	焼きうどん	29
催 し	祭り・花火大会一般	45
	わっしょい百万夏まつり	36
	戸畑祇園大山笠	19
見どころ	門司港レトロ	234
	皿倉山	101
	平尾台	94
取組み	自然環境	49
	生活しやすさ	14
	工業	13

(11) 小倉・黒崎について

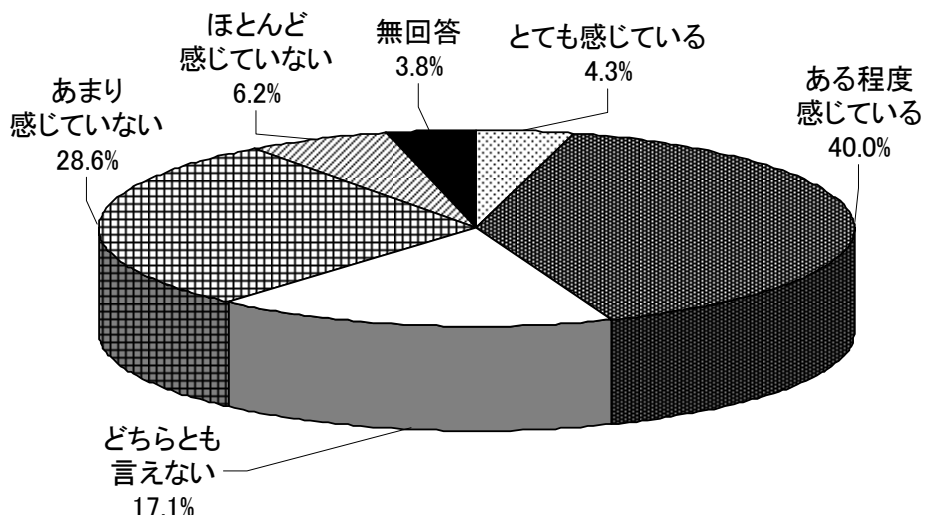
22 小倉都心のにぎわい印象にみる満足感

問13 北九州市では、小倉中心部を都心、黒崎地区を副都心と位置づけ、それぞれの個性を活かし、市内外から多くの人が集まる魅力あるまちづくりを進めています。そこで、おたずねします。
あなたは、小倉都心に、にぎわいを感じますか。

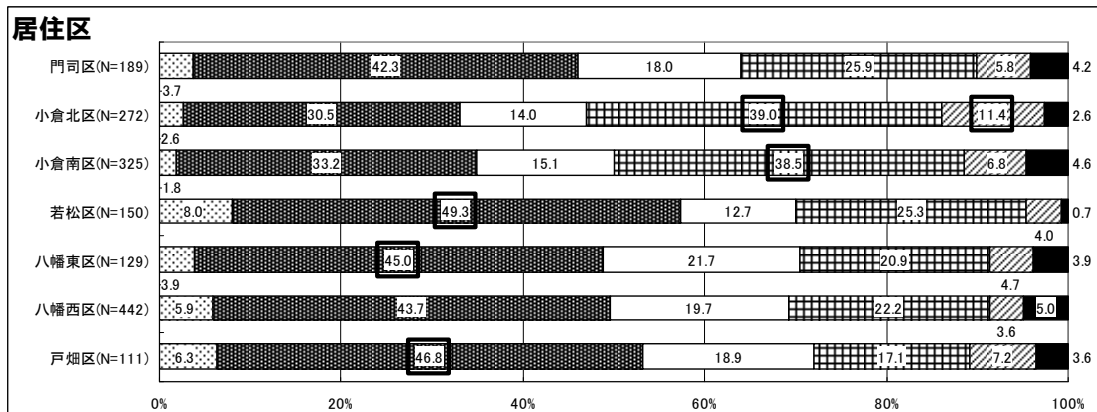
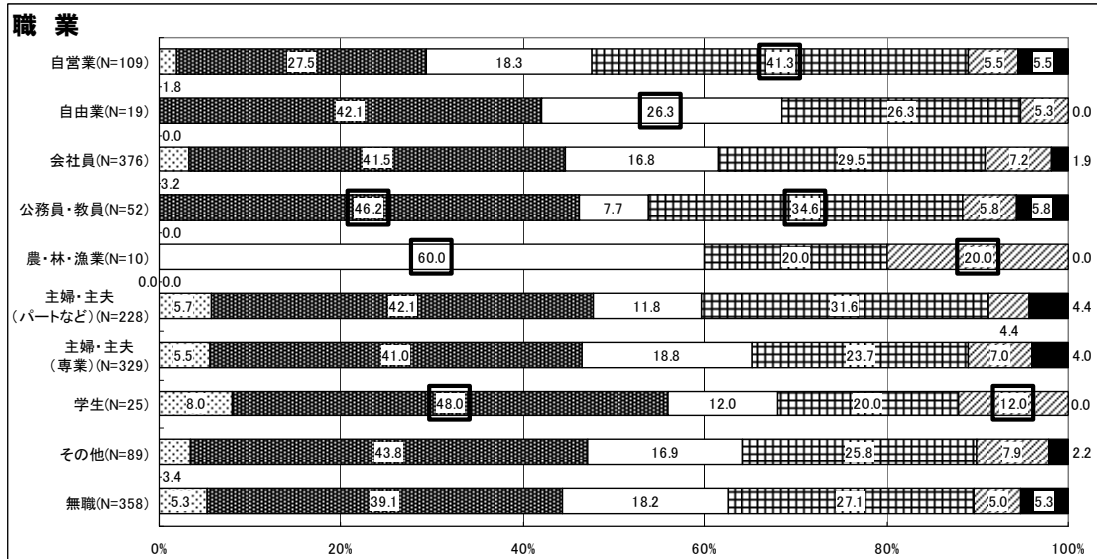
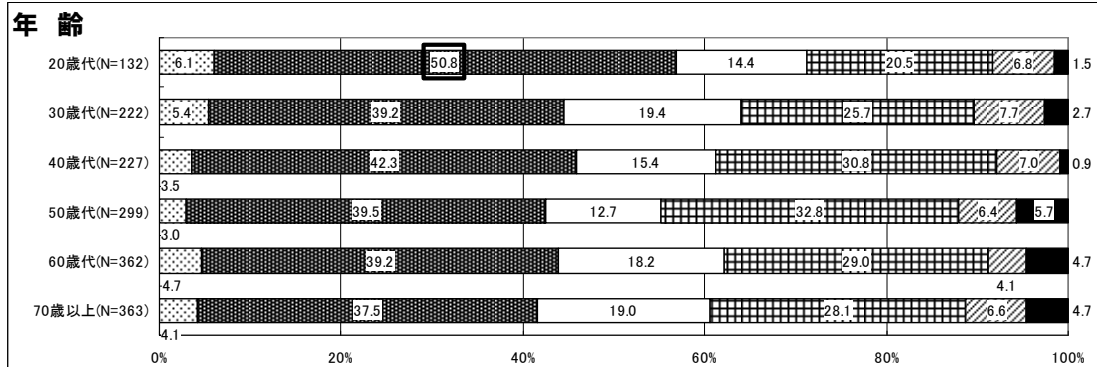
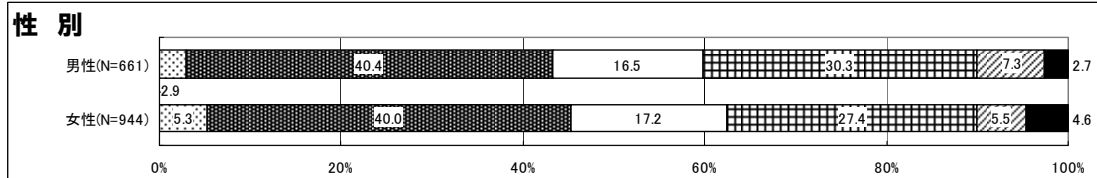
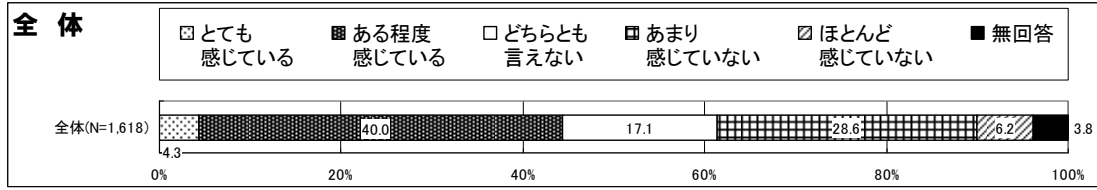
N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	70	4.3
2 ある程度感じている	648	40.0
3 どちらとも言えない	276	17.1
4 あまり感じていない	462	28.6
5 ほとんど感じていない	100	6.2
無回答	62	3.8

小倉都心のにぎわい度からみた市民の印象は、
 ・肯定層 44.3%
 (「とても感じている」4.3% + 「ある程度感じている」40.0%)
 ・否定層 34.8%
 (「あまり感じていない」28.6% + 「ほとんど感じていない」6.2%)



問 1 3 小倉都心のにぎわい印象にみる満足感



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

【 全 体 的 傾 向 】

小倉都心のにぎわいについては、「とても感じている」は4.3%、「ある程度感じている」は40.0%、合計すると、肯定層は44.3%となっている。一方、「あまり感じていない」は28.6%、「ほとんど感じていない」は6.2%、合計すると、否定層は34.8%となっている。

肯定層（44.3%）が否定層（34.8%）を9.5ポイント上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、20歳代で肯定層が56.9%と半数を超えている（他の年齢層は40%台）
- 居住区別にみると、肯定層は若松区（57.3%）や戸畑区（53.1%）では半数を超えているが、小倉北区では33.1%、小倉南区では35.0%と低くなっている。小倉北区では否定層が50.4%と半数を占めている。

23 黒崎副都心のにぎわい印象にみる満足感

問14 あなたは、黒崎副都心に、にぎわいを感じますか。

N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	2	0.1
2 ある程度感じている	67	4.1
3 どちらとも言えない	219	13.5
4 あまり感じていない	538	33.3
5 ほとんど感じていない	705	43.6
無回答	87	5.4

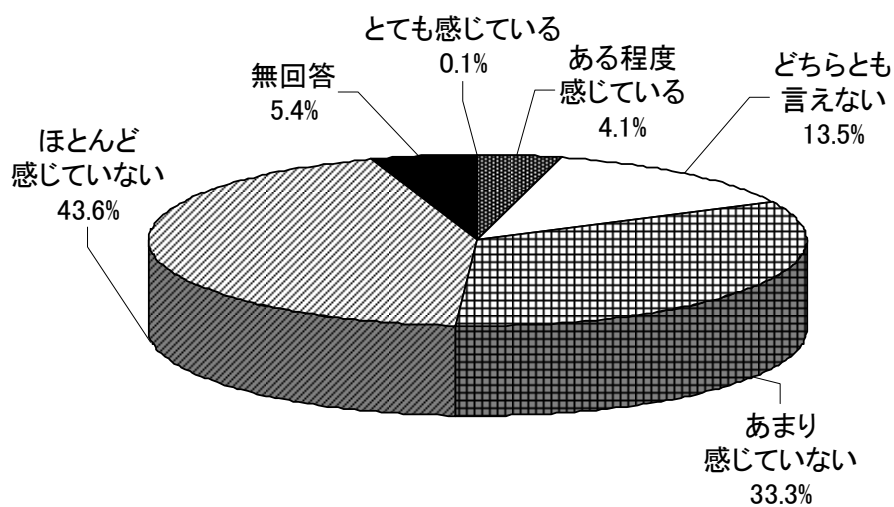
黒崎副都心のにぎわい度からみた市民の印象は、

・肯定層 4.2%

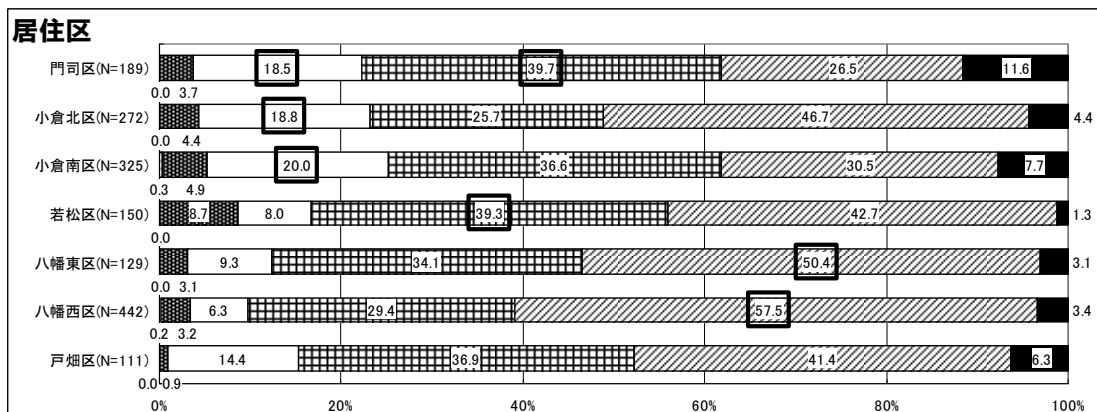
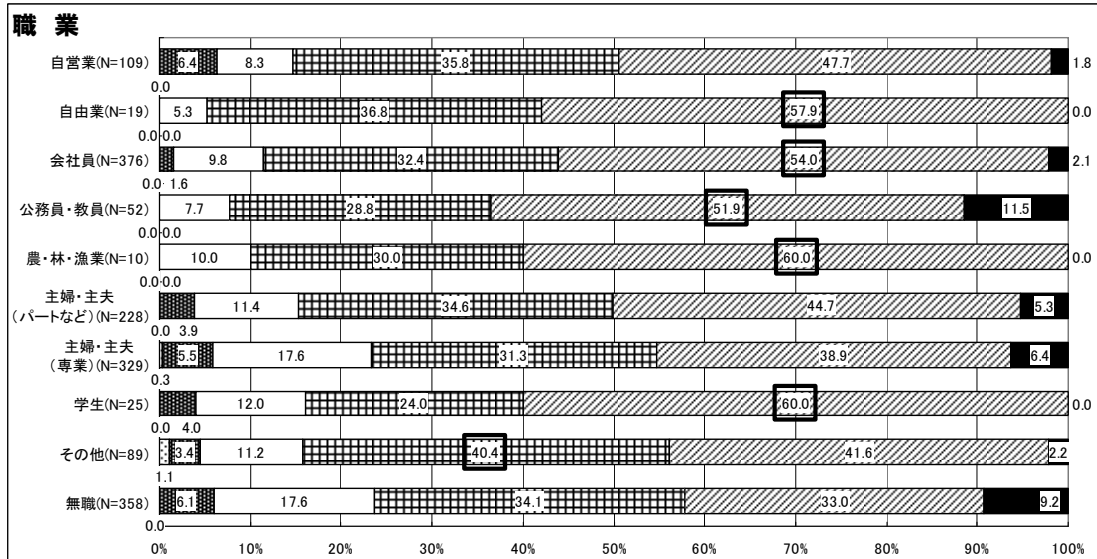
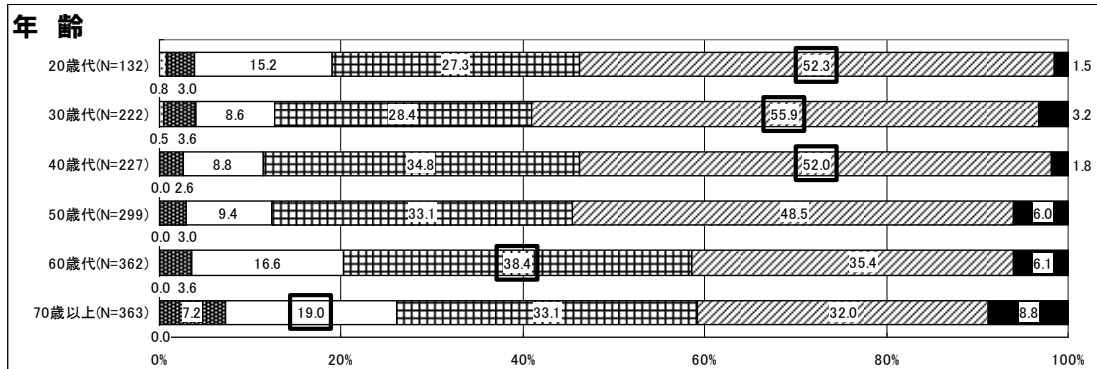
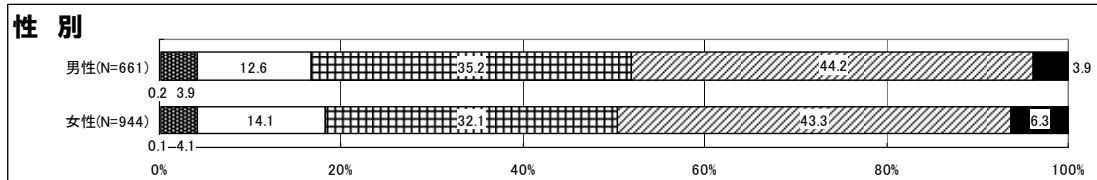
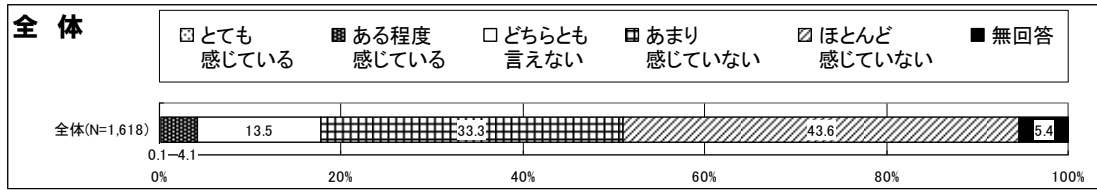
(「とても感じている」0.1% + 「ある程度感じている」4.1%)

・否定層 76.9%

(「あまり感じていない」33.3% + 「ほとんど感じていない」43.6%)



問 1 4 黒崎副都心のにぎわい印象にみる満足感



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

【 全 体 的 傾 向 】

黒崎副都心のにぎわいについては、「とても感じている」は0.1%、「ある程度感じている」は4.1%、合計すると、肯定層は4.2%にとどまっている。一方、「あまり感じていない」は33.3%、「ほとんど感じていない」は43.6%、合計すると、否定層は76.9%となっている。

否定層（76.9%）が肯定層（4.2%）を大きく上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、否定層の中でも「ほとんど感じていない」は、20歳代（52.3%）、30歳代（55.9%）、40歳代（52.0%）では半数を超えている。
- 居住区別にみると、否定層の中でも「ほとんど感じていない」は、八幡西区で57.5%、八幡東区で50.4%と半数を超えている。

(12) 交通機能について

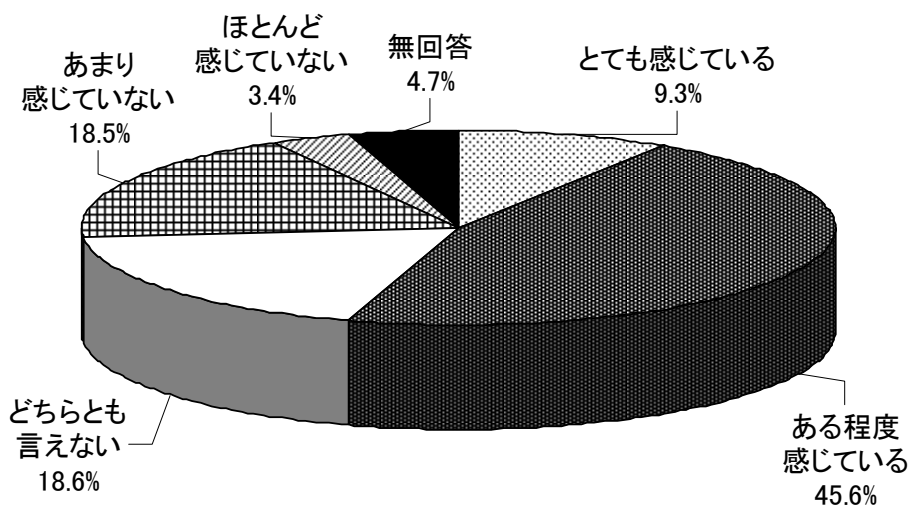
24 市内での車移動の利便性に対する印象

問15 北九州市では、主要な幹線道路の整備や交通渋滞の解消、公共交通ネットワークの強化などを進めています。そこで、おたずねします。
あなたは、北九州市内の車（自家用車、タクシーなど）での移動は便利であると感じますか。

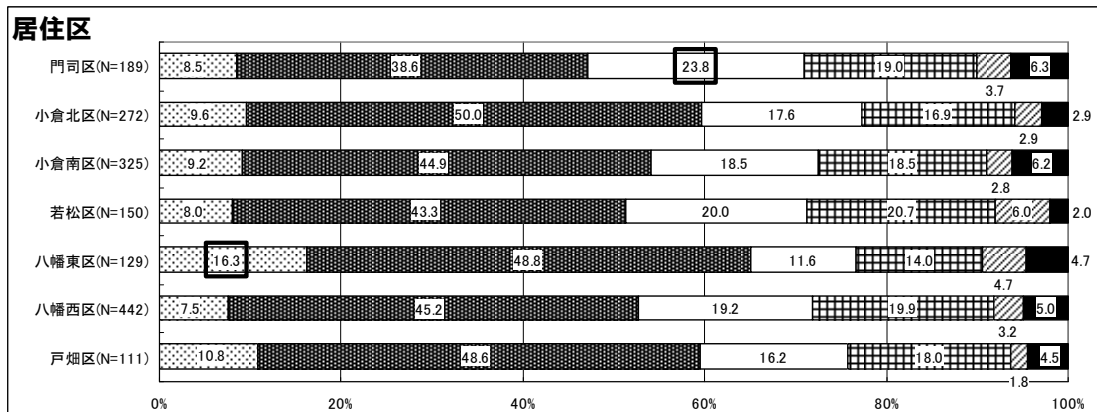
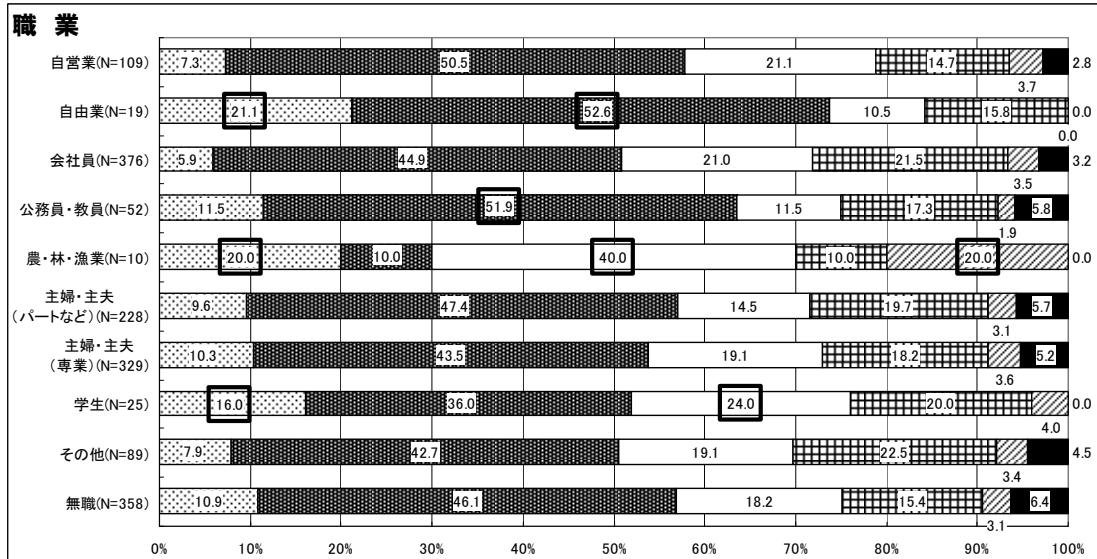
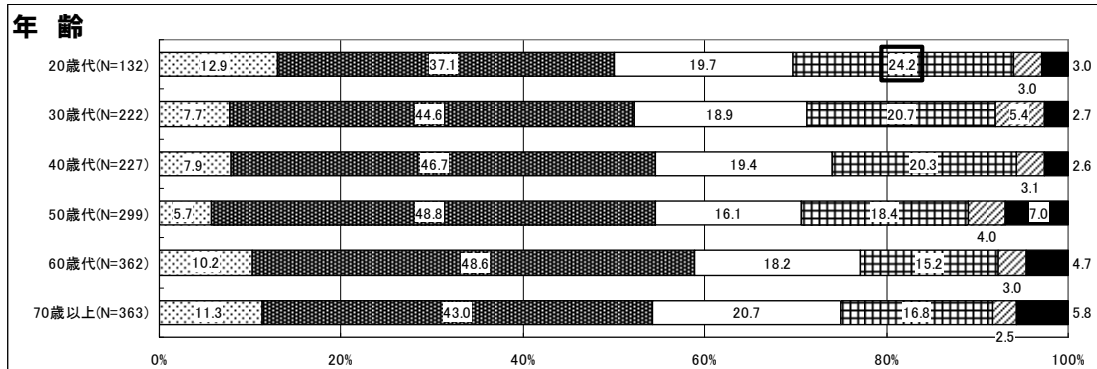
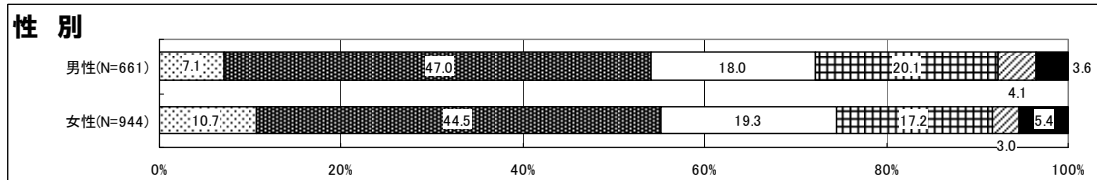
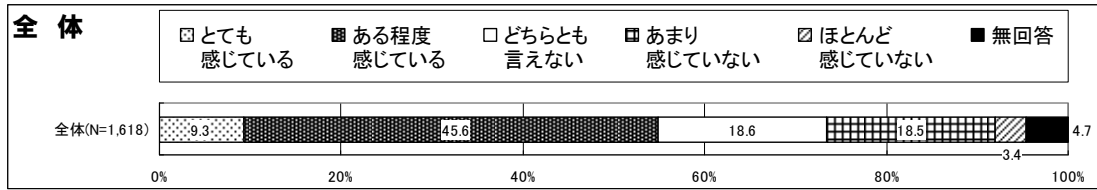
N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	150	9.3
2 ある程度感じている	737	45.6
3 どちらとも言えない	301	18.6
4 あまり感じていない	299	18.5
5 ほとんど感じていない	55	3.4
無回答	76	4.7

市内での車移動の利便性に対する市民の満足感は、
・肯定層 54.9%
（「とても感じている」9.3% + 「ある程度感じている」45.6%）
・否定層 21.9%
（「あまり感じていない」18.5% + 「ほとんど感じていない」3.4%）



問 1 5 市内での車移動の利便性に対する印象



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

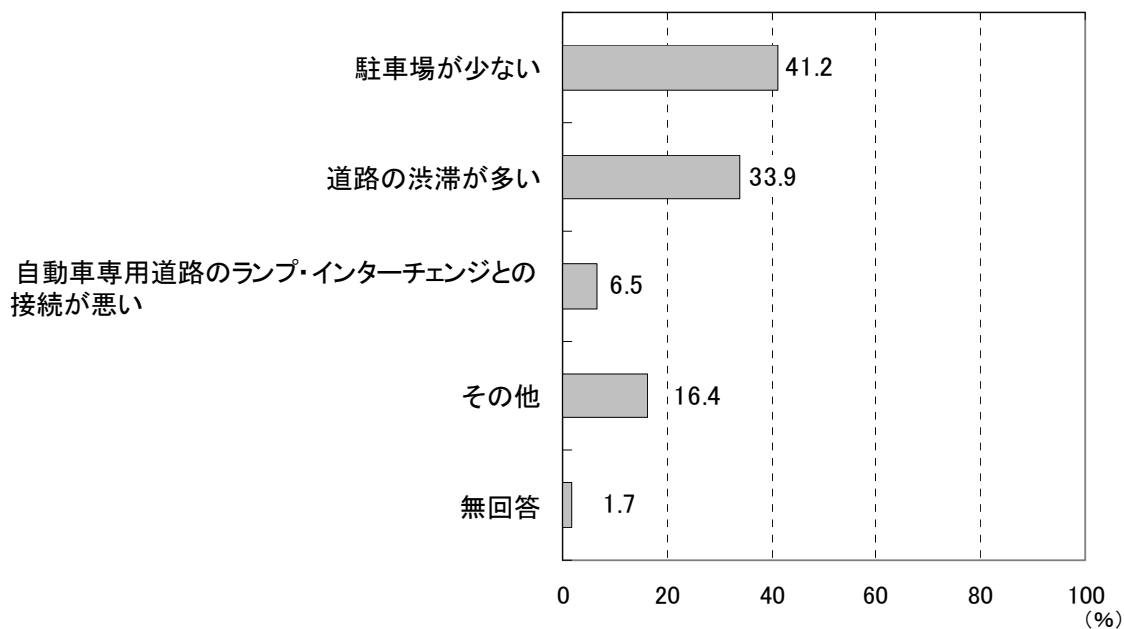
25 市内での車移動の利便性が感じられない理由

副問 15 - 1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から1つ選んで下さい。

N:354人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 道路の渋滞が多い	120	33.9
2 駐車場が少ない	146	41.2
3 自動車専用道路のランプ・インターチェンジとの接続が悪い	23	6.5
4 その他(具体的に:)	58	16.4
無回答	6	1.7

市内での車移動の利便性が感じられない主な理由は、
 1位 「駐車場が少ない」(41.2%)
 2位 「道路の渋滞が多い」(33.9%)の順となった。



副問 15 - 1 市内での車移動の利便性が感じられない理由

		サンプル数	道路の渋滞が多い	駐車場が少ない	自動車の専用道路との接続が悪い	その他	無回答
全体		354	33.9	41.2	6.5	16.4	1.7
性別	男性	160	31.9	41.9	10.6	15.0	0.6
	女性	190	35.8	40.0	3.2	17.9	2.6
年齢	20歳代	36	50.0	27.8	5.6	16.7	0.0
	30歳代	58	32.8	27.6	10.3	27.6	1.7
	40歳代	53	37.7	37.7	7.5	15.1	1.9
	50歳代	67	35.8	40.3	11.9	9.0	3.0
	60歳代	66	27.3	53.0	1.5	15.2	3.0
	70歳以上	70	28.6	50.0	2.9	17.1	0.0
現在地での居住年数	1年未満	12	58.3	8.3	16.7	16.7	0.0
	2年未満	15	26.7	46.7	6.7	20.0	0.0
	3年未満	9	55.6	33.3	0.0	0.0	11.1
	5年未満	20	35.0	30.0	5.0	30.0	0.0
	10年未満	33	39.4	30.3	9.1	21.2	0.0
	20年未満	61	32.8	32.8	11.5	16.4	4.9
	30年未満	74	36.5	36.5	6.8	18.9	1.4
	30年以上	126	28.6	54.8	3.2	12.7	0.8
職業	自営業	20	40.0	45.0	10.0	5.0	0.0
	自由業	3	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	会社員	94	31.9	37.2	12.8	18.1	0.0
	公務員・教員	10	60.0	20.0	10.0	10.0	0.0
	農・林・漁業	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	52	40.4	40.4	3.8	13.5	1.9
	主婦・主夫(専業)	72	33.3	44.4	1.4	16.7	4.2
	学生	6	50.0	33.3	0.0	16.7	0.0
	無職	66	28.8	45.5	4.5	18.2	1.5
その他	23	13.0	47.8	8.7	30.4	0.0	
同居の家族	1人暮らし	38	26.3	39.5	5.3	28.9	0.0
	夫婦のみ	91	29.7	52.7	2.2	14.3	0.0
	親子(2世代)	169	40.2	36.1	6.5	15.4	1.8
	親・子・孫	35	31.4	31.4	14.3	17.1	5.7
	その他	15	20.0	40.0	20.0	13.3	6.7
居住区	門司区	43	25.6	53.5	2.3	16.3	0.0
	小倉北区	54	27.8	46.3	3.7	20.4	1.9
	小倉南区	69	31.9	44.9	5.8	14.5	2.9
	若松区	40	35.0	27.5	12.5	22.5	2.5
	八幡東区	24	37.5	37.5	0.0	25.0	0.0
	八幡西区	102	40.2	39.2	5.9	13.7	1.0
	戸畑区	22	36.4	31.8	22.7	4.5	4.5

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

市内での車移動の利便性に対する印象

【 全 体 的 傾 向 】

市内の車（自家用車、タクシーなど）での移動は便利であると感じているかどうかをみると、「とても感じている」は9.3%、「ある程度感じている」は45.6%、合計すると、肯定層は54.9%である。一方、「あまり感じていない」は18.5%、「ほとんど感じていない」は3.4%、合計すると、否定層は21.9%である。

肯定層（54.9%）が否定層（21.9%）を大きく上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、肯定層は年齢による差はそれほど大きくないが、否定層は年齢が低いほど、高くなっている。20歳代では否定層が27.2%となっている。
- 居住区別にみると、八幡東区で肯定層が65.1%と特に高くなっている。

市内での車移動の利便性が感じられない理由

【 全 体 的 傾 向 】

市内の車（自家用車、タクシーなど）での移動は便利であると感じられない主な理由は、「駐車場が少ない」が41.2%、「道路の渋滞が多い」が33.9%、「自動車専用道路のランプ・インターチェンジとの接続が悪い」が6.5%となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、20歳代では「道路の渋滞が多い」（50.0%）、60歳代と70歳以上は「駐車場が少ない」（60歳代53.0%、70歳以上50.0%）が高くなっている。
- 居住区別にみると、「駐車場が少ない」は門司区（53.5%）、小倉北区（46.3%）、「道路の渋滞が多い」は八幡西区（40.2%）で高くなっている。

【 自由記入欄の回答状況 】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 駐車場が中心部に少なすぎる。
- ・ 交通量の多い交差点での信号機の整備不足（右折信号の時差式など）。
- ・ 道がわかりにくい。

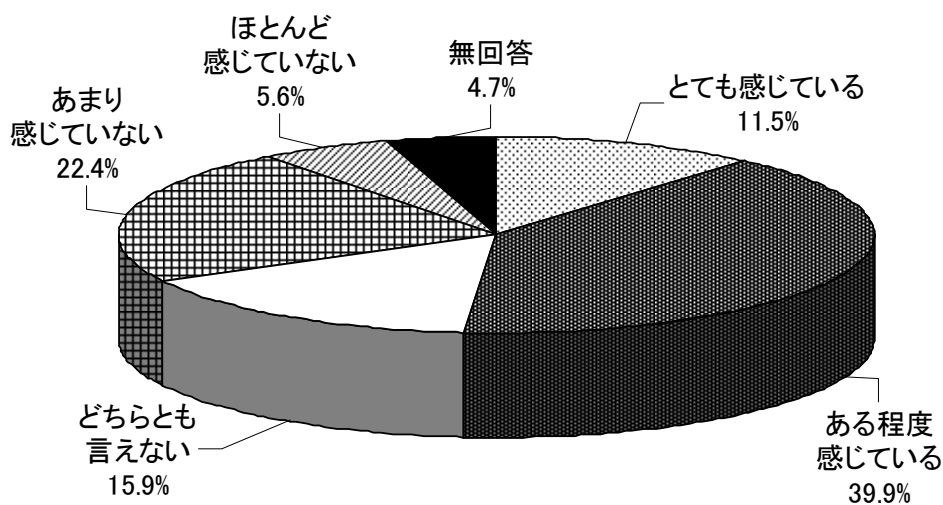
26 市内での公共交通機関の利便性に対する印象

問16 あなたは、北九州市内の電車やバス、モノレールといった公共交通機関での移動は便利であると感じますか。

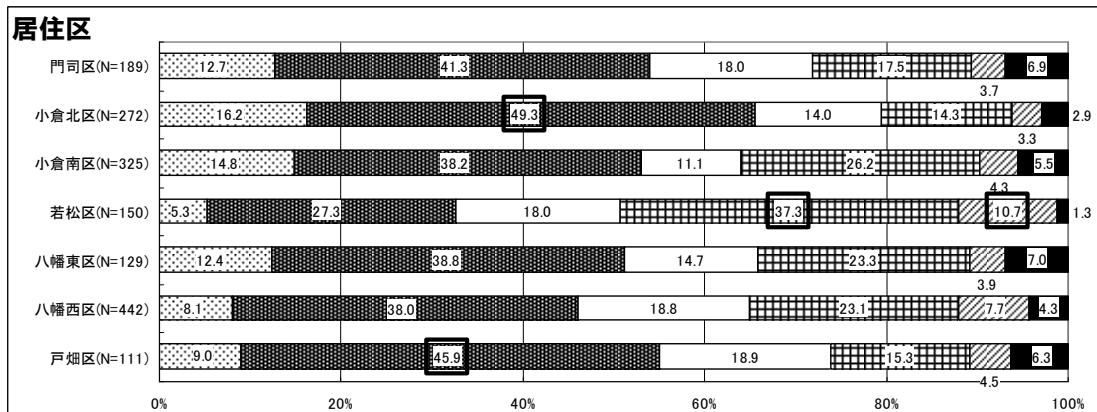
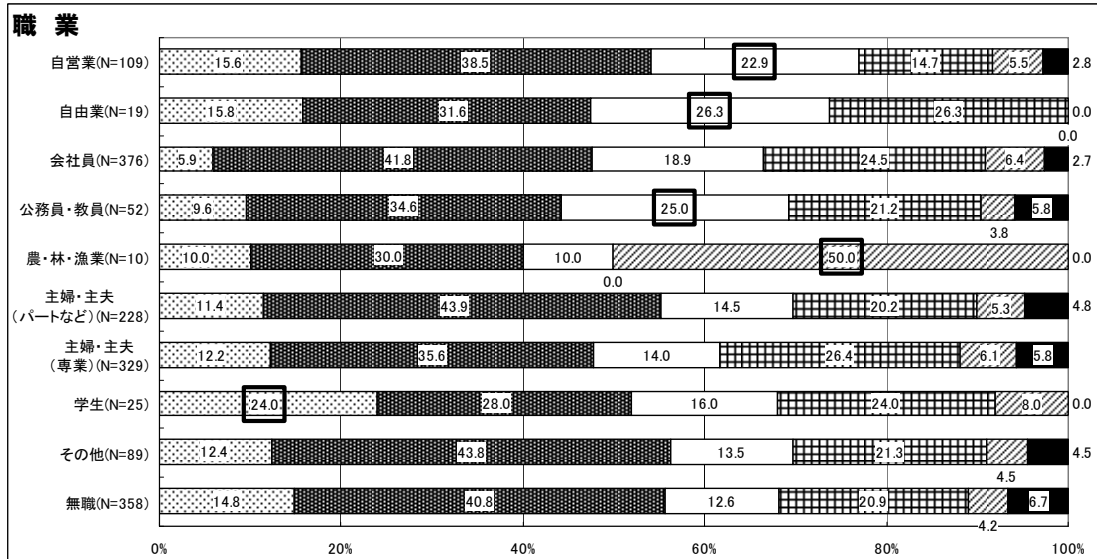
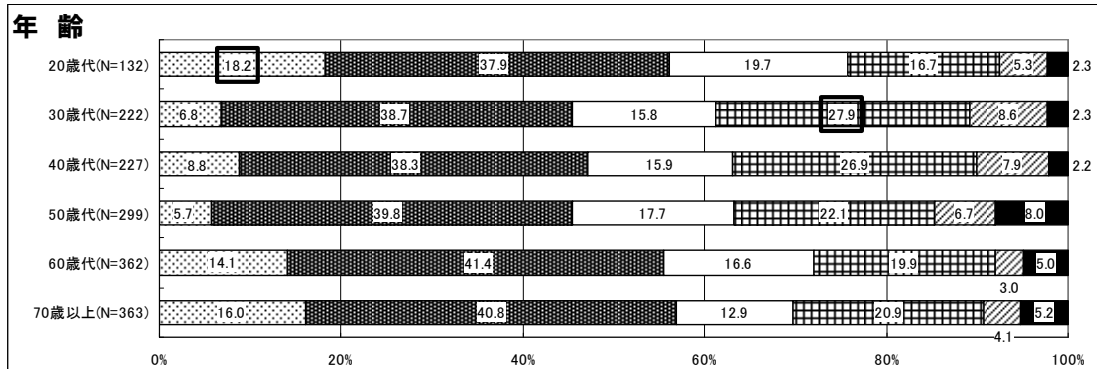
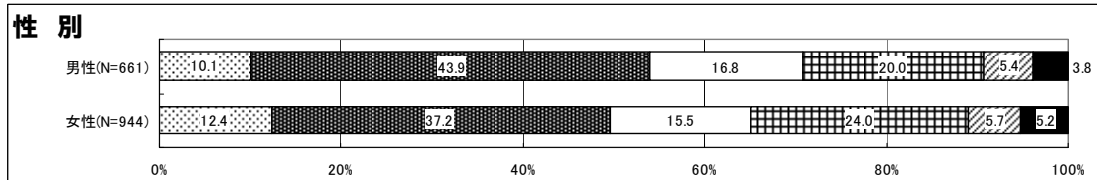
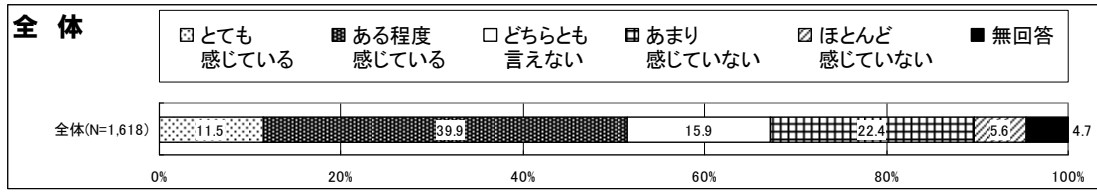
N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	186	11.5
2 ある程度感じている	646	39.9
3 どちらとも言えない	258	15.9
4 あまり感じていない	362	22.4
5 ほとんど感じていない	90	5.6
無回答	76	4.7

市内での公共交通機関の利便性に対する市民の満足感は、
 ・肯定層 51.4%
 (「とても感じている」11.5% + 「ある程度感じている」39.9%)
 ・否定層 28.0%
 (「あまり感じていない」22.4% + 「ほとんど感じていない」5.6%)



問 1 6 市内での公共交通機関の利便性に対する印象



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

27 市内での公共交通機関の利便性が感じられない理由

副問16-1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

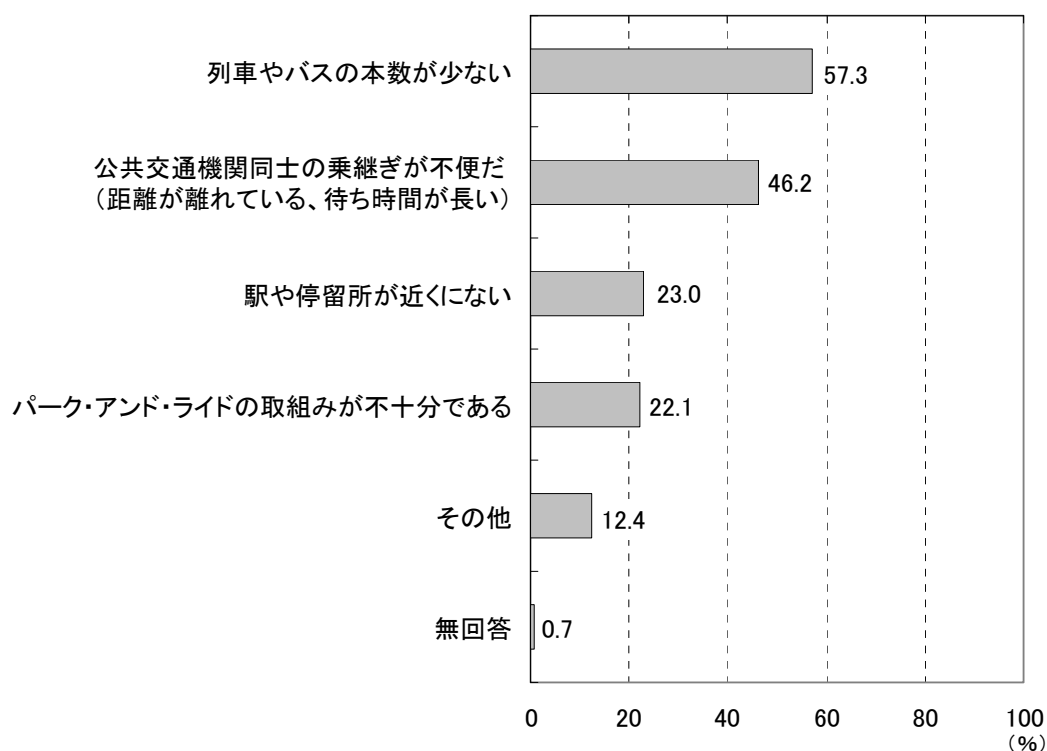
N:452人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 駅や停留所が近くにない	104	23.0
2 列車やバスの本数が少ない	259	57.3
3 公共交通機関同士の乗継ぎが不便だ(距離が離れている、待ち時間が長い)	209	46.2
4 パーク・アンド・ライド※の取組みが不十分である	100	22.1
5 その他(具体的に:)	56	12.4
無回答	3	0.7

パーク・アンド・ライド・・・マイカーと公共交通機関を組み合わせた交通機関の利用形態。例えば自宅からはマイカーを利用し、最寄り駅の近隣に駐車し、そこから都心部までは電車を利用するといったもの。

市内での公共交通機関の利便性が感じられない主な理由は、

- 1位 「列車やバスの本数が少ない」(57.3%)
- 2位 「公共交通機関同士の乗継ぎが不便だ(距離が離れている、待ち時間が長い)」(46.2%)



副問 16 - 1 市内での公共交通機関の利便性が感じられない理由

	サンプル数	い駅や停留所が近くにない	列車やバスの本数が少ない	が離れが長い（公共交通機関が不便だ、待ち時間が長い）	公共機関の乗り換えが不便だ（距離が長い）	ドライバーの取組・アポイントが不十分	その他	無回答
全体	452	23.0	57.3	46.2	22.1	12.4	0.7	
性別	男性	168	25.6	51.2	46.4	20.2	14.3	1.2
	女性	281	21.7	60.9	45.9	23.1	11.4	0.4
年齢	20歳代	29	34.5	72.4	37.9	17.2	6.9	0.0
	30歳代	81	12.3	50.6	50.6	22.2	19.8	1.2
	40歳代	79	30.4	57.0	45.6	20.3	15.2	0.0
	50歳代	86	20.9	58.1	45.3	26.7	16.3	0.0
	60歳代	83	18.1	57.8	55.4	24.1	6.0	1.2
	70歳以上	91	29.7	57.1	37.4	18.7	7.7	1.1
現在地での居住年数	1年未満	23	39.1	52.2	30.4	26.1	13.0	0.0
	2年未満	18	16.7	66.7	55.6	5.6	11.1	0.0
	3年未満	16	25.0	50.0	56.3	25.0	18.8	0.0
	5年未満	24	16.7	66.7	41.7	20.8	8.3	0.0
	10年未満	45	15.6	35.6	42.2	26.7	26.7	4.4
	20年未満	90	26.7	65.6	45.6	22.2	12.2	0.0
	30年未満	80	22.5	60.0	51.3	25.0	10.0	0.0
	30年以上	153	22.9	56.2	45.8	20.3	9.8	0.7
職業	自営業	22	4.5	54.5	45.5	31.8	9.1	0.0
	自由業	5	20.0	60.0	40.0	40.0	0.0	0.0
	会社員	116	21.6	55.2	47.4	19.0	12.1	0.9
	公務員・教員	13	7.7	61.5	46.2	46.2	15.4	0.0
	農・林・漁業	5	0.0	60.0	40.0	40.0	20.0	0.0
	主婦・主夫（パートなど）	58	25.9	62.1	41.4	24.1	15.5	0.0
	主婦・主夫（専業）	107	21.5	60.7	51.4	26.2	12.1	0.0
	学生	8	25.0	75.0	37.5	25.0	12.5	0.0
	無職	90	31.1	54.4	40.0	11.1	11.1	2.2
	その他	23	34.8	39.1	56.5	26.1	13.0	0.0
同居の家族	1人暮らし	46	21.7	47.8	54.3	23.9	4.3	0.0
	夫婦のみ	117	24.8	57.3	42.7	22.2	7.7	0.9
	親子（2世代）	227	22.9	59.9	45.8	19.8	17.2	0.9
	親・子・孫	39	15.4	56.4	53.8	28.2	10.3	0.0
その他	18	33.3	50.0	33.3	33.3	11.1	0.0	
居住区	門司区	40	27.5	50.0	55.0	22.5	5.0	0.0
	小倉北区	48	25.0	37.5	52.1	22.9	20.8	2.1
	小倉南区	99	26.3	57.6	48.5	17.2	12.1	2.0
	若松区	72	12.5	70.8	50.0	25.0	11.1	0.0
	八幡東区	35	37.1	54.3	48.6	17.1	5.7	0.0
	八幡西区	136	22.8	56.6	39.7	25.0	14.0	0.0
	戸畑区	22	9.1	77.3	31.8	22.7	13.6	0.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの（「その他」、「無回答」は除く）

市内での公共交通機関の利便性に対する印象

【 全 体 的 傾 向 】

市内の電車やバス、モノレールといった公共交通機関での移動は便利であると感じているかどうかをみると、「とても感じている」は11.5%、「ある程度感じている」は39.9%、合計すると、肯定層は51.4%である。一方、「あまり感じていない」は22.4%、「ほとんど感じていない」は5.6%、合計すると、否定層は28.0%である。

肯定層（51.4%）が否定層（28.0%）を大きく上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、30歳代、40歳代で否定層の割合が30%を超えて、他の年齢層に比べると高くなっている。
- 居住区別にみると、肯定層は小倉北区で65.5%と特に高くなっている。また、若松区では否定層が48.0%と高く、区の中では唯一、肯定層（32.6%）を上回っている。

市内での公共交通機関の利便性が感じられない理由

【 全 体 的 傾 向 】

市内の電車やバス、モノレールといった公共交通機関での移動は便利であると感じられない主な理由は、「列車やバスの本数が少ない」（57.3%）と「公共交通機関同士の乗継ぎが不便だ（距離が離れている、待ち時間が長い）」（46.2%）の2つが特に高くなっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、20歳代では「列車やバスの本数が少ない」が72.4%と特に高くなっている。
- 30歳～40歳代で否定層が多くなっている要因として、「列車やバスの本数が少ない」「公共交通機関同士の乗継ぎが不便だ（距離が離れている、待ち時間が長い）」が特に多かった。
- 居住区別にみると、「列車やバスの本数が少ない」は、戸畑区で77.3%、若松区で70.8%と他の区に比べてもかなり高くなっている。

【 自由記入欄の回答状況 】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 車椅子の乗車が難しい。
- ・ 車を持っていない人にはとても不便さを感じる。
- ・ 夜間運営に柔軟さがほしい。

(13) 公共施設について

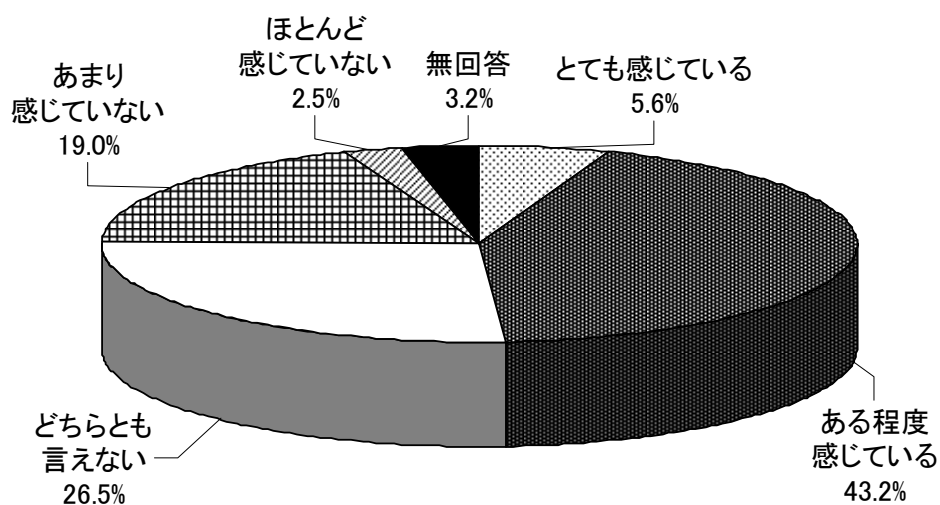
28 市内の公共施設の安心、快適な利用に対する満足感

問17 北九州市では、道路や公園、建物（文化施設や市民センター等）などについて、安全でかつできるだけ長く使えるよう、効率的に維持や管理、補修などを行っています。そこで、おたずねします。
あなたは、道路、公園、建物などの公共施設について、安心して、快適に利用できると感じますか。

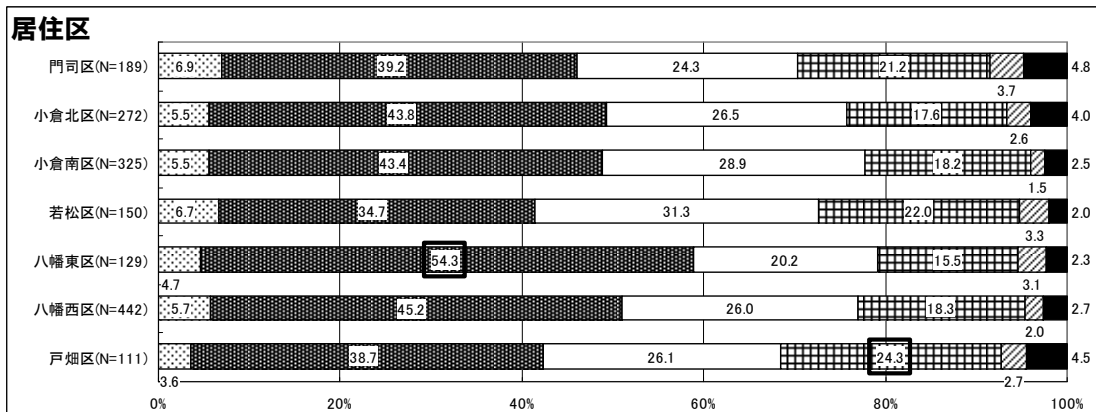
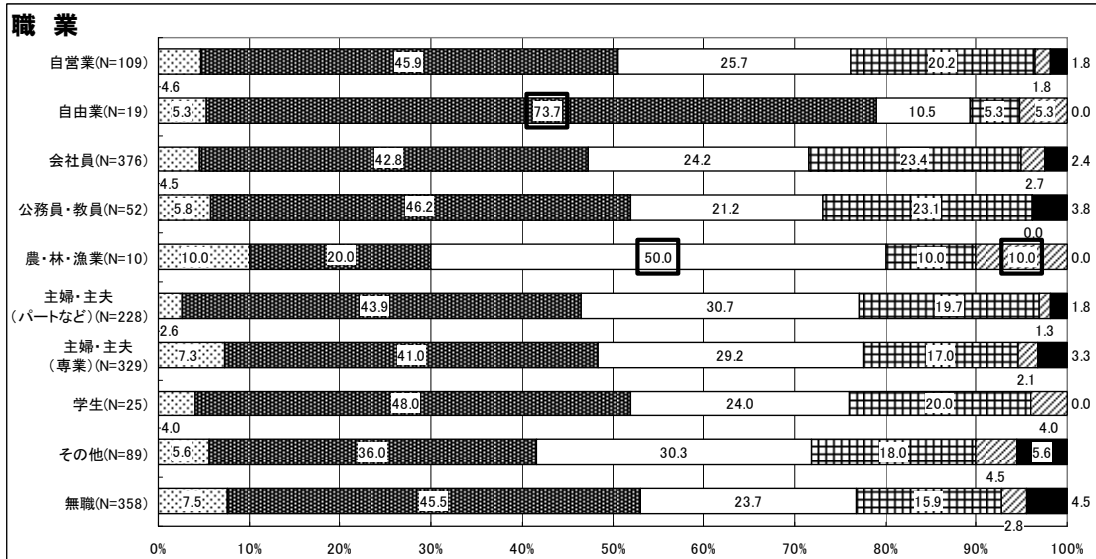
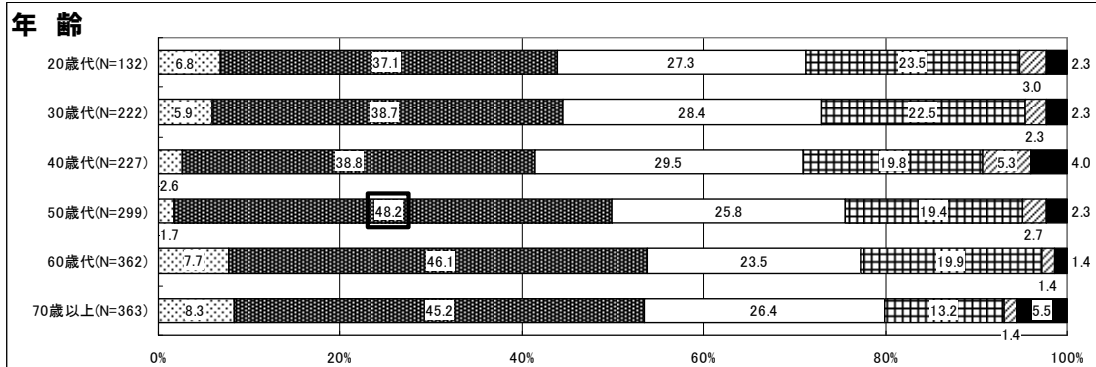
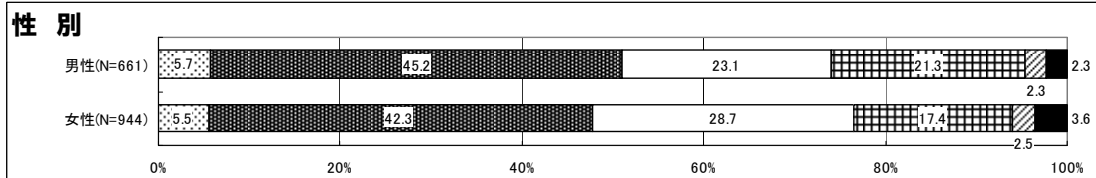
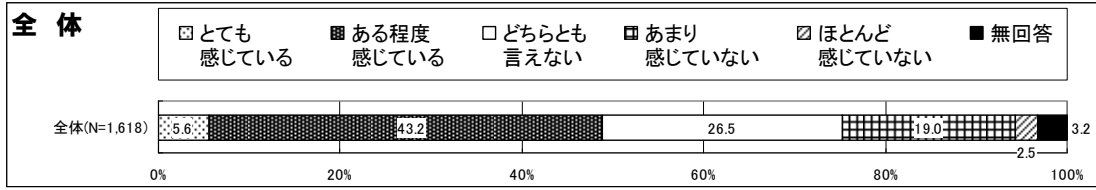
N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	91	5.6
2 ある程度感じている	699	43.2
3 どちらとも言えない	429	26.5
4 あまり感じていない	308	19
5 ほとんど感じていない	40	2.5
無回答	51	3.2

市内にある公共施設の安心、快適な利用についての市民の満足感は、
・肯定層 48.8%
（「とても感じている」5.6% + 「ある程度感じている」43.2%）
・否定層 21.5%
（「あまり感じていない」19.0% + 「ほとんど感じていない」2.5%）



問17 市内の公共施設の安心、快適な利用に対する満足感



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

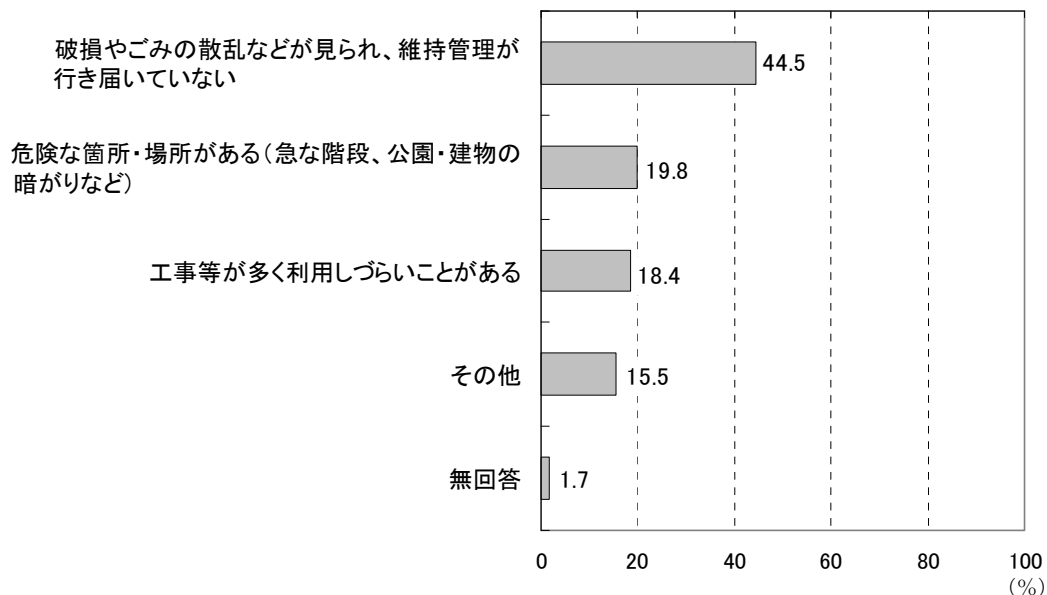
29 公共施設が、安心して、快適に利用できると感じられない理由

副問17-1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から1つ選んで下さい。

N:348人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 破損やごみの散乱などが見られ、維持管理が行き届いていない	155	44.5
2 工事等が多く利用しづらいことがある	64	18.4
3 危険な箇所・場所がある(急な階段、公園・建物の暗がりなど)	69	19.8
4 その他(具体的に:)	54	15.5
無回答	6	1.7

市内の公共施設が、安心、快適に利用できると感じられない主な理由は、
 1位 「破損やごみの散乱などが見られ、維持管理が行き届いていない」(44.5%)
 2位 「危険な箇所・場所がある(急な階段、公園・建物の暗がりなど)」(19.8%)



問17-1 公共施設が、安心して、快適に利用できると感じられない理由

		サンプル数	破損やごみ が見届いて いない 維持管理 などが	工事等が 多く利用 しづ らいこと がある	危険な箇所・ 場所があ る（急な階 段、公園・ 建物内の暗 がりなど）	その他	無回答
全体		348	44.5	18.4	19.8	15.5	1.7
性別	男性	156	44.9	16.7	21.2	16.7	0.6
	女性	188	45.2	19.7	18.6	14.4	2.1
年齢	20歳代	35	40.0	31.4	22.9	5.7	0.0
	30歳代	55	43.6	16.4	20.0	20.0	0.0
	40歳代	57	52.6	12.3	19.3	14.0	1.8
	50歳代	66	48.5	21.2	15.2	15.2	0.0
	60歳代	77	42.9	19.5	24.7	11.7	1.3
	70歳以上	53	41.5	13.2	17.0	22.6	5.7
	現在地での 居住年数	1年未満	12	25.0	41.7	33.3	0.0
2年未満		13	53.8	15.4	15.4	15.4	0.0
3年未満		16	50.0	12.5	18.8	18.8	0.0
5年未満		19	36.8	5.3	36.8	21.1	0.0
10年未満		38	52.6	15.8	10.5	18.4	2.6
20年未満		71	50.7	22.5	16.9	7.0	2.8
30年未満		69	37.7	26.1	20.3	15.9	0.0
30年以上		106	45.3	12.3	20.8	19.8	1.9
職業	自営業	24	41.7	33.3	12.5	12.5	0.0
	自由業	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	会社員	98	42.9	17.3	22.4	17.3	0.0
	公務員・教員	12	41.7	25.0	33.3	0.0	0.0
	農・林・漁業	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫（パートなど）	48	54.2	20.8	10.4	14.6	0.0
	主婦・主夫（専業）	63	46.0	20.6	20.6	9.5	3.2
	学生	6	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	無職	67	35.8	11.9	23.9	25.4	3.0
	その他	20	65.0	10.0	15.0	10.0	0.0
同居の家族	1人暮らし	45	46.7	11.1	22.2	20.0	0.0
	夫婦のみ	92	42.4	20.7	22.8	13.0	1.1
	親子（2世代）	164	43.3	21.3	17.1	16.5	1.8
	親・子・孫	24	58.3	4.2	20.8	12.5	4.2
	その他	15	53.3	20.0	13.3	13.3	0.0
居住区	門司区	47	36.2	34.0	10.6	19.1	0.0
	小倉北区	55	52.7	7.3	25.5	14.5	0.0
	小倉南区	64	51.6	12.5	23.4	12.5	0.0
	若松区	38	36.8	13.2	28.9	15.8	5.3
	八幡東区	24	37.5	29.2	12.5	16.7	4.2
	八幡西区	90	46.7	16.7	20.0	13.3	3.3
	戸畑区	30	36.7	30.0	10.0	23.3	0.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの（「その他」、「無回答」は除く）

市内の公共施設の安心、快適な利用に対する満足感

【 全 体 的 傾 向 】

道路、公園、建物などの公共施設について、安心して、快適に利用できると感じているかどうかをみると、「とても感じている」は5.6%、「ある程度感じている」は43.2%、合計すると、肯定層は48.8%である。一方、「あまり感じていない」は19.0%、「ほとんど感じていない」は2.5%、合計すると、否定層は21.5%である。

肯定層（48.8%）が否定層（21.5%）を大きく上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、否定層は年齢が低いほど高くなっており、20歳代では26.5%となっている。
- 居住区別にみると、肯定層は、八幡東区で59.0%、八幡西区で50.9%と、半数を超えている。

公共施設が、安心して、快適に利用できると感じられない理由

【 全 体 的 傾 向 】

道路、公園、建物などの公共施設について、安心して、快適に利用できると感じられない主な理由は、「破損やごみの散乱などが見られ、維持管理が行き届いていない」が44.5%と圧倒的に高くなっている。次いで、「危険な箇所・場所がある（急な階段、公園・建物の暗がりなど）」が19.8%、「工事等が多く利用しづらいことがある」が18.4%となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 居住区別にみると、「破損やごみの散乱などが見られ、維持管理が行き届いていない」が小倉北区で52.7%、小倉南区で51.6%と高くなっている。
- 子育て世代の中心年齢層である20歳～40歳代で否定層が多くなっている要因として、「破損やごみの散乱などが見られ、維持管理が行き届いていない」が特に多かった。

【 自由記入欄の回答状況 】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 子どもが遊べる遊具が少ない。
- ・ 生活道路にでこぼこが多すぎる。
- ・ 案内板等が少なく、形にとらわれすぎている。

(14) 環境モデル都市について

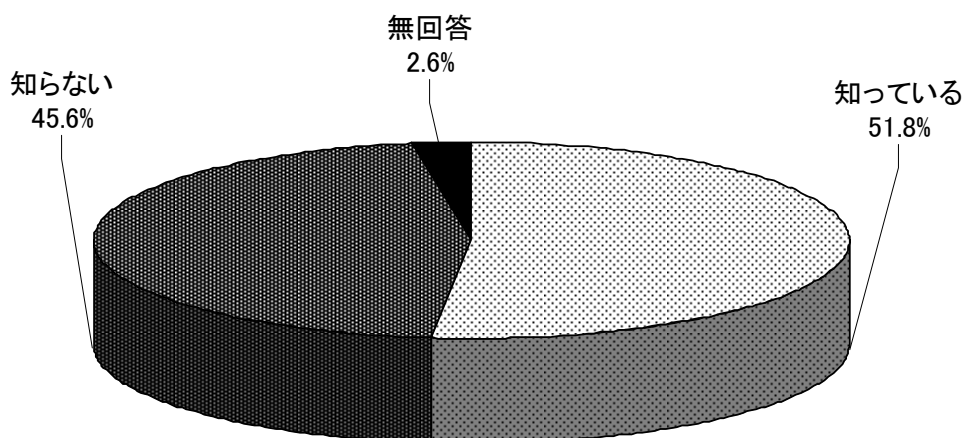
30 「環境モデル都市」認定に対する市民の認知度

問18 北九州市は、低炭素社会の実現に向け、温室効果ガスの大幅な削減など、高い目標を掲げて、先進的な取組みを推進する都市として、平成20年7月、国の「環境モデル都市」に認定されました。そこで、おたずねします。
あなたは、北九州市が国の「環境モデル都市」に認定されていることを知っていますか？

※低炭素社会…二酸化炭素などの温室効果ガスの排出をできるだけ抑えながら、経済発展を図り、人々が安心して暮らすことができる社会。

N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 知っている	838	51.8
2 知らない	738	45.6
無回答	42	2.6



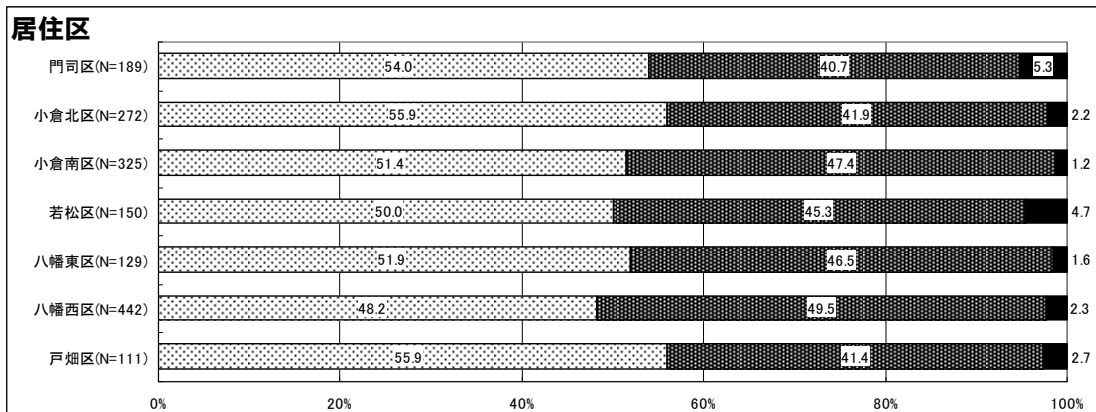
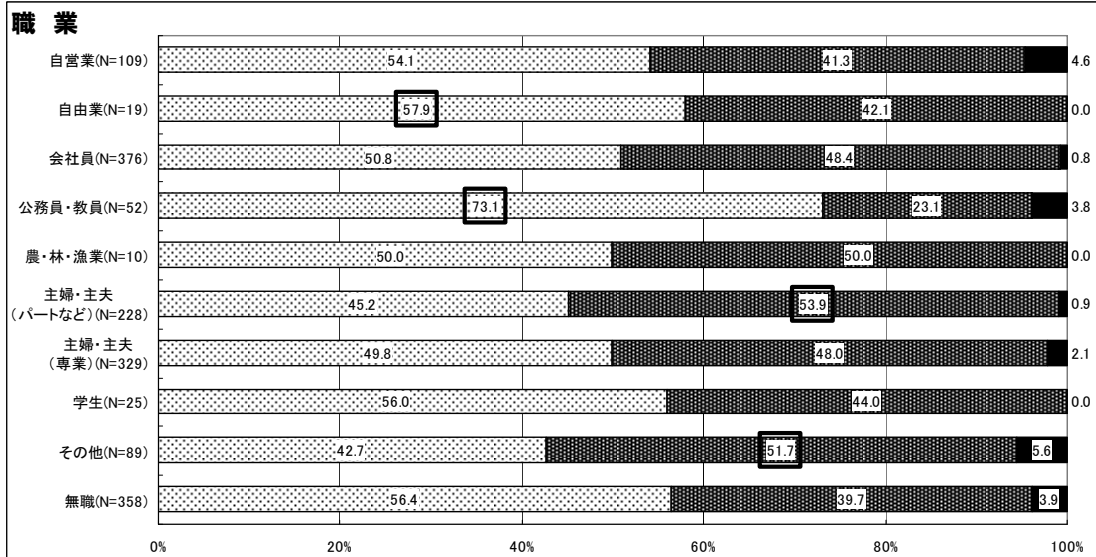
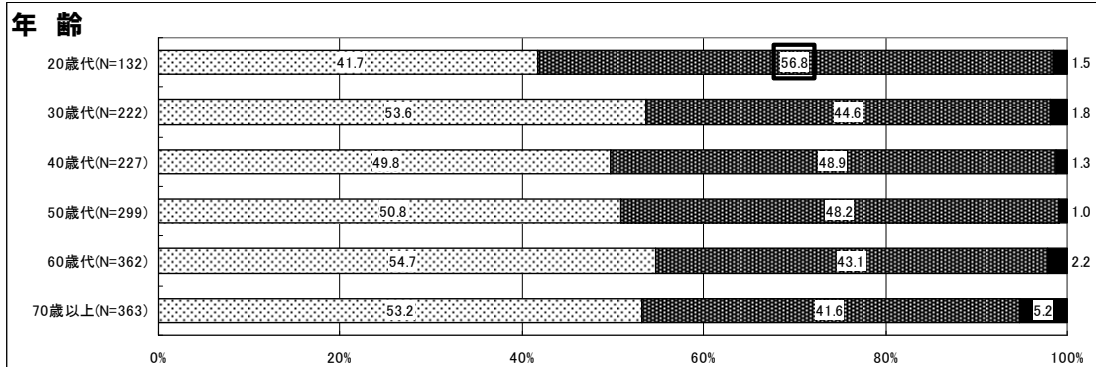
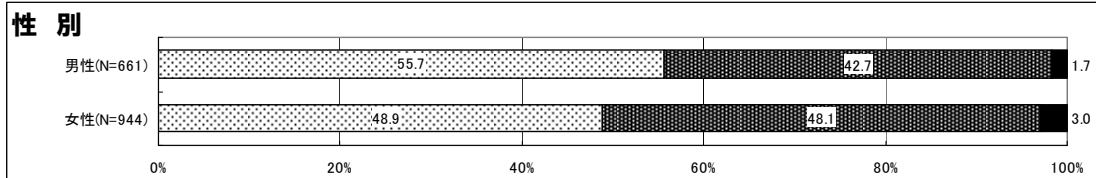
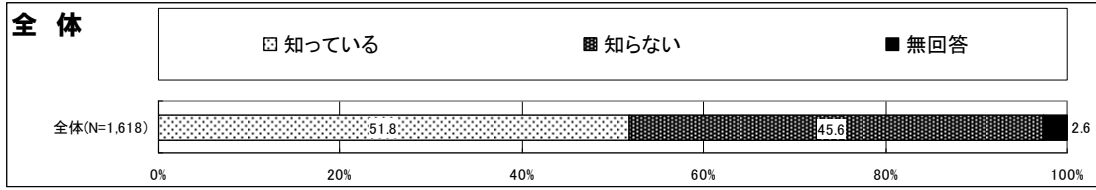
【全体的傾向】

北九州市が国の「環境モデル都市」に認定されていることを「知っている」は51.8%で、「知らない」の45.6%を上回り、初めて過半数を超えた。

【属性別にみた傾向】

- 性別にみると、「知っている」は男性が55.7%、女性が48.9%である。
- 年齢別にみると、20歳代で「知っている」が41.7%と低くなっている。

問18 「環境モデル都市」認定に対する市民の認知度



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

(15) 市民の環境活動について

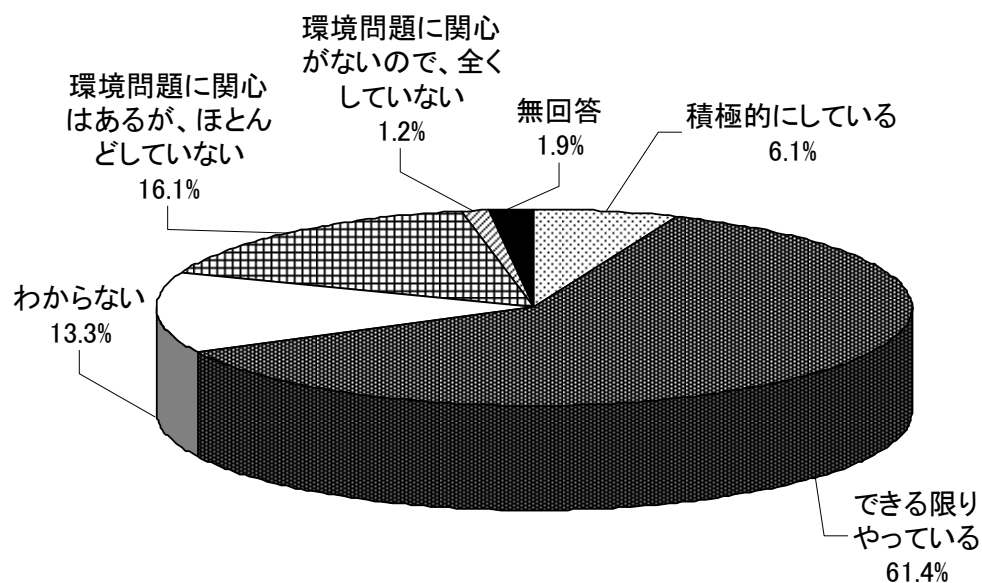
31 市民の、環境へ配慮した生活行動の有無

問19 北九州市は、「世界の環境首都」を都市ブランドの一つに掲げ、国の環境モデル都市として、低炭素社会実現をリードする取組みを市民、NPO、企業などと一体となって進めています。そこで、おたずねします。
あなたは、日ごろから環境に配慮した行動をしていますか。

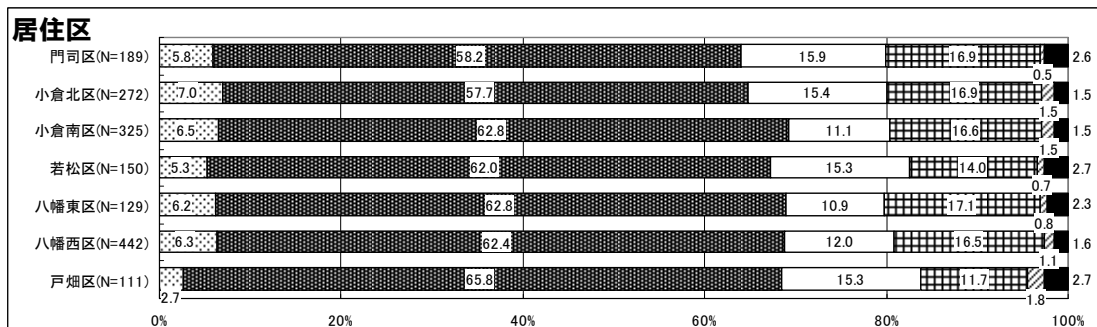
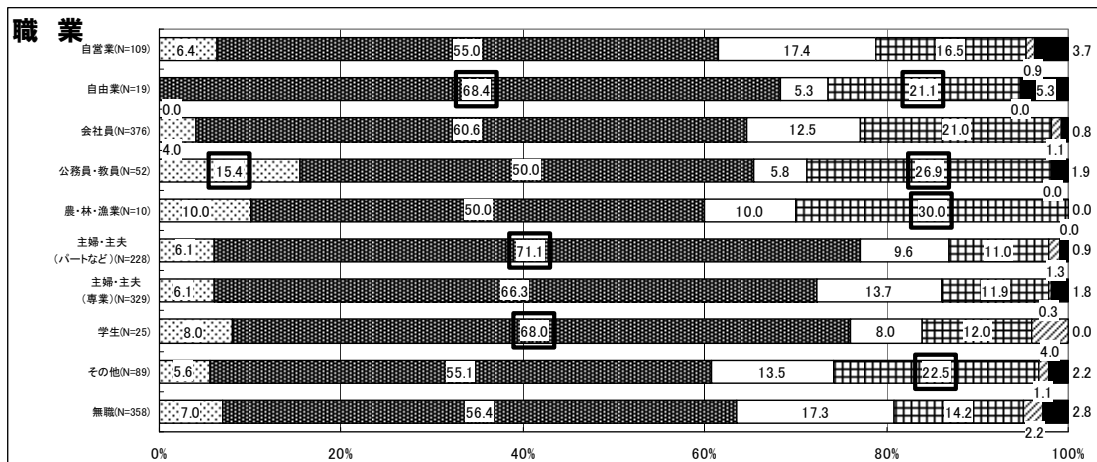
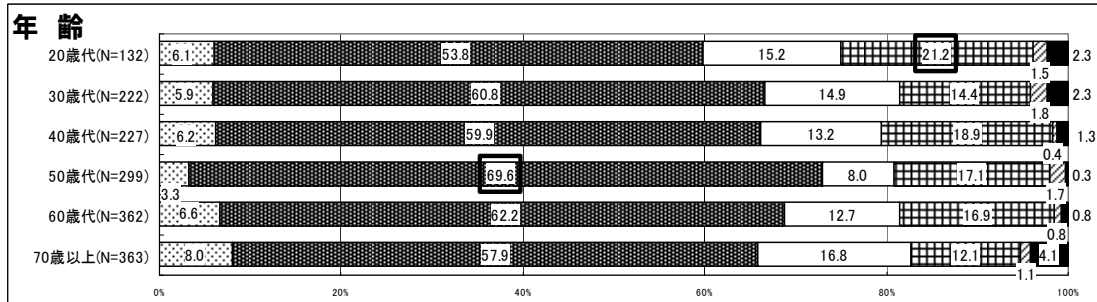
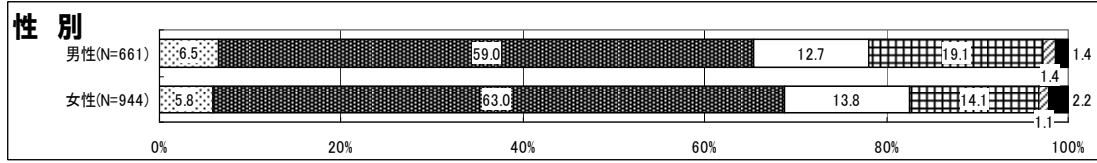
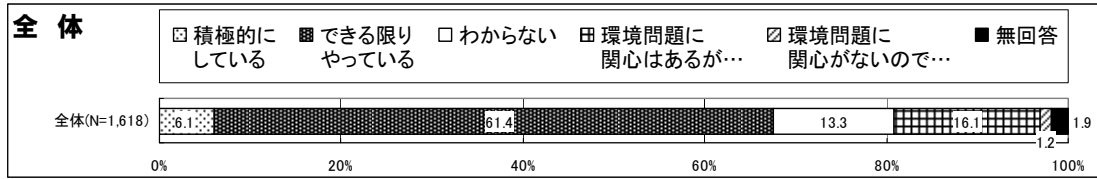
N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 積極的にしている	98	6.1
2 できる限りやっている	994	61.4
3 わからない	215	13.3
4 環境問題に関心はあるが、ほとんどしていない	261	16.1
5 環境問題に関心がないので、全くしていない	19	1.2
無回答	31	1.9

市民が日常からどの程度、環境へ配慮した行動を行っているかは、
 ・配慮行動の肯定層 67.5%
 (「積極的にしている」6.1% + 「できる限りやっている」61.4%)
 ・配慮行動の否定層 17.3%
 (「ほとんどしていない」16.1% + 「全くしていない」1.2%)



問 1 9 市民の、環境へ配慮した生活行動の有無



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

【全体的傾向】

日ごろから環境に配慮した行動についてみると、「積極的にしている」は6.1%、「できる限りやっている」は61.4%、合計すると、配慮行動の肯定層は67.5%となっている。

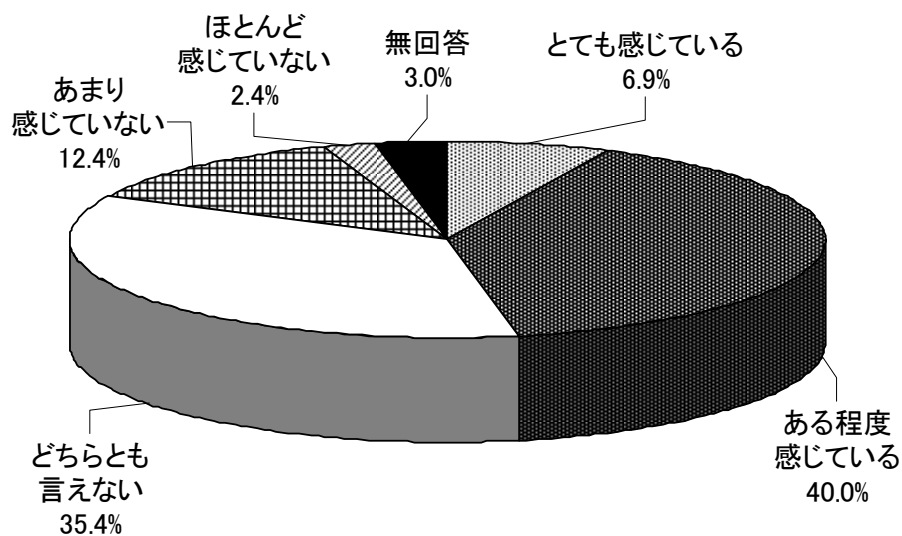
32 市や市民が取り組む環境への配慮行動への満足感

問20 あなたは、市や市民の環境に配慮した取組みは自慢できるものだと感じますか。

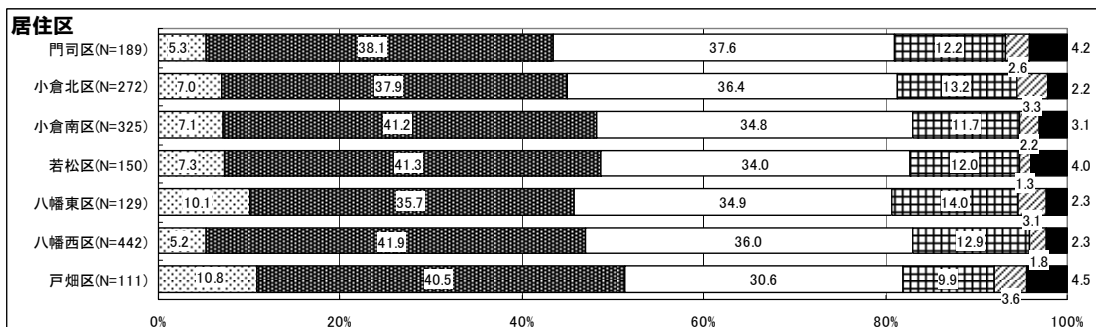
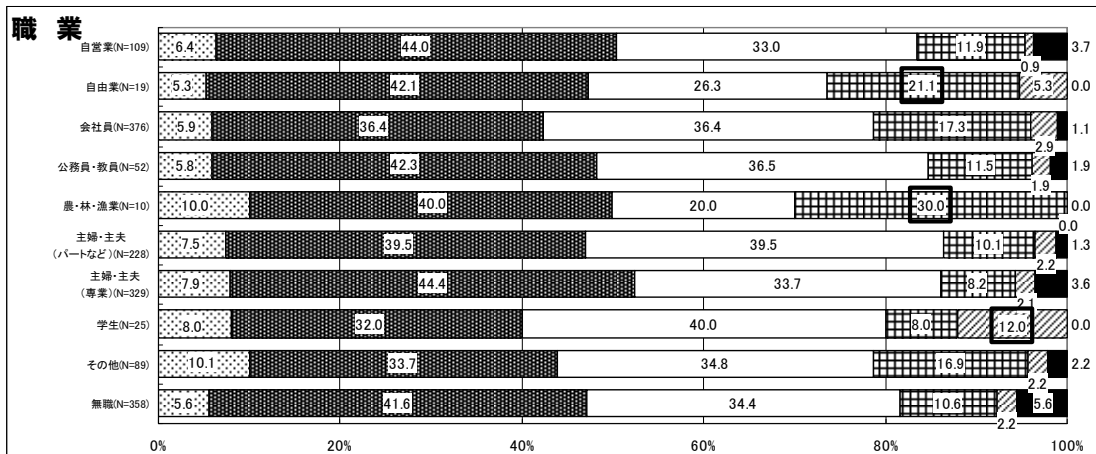
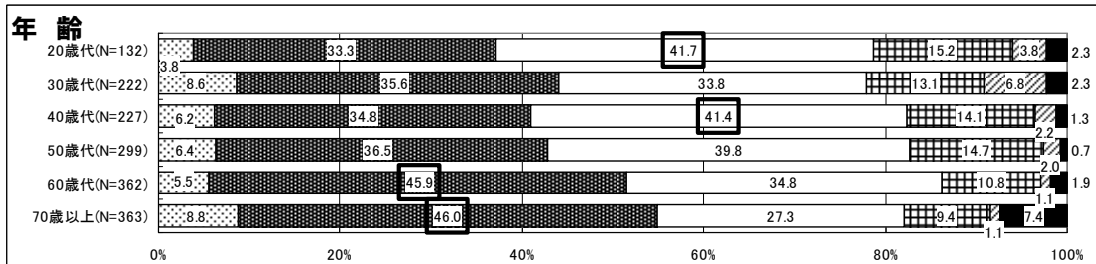
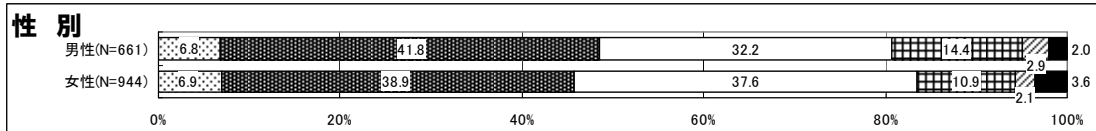
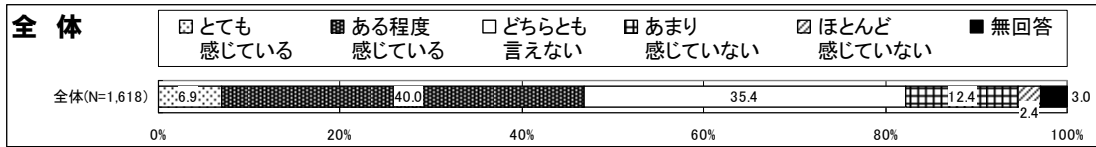
N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても感じている	111	6.9
2 ある程度感じている	647	40.0
3 どちらとも言えない	572	35.4
4 あまり感じていない	201	12.4
5 ほとんど感じていない	39	2.4
無回答	48	3.0

市や市民が取り組む環境への配慮行動への市民自身の満足感は、
 ・肯定層 46.9%
 (「とても感じている」6.9% + 「ある程度感じている」40.0%)
 ・否定層 14.8%
 (「あまり感じていない」12.4% + 「ほとんど感じていない」2.4%)



問 2 0 市や市民が取り組む環境への配慮行動への満足感



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

【 全体的傾向 】

市や市民の環境に配慮した取り組みは自慢できるものだと感じているかどうかをみると、「とても感じている」は6.9%、「ある程度感じている」は40.0%、合計すると、肯定層は46.9%となっている。

一方、「あまり感じていない」は12.4%、「ほとんど感じていない」は2.4%、合計すると、否定層は14.8%となっている。

(16) 自然環境について

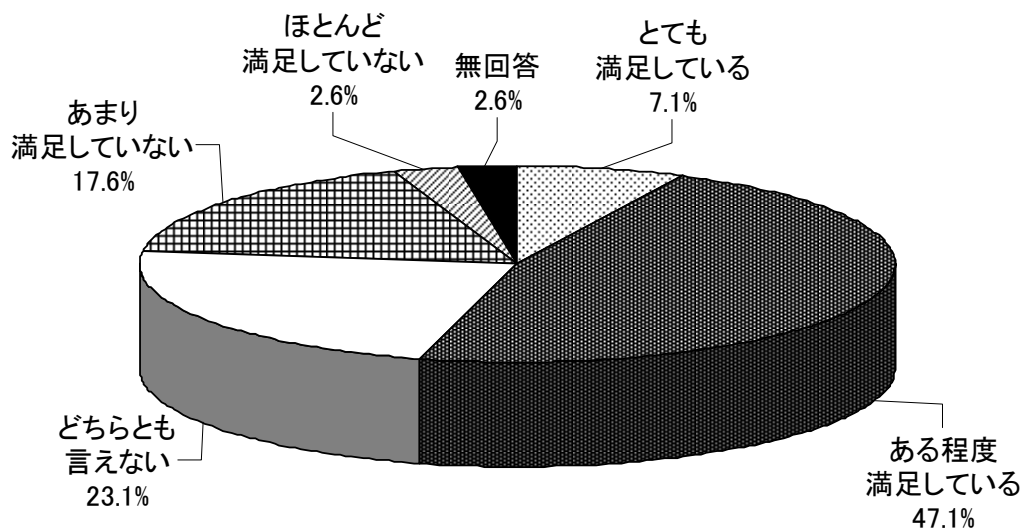
33 自然とふれ合える、身近な自然環境の存在に対する満足度

問2 1 北九州市は、大都市でありながら山や海など、多様な自然環境に恵まれており、市ではその適正な保全に努めるとともに市民が自然とふれ合うことができる場を整備しています。そこで、おたずねします。
あなたは、自然とふれ合う場として、身近な自然環境に満足していますか。

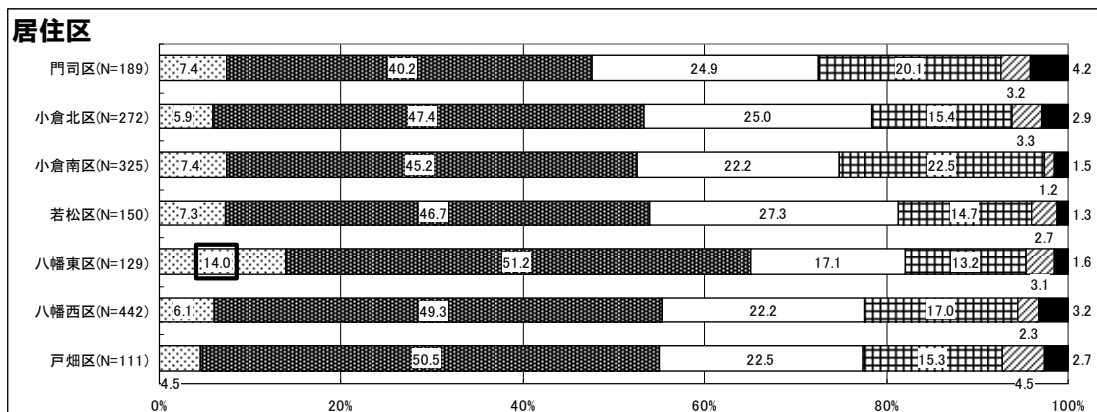
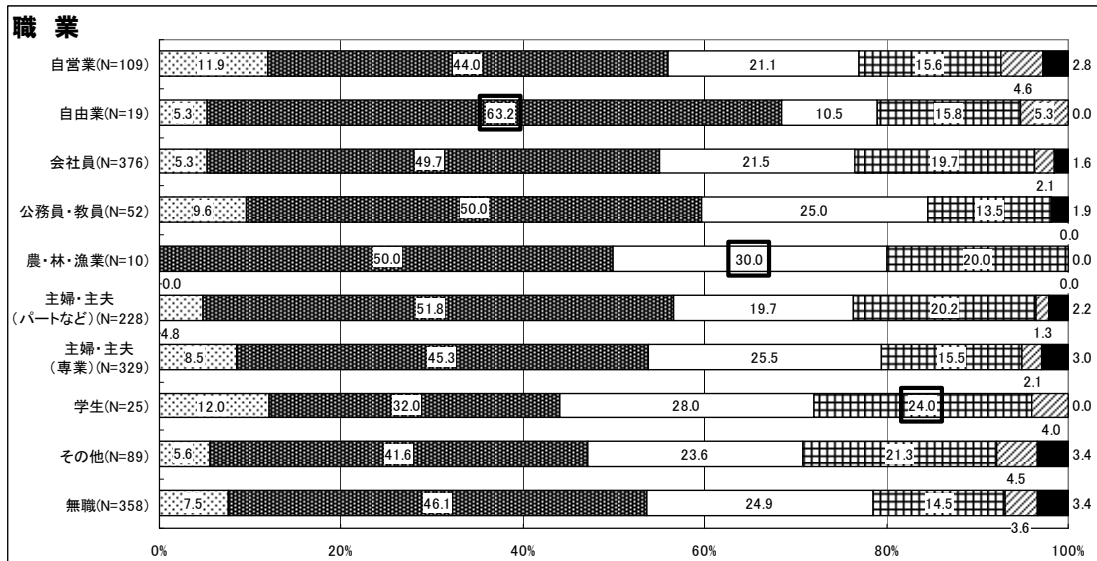
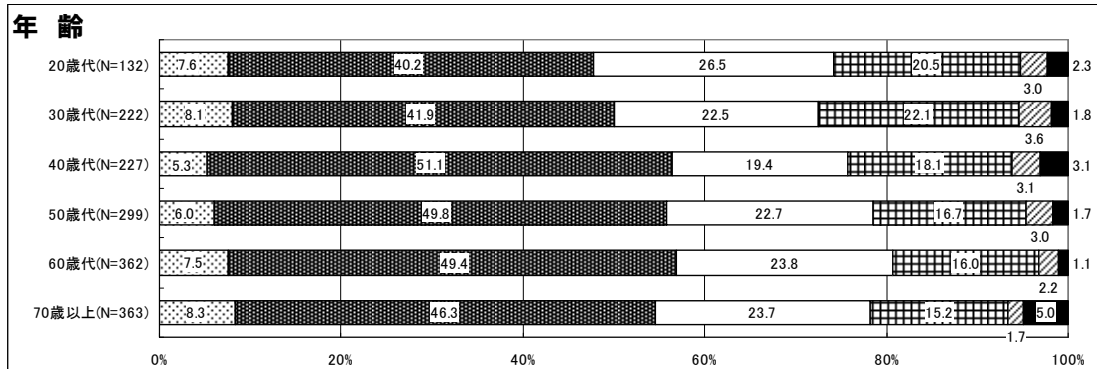
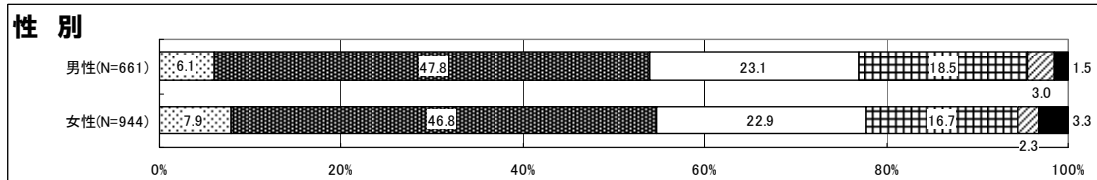
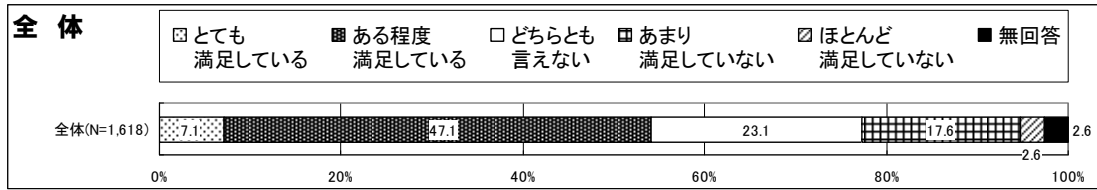
N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 とても満足している	115	7.1
2 ある程度満足している	762	47.1
3 どちらとも言えない	373	23.1
4 あまり満足していない	284	17.6
5 ほとんど満足していない	42	2.6
無回答	42	2.6

自然とふれ合える、身近な自然環境があることへの市民の満足度は、
・満足派 54.2%
 (「とても満足している」7.1% + 「ある程度満足している」47.1%)
・不満派 20.2%
 (「あまり満足していない」17.6% + 「ほとんど満足していない」2.6%)



問 2 1 自然とふれ合える、身近な自然環境の存在に対する満足度



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

34 身近な自然環境の存在に対する不満の理由

副問 2 1 - 1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から1つ選んで下さい。

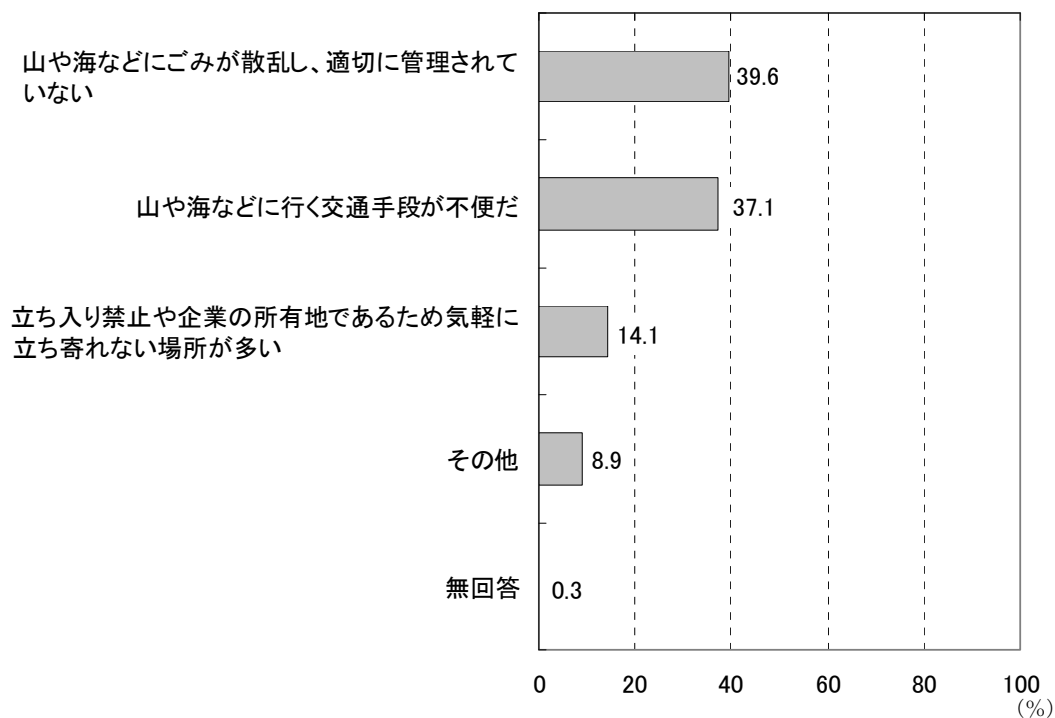
N:326人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 山や海などにごみが散乱し、適切に管理されていない	129	39.6
2 山や海などに行く交通手段が不便だ	121	37.1
3 立ち入り禁止や企業の所有地であるため気軽に立ち寄れない場所が多い	46	14.1
4 その他(具体的に:)	29	8.9
無回答	1	0.3

身近な自然環境の存在に対する不満の主な理由は、

1位 「山や海などにごみが散乱し、適切に管理されていない」(39.6%)

2位 「山や海などに行く交通手段が不便だ」(37.1%)



副問 2 1 - 1 身近な自然環境の存在に対する不満の理由

	サンプル数	て乱山 いしや ない海 い適な 切に に管 理が され 散	手山 段や が海 不な 便だ に 行 く 交 通	多に所 立有 ち地 入寄 れあ る禁 止 な い た め 場 所 が 業 の	その他	無 回 答	
全体	326	39.6	37.1	14.1	8.9	0.3	
性別	男性	142	40.8	31.0	18.3	9.9	0.0
	女性	180	38.9	41.1	11.1	8.3	0.6
年齢	20歳代	31	38.7	35.5	25.8	0.0	0.0
	30歳代	57	40.4	29.8	15.8	14.0	0.0
	40歳代	48	39.6	33.3	14.6	12.5	0.0
	50歳代	59	49.2	30.5	15.3	5.1	0.0
	60歳代	66	36.4	40.9	12.1	10.6	0.0
	70歳以上	61	34.4	47.5	8.2	8.2	1.6
現在地での 居住年数	1年未満	15	40.0	26.7	13.3	20.0	0.0
	2年未満	13	53.8	30.8	15.4	0.0	0.0
	3年未満	10	20.0	40.0	30.0	10.0	0.0
	5年未満	22	31.8	36.4	22.7	9.1	0.0
	10年未満	37	35.1	35.1	24.3	5.4	0.0
	20年未満	57	43.9	38.6	8.8	8.8	0.0
	30年未満	59	37.3	39.0	15.3	8.5	0.0
	30年以上	109	42.2	36.7	10.1	10.1	0.9
職業	自営業	22	50.0	18.2	22.7	9.1	0.0
	自由業	4	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0
	会社員	82	45.1	26.8	22.0	6.1	0.0
	公務員・教員	7	57.1	42.9	0.0	0.0	0.0
	農・林・漁業	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	49	44.9	34.7	4.1	16.3	0.0
	主婦・主夫(専業)	58	37.9	37.9	13.8	10.3	0.0
	学生	7	14.3	71.4	14.3	0.0	0.0
	無職	65	33.8	44.6	12.3	7.7	1.5
その他	23	26.1	47.8	17.4	8.7	0.0	
同居の家族	1人暮らし	39	43.6	38.5	10.3	7.7	0.0
	夫婦のみ	92	37.0	40.2	14.1	7.6	1.1
	親子(2世代)	151	40.4	33.1	15.2	11.3	0.0
	親・子・孫	21	28.6	42.9	19.0	9.5	0.0
	その他	14	50.0	35.7	14.3	0.0	0.0
居住区	門司区	44	36.4	25.0	25.0	13.6	0.0
	小倉北区	51	31.4	41.2	19.6	5.9	2.0
	小倉南区	77	45.5	39.0	9.1	6.5	0.0
	若松区	26	30.8	42.3	3.8	23.1	0.0
	八幡東区	21	42.9	38.1	9.5	9.5	0.0
	八幡西区	85	43.5	34.1	15.3	7.1	0.0
	戸畑区	22	36.4	50.0	9.1	4.5	0.0

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

自然とふれ合える、身近な自然環境の存在に対する満足感

【 全 体 的 傾 向 】

自然とふれ合う場としての身近な自然環境についてみると、「とても満足している」は7.1%、「ある程度満足している」が47.1%、合計すると、満足派は54.2%である。一方、「あまり満足していない」は17.6%、「ほとんど満足していない」は2.6%、合計すると、不満派は20.2%である。

満足派（54.2%）が不満派（20.2%）を大きく上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 居住区別にみると、八幡東区では満足派が65.2%と高くなっている

身近な自然環境の存在に対する不満の理由

【 全 体 的 傾 向 】

自然とふれ合う場としての身近な自然環境に不満の主な理由は、「山や海などにごみが散乱し、適切に管理されていない」（39.6%）と「山や海などに行く交通手段が不便だ」（37.1%）が30%台で並び、「立ち入り禁止や企業の所有地であるため気軽に立ち寄れない場所が多い」が14.1%となっている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 居住区別にみると、小倉南区では「山や海などにごみが散乱し、適切に管理されていない」が45.5%、戸畑区では「山や海などに行く交通手段が不便だ」が50.0%と高くなっている。

【 自由記入欄の回答状況 】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 都市部から山海へ行く歩道の案内がない。
- ・ 高齢者、障害者が利用しにくい。
- ・ あまり魅力ある場所がない。

(17) 市民に身近な行政について

35 市民の意見が、市政に反映されていることへの満足感

問2 2 北九州市では、市政だよりやホームページを活用しての、積極的な情報発信だけでなく、予算編成過程の公開や、「市長への手紙」、タウンミーティングの実施などを通じて、市政に対して市民が意見を伝えることができる仕組みを整え、市政を身近に感じられるような取り組みを進めています。そこで、おたずねします。

あなたは、あなたの声が市に届き、きちんと対応されていると感じますか。

N:1,618人

項目	回答数(人)	割合(%)
1 大いに感じている	30	1.9
2 ある程度感じている	219	13.5
3 どちらとも言えない	628	38.8
4 あまり感じていない	493	30.5
5 ほとんど感じていない	188	11.6
無回答	60	3.7

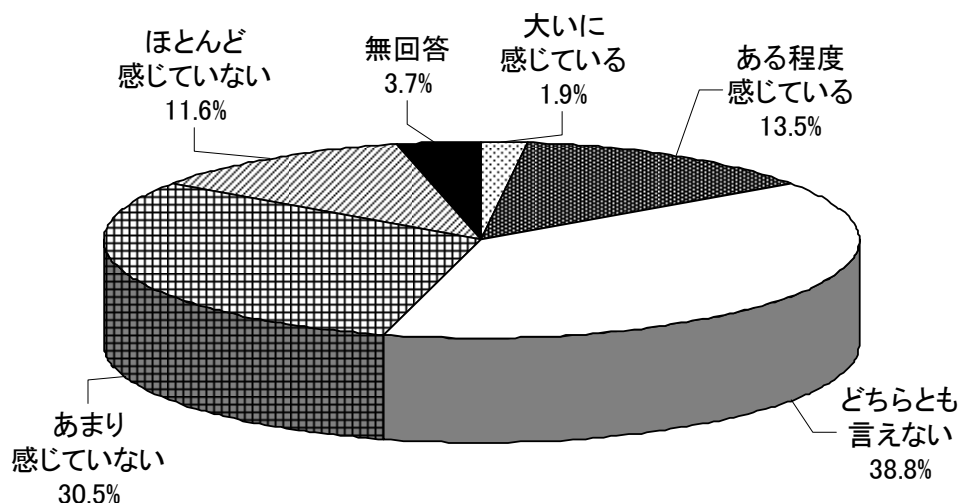
市民の意見が、市政に反映されていることへの市民自身の満足感は、

・肯定層 15.4%

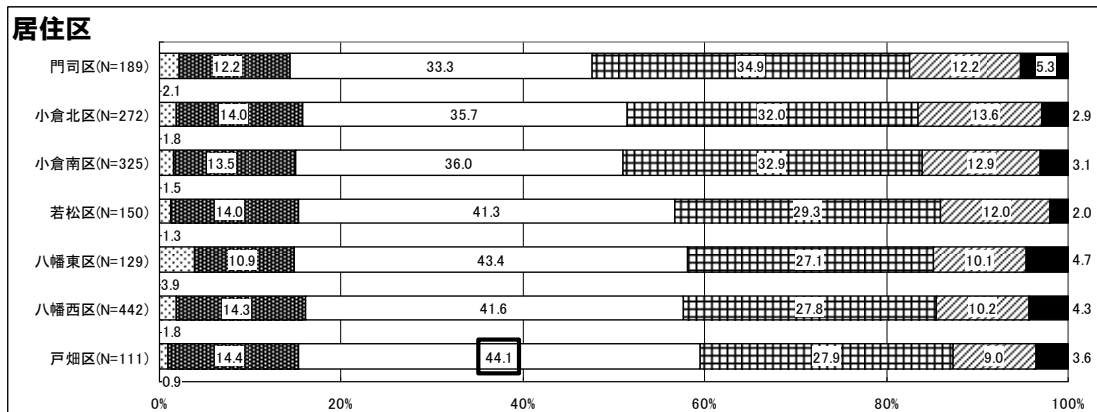
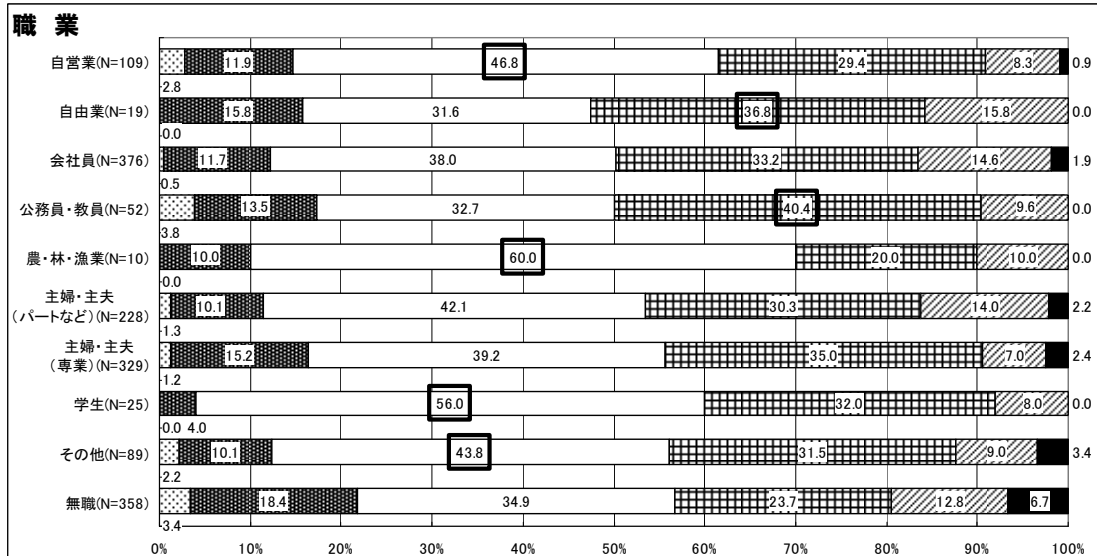
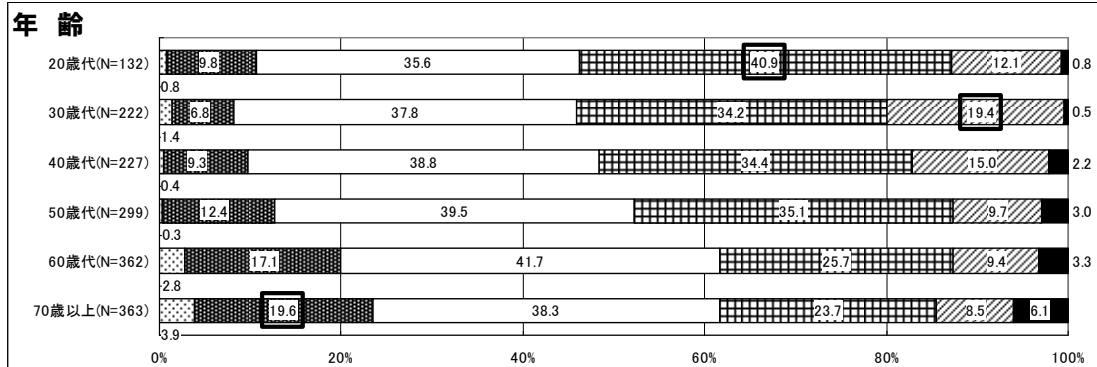
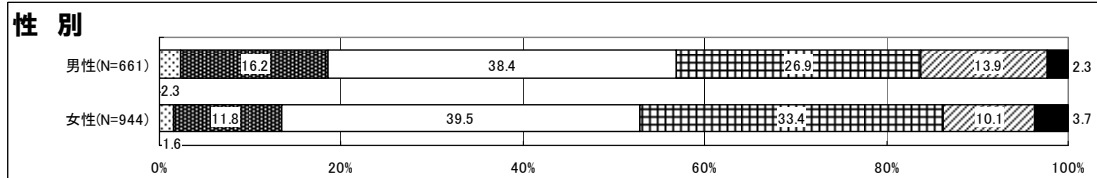
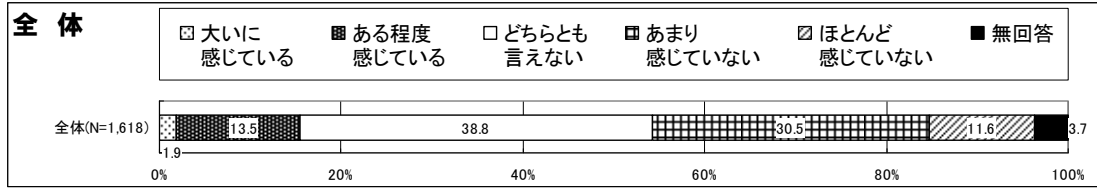
(「大いに感じている」1.9% + 「ある程度感じている」13.5%)

・否定層 42.1%

(「あまり感じていない」30.5% + 「ほとんど感じていない」11.6%)



問 2 2 市民の意見が、市政に反映されていることへの満足感



太枠 全体よりも5ポイント以上高いもの(「無回答」は除く)

36 市民の意見が、市政に反映されていると感じられない理由

副問 2 2 - 1 (4もしくは5と選んだ)理由について、下記から主なものを2つまで選んで下さい。

N:681人

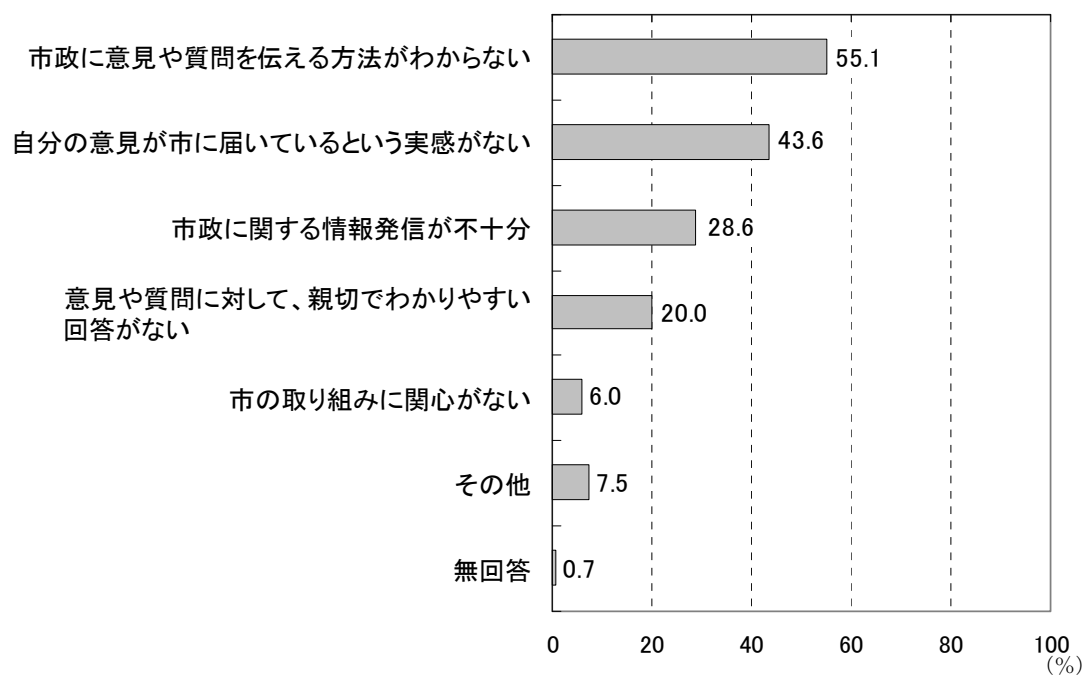
項目	回答数(人)	割合(%)
1 市政に関する情報発信が不十分	195	28.6
2 市政に意見や質問を伝える方法がわからない	375	55.1
3 自分の意見が市に届いているという実感がない	297	43.6
4 意見や質問に対して、親切でわかりやすい回答がない	136	20.0
5 市の取り組みに関心がない	41	6.0
6 その他(具体的に:)	51	7.5
無回答	5	0.7

市民の意見が、市政に反映されていると感じられないとする主な理由は、

1位 「市政に意見や質問を伝える方法がわからない」(55.1%)

2位 「自分の意見が市に届いているという実感がない」(43.6%)

3位 「市政に関する情報発信が不十分」(28.6%)



副問 2 2 - 1 市民の意見が、市政に反映されていると感じられない理由

		サンプル数	が市政に関する情報発信	え市政の方法がわかや質問を伝	いて自分の意見が市に届かない	答親意見がでないわ質問にやすいて、	ないの取り組みに関心が	その他	無回答
全体		681	28.6	55.1	43.6	20.0	6.0	7.5	0.7
性別	男性	270	30.0	53.7	45.2	16.7	5.2	7.0	0.7
	女性	410	27.8	56.1	42.4	22.0	6.6	7.8	0.7
年齢	20歳代	70	30.0	52.9	55.7	20.0	5.7	5.7	0.0
	30歳代	119	32.8	50.4	51.3	17.6	5.0	10.9	0.0
	40歳代	112	37.5	48.2	50.9	19.6	2.7	9.8	0.0
	50歳代	134	28.4	61.2	38.8	25.4	6.7	3.0	0.0
	60歳代	127	24.4	63.8	35.4	15.0	7.9	7.9	0.0
	70歳以上	117	20.5	52.1	35.0	20.5	7.7	7.7	4.3
現在地での居住年数	1年未満	25	32.0	32.0	56.0	28.0	12.0	4.0	0.0
	2年未満	29	44.8	58.6	41.4	13.8	3.4	6.9	0.0
	3年未満	23	26.1	47.8	60.9	30.4	4.3	4.3	0.0
	5年未満	47	34.0	66.0	40.4	12.8	4.3	8.5	0.0
	10年未満	75	28.0	50.7	48.0	20.0	5.3	10.7	0.0
	20年未満	128	31.3	57.0	42.2	18.0	7.8	7.0	0.0
	30年未満	132	25.8	59.1	44.7	22.7	7.6	3.8	0.0
	30年以上	221	25.8	53.8	39.8	19.5	4.5	9.5	2.3
職業	自営業	41	31.7	63.4	29.3	22.0	4.9	4.9	2.4
	自由業	10	40.0	60.0	40.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	会社員	180	32.2	51.7	45.6	17.8	5.6	8.3	0.6
	公務員・教員	26	26.9	50.0	65.4	15.4	0.0	7.7	0.0
	農・林・漁業	3	0.0	66.7	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0
	主婦・主夫(パートなど)	101	27.7	57.4	38.6	19.8	5.9	8.9	0.0
	主婦・主夫(専業)	138	27.5	58.7	47.8	26.1	3.6	4.3	0.0
	学生	10	10.0	60.0	80.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	無職	131	26.0	55.0	35.9	13.7	12.2	9.2	2.3
その他	36	30.6	44.4	47.2	25.0	2.8	8.3	0.0	
同居の家族	1人暮らし	80	28.8	60.0	36.3	20.0	6.3	3.8	3.8
	夫婦のみ	176	23.9	55.1	39.2	22.7	7.4	6.8	0.6
	親子(2世代)	345	30.7	52.8	48.4	18.8	5.5	9.3	0.0
	親・子・孫	44	20.5	54.5	40.9	27.3	9.1	2.3	2.3
	その他	31	45.2	64.5	41.9	6.5	0.0	6.5	0.0
居住区	門司区	89	21.3	61.8	50.6	22.5	1.1	6.7	0.0
	小倉北区	124	31.5	55.6	38.7	16.9	6.5	7.3	0.8
	小倉南区	149	38.9	55.7	42.3	21.5	2.7	7.4	0.0
	若松区	62	24.2	59.7	48.4	19.4	4.8	4.8	0.0
	八幡東区	48	29.2	45.8	35.4	20.8	10.4	10.4	2.1
	八幡西区	168	26.2	53.0	46.4	19.6	8.3	7.1	1.2
	戸畑区	41	14.6	48.8	39.0	19.5	14.6	12.2	2.4

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの(「その他」、「無回答」は除く)

市民の意見が、市政に反映されていることへの満足感

【 全 体 的 傾 向 】

市民の声が市に届き、きちんと対応されていると感じるかどうかをみると、「大いに感じている」は1.9%、「ある程度感じている」は13.5%、合計すると、肯定層は15.4%である。一方、「あまり感じていない」は30.5%、「ほとんど感じていない」は11.6%、合計すると、否定層は42.1%である。

否定層（42.1%）が肯定層（15.4%）を大きく上回っている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、否定層は年齢が低いほど高く、20歳代、30歳代では50%を超えている。

市民の意見が、市政に反映されていると感じられない理由

【 全 体 的 傾 向 】

市民の声が市に届き、きちんと対応されていると感じていない主な理由は、「市政に意見や質問を伝える方法がわからない」（55.1%）をトップに、「自分の意見が市に届いているという実感がない」（43.6%）、「市政に関する情報発信が不十分」（28.6%）、「意見や質問に対して、親切でわかりやすい回答がない」（20.0%）と続いている。

【 属 性 別 に み た 傾 向 】

- 年齢別にみると、20歳代、30歳代、40歳代は「自分の意見が市に届いているという実感がない」が50%を超えているが、50歳代、60歳代では「市政に意見や質問を伝える方法がわからない」が60%を超えている。

【 自由記入欄の回答状況 】

自由記入欄には以下のような意見や感想があった。

- ・ 市役所、区役所の対応が悪い。
- ・ 現在は自分のこと以外に関心がない。
- ・ 以前に比べたら安全で文化的で暮らしやすくなった。これからもずっと住んでいく予定。

3 まとめ

以上、市政に対する評価をひとつずつ個別にみてきたが、今回のアンケート調査から、下表に示す 18 分野をまとめてみることにする。

問	省略表示	質問文の内容
問2	子育て	安心して子育てができる
問3	教育	子どもたちがいきいきと学び成長している
問4	生涯学習	生涯にわたって自由に学び、その成果を活かした活動を行う環境が整っている
問5	コミュニティ	地域とのつながりの中で、安心して暮らせている
問6	高齢者	高齢者がいつまでもいきいきと自分らしく生活していける
問7	人にやさしいまち	すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らすことができる
問8	生活環境	住みやすい、住み続けたいと思えるような生活環境を有する
問9	文化・スポーツ	芸術・文化やスポーツに親しむ機会に恵まれている
問10	市民活動	町内会やNPO、ボランティアなどの市民活動に参加しやすい環境が整っている
問11	人材・就業支援	市が取り組んでいる人材育成・就業支援は十分である
問13	小倉都心のにぎわい	小倉都心に、にぎわいを感じる
問14	黒崎副都心のにぎわい	黒崎副都心に、にぎわいを感じる
問15	車移動利便	市内の車での移動は便利である
問16	公共交通機関	市内の電車やバス、モノレールといった公共交通機関での移動は便利である
問17	公共施設	道路、公園、建物などの公共施設について、安心して、快適に利用できる
問20	環境に配慮した取り組み	市や市民の環境に配慮した取り組みへの自信
問21	自然環境	自然とふれ合う場としての身近な自然環境(※これのみ満足度)
問22	市民意見の反映	あなたの声が市に届き、きちんと対応されている

次頁の散布図は、肯定層割合と否定層割合により、18 分野をポジショニングしたものである。

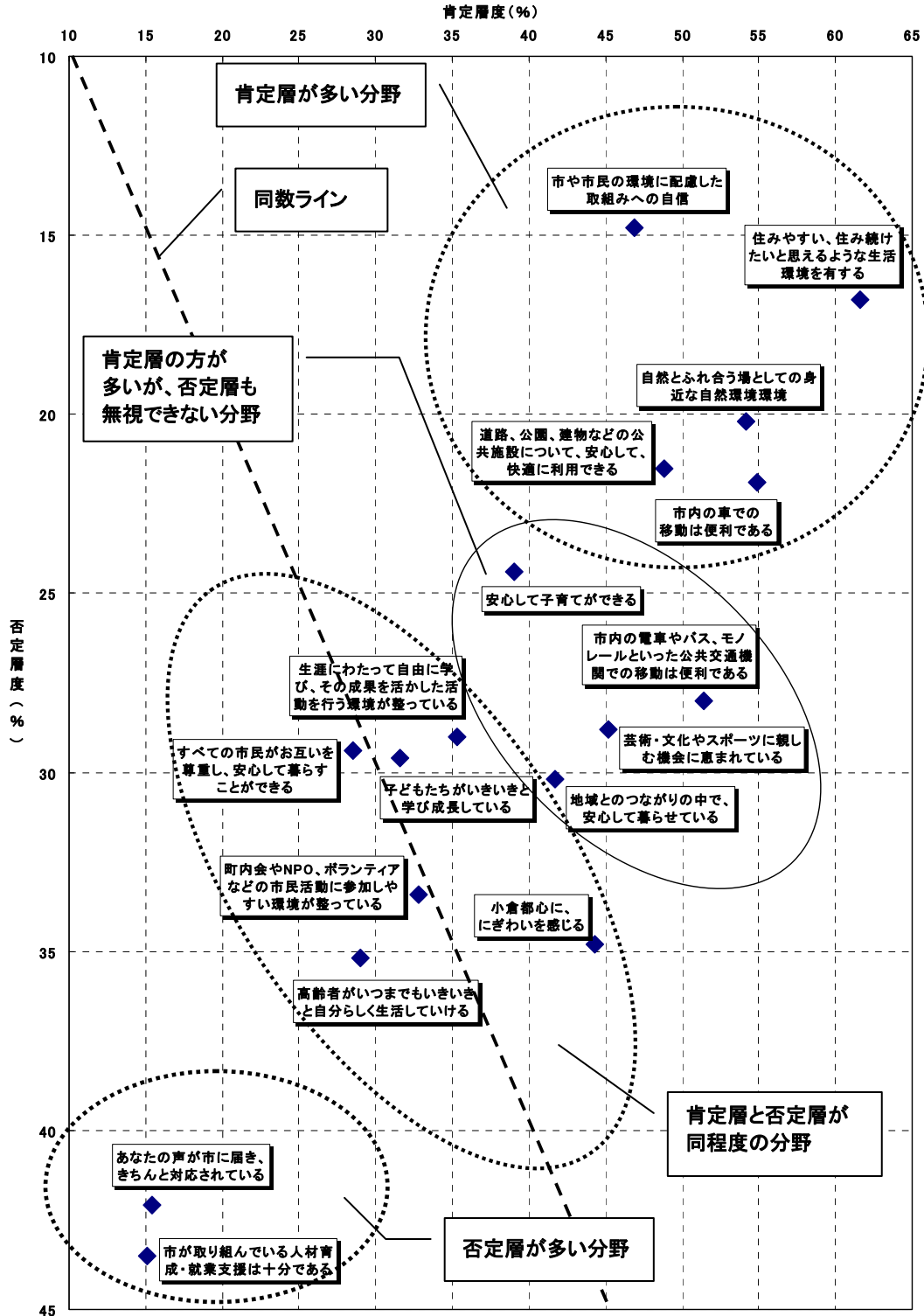
これをみると、道路や公園などの公共施設、バス、モノレールなどの公共交通機関、自動車への対応など、都市のインフラ等に対する評価や、環境の取り組みは肯定層が圧倒的に多く、今後の居住意向も非常に強くなっており、全体的には北九州市に対する評価は高いものと思われる。

ただ、市民の声の市政などへの反映や人材育成、就業支援、黒崎副都心のにぎわいに対しては、否定層が大きく上回っている。

肯定層と否定層が拮抗している分野は、すべての市民がお互いを尊重し、安心して暮らすことができるという人にやさしいまち、子どもたちがいきいきと学び成長しているという教育環境、高齢者がいつまでもいきいきと自分らしく生活していけるという高齢者環境などの福祉や教育を中心とする分野、さらには、町内会やNPO、ボランティアなどの市民活動に参加しやすい環境が整っているといった市民活動に関する分野である。

これらの分野は、少子高齢化の進展の中で、現状では様々な意見が入り交じっており、今後の方向性をこれから見つけていかなければならない分野でもある。

肯定層と否定層のポジショニング



(注)「黒崎副都心に、にぎわいを感じる」はグラフの範囲外値(肯定層 4.2%, 否定層 76.9%)のため、表示されていない。

次に、年齢別、居住区別に肯定層の割合をレーダーチャートでしめし、それぞれの属性別の特徴をみてみよう。

全体では、市民の声の市政への反映や人材育成、就業支援などが肯定層の割合が低いことから、凹んだ形となっている。

これを、性別にみると、グラフ形は男女ともほぼ同じであることから、性別による差は

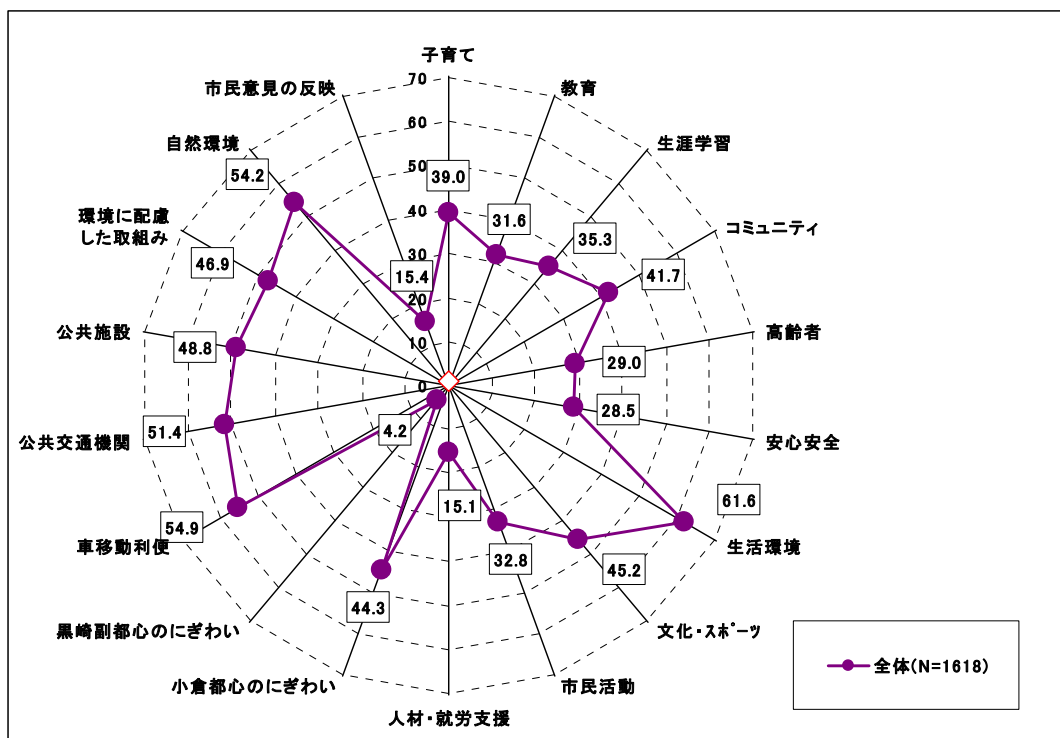
あまり大きくないことがわかる。

これに対して、次ページ以降に示す年齢別、居住区別のグラフではかなり差がある。

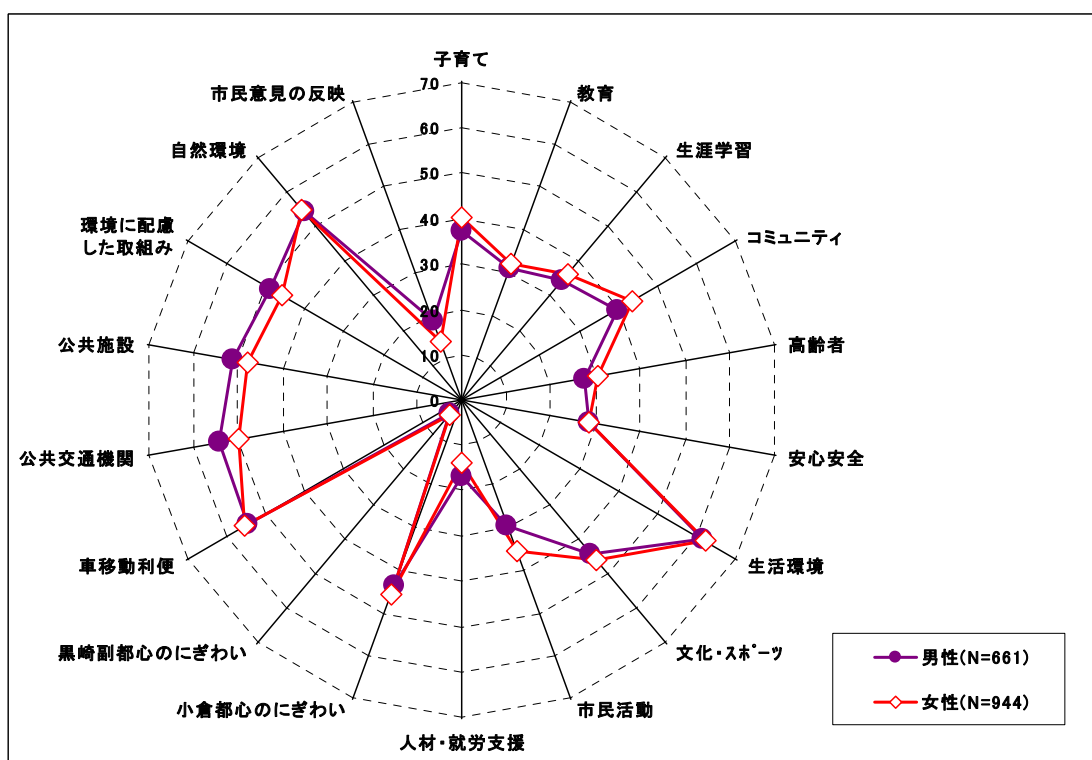
年齢別では、20歳代、30歳代という年齢の低い層で評価の厳しい分野が多く、60歳代、70歳代では総体的に評価は高くなっている。

居住区別では、八幡東区で評価の高い分野が多くなっている。

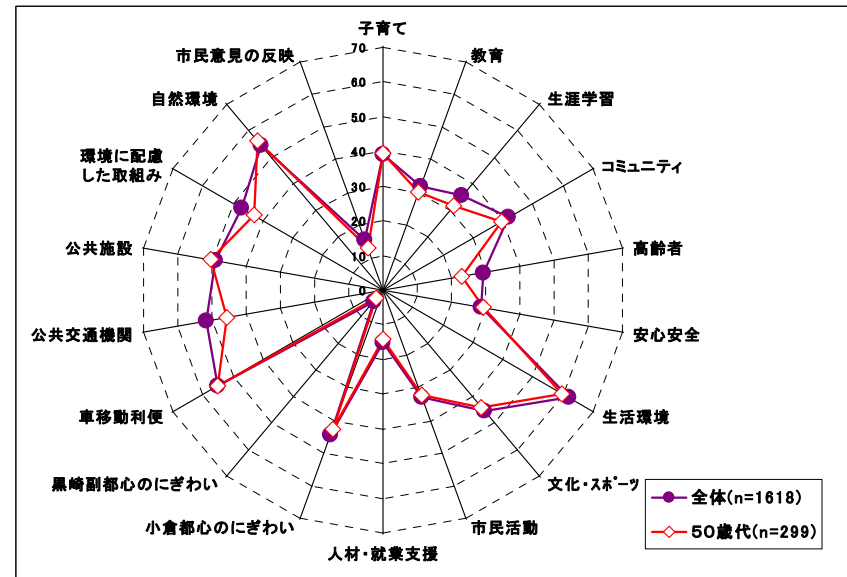
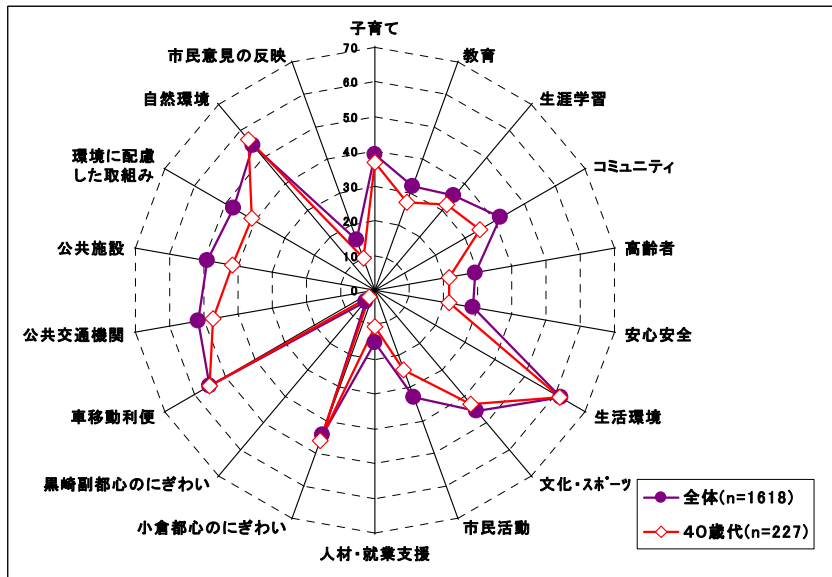
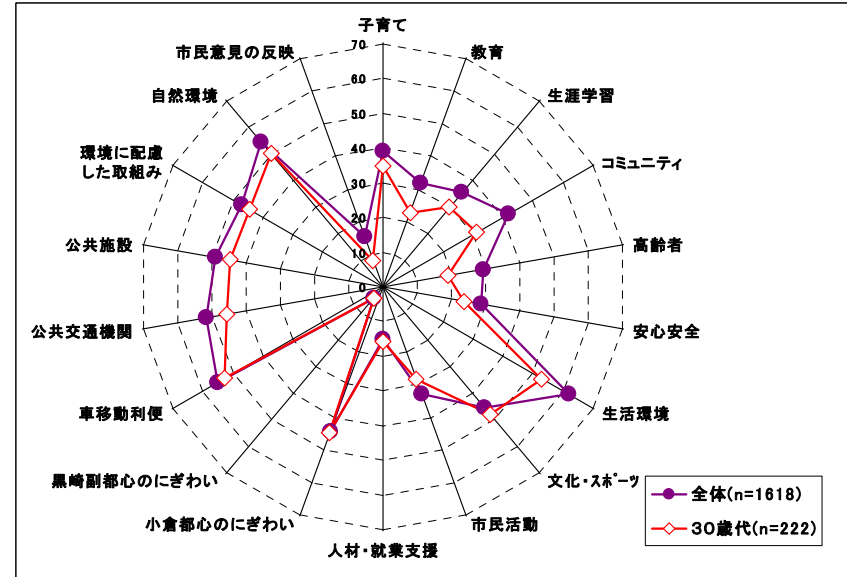
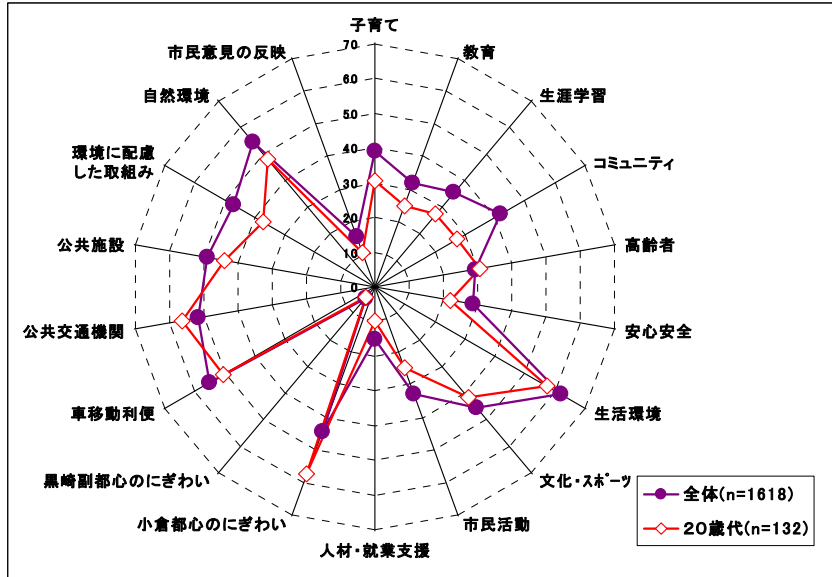
全体でみた肯定層の割合



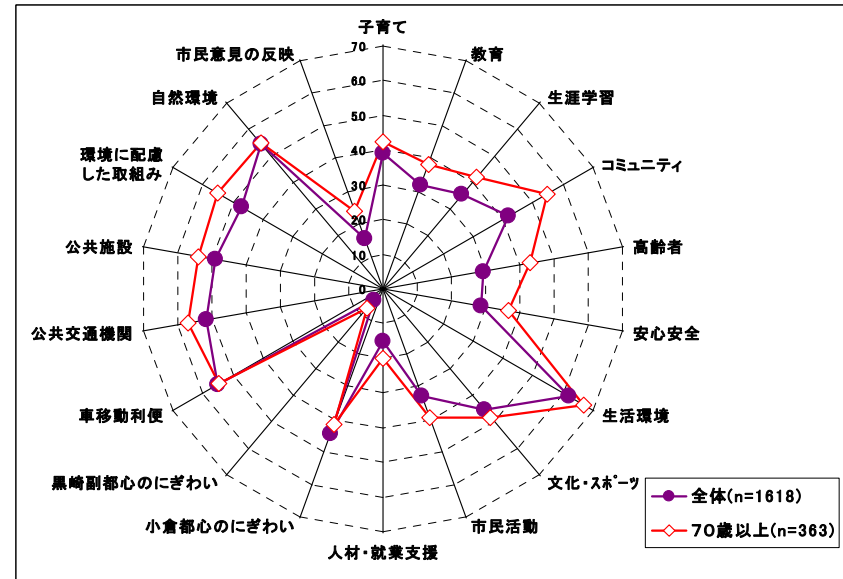
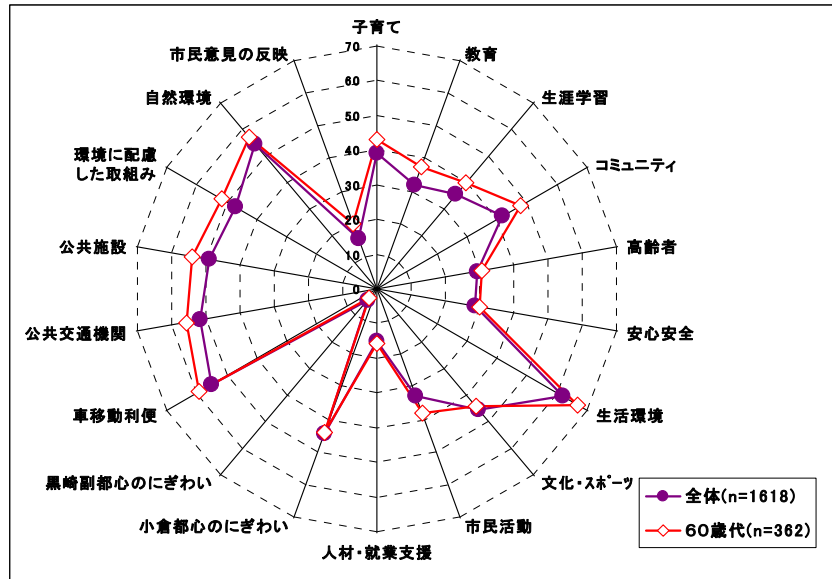
性別にみた肯定層の割合



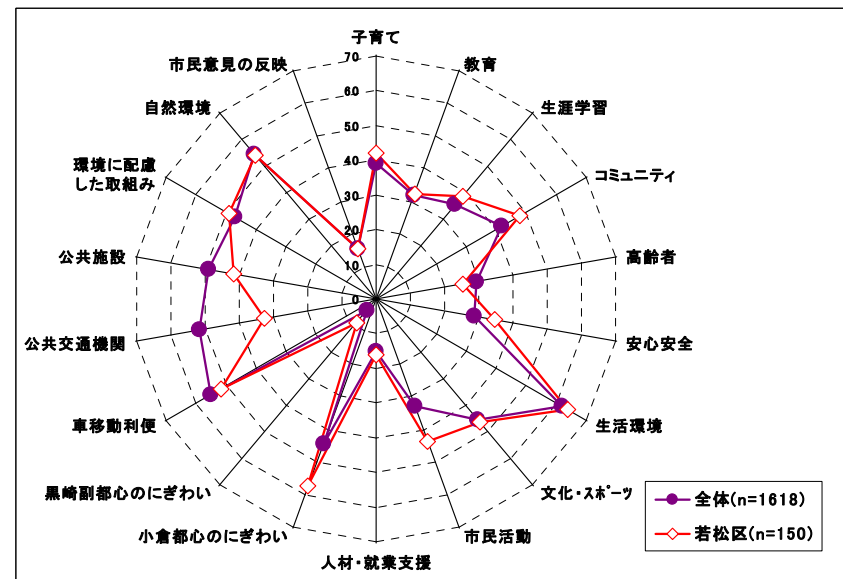
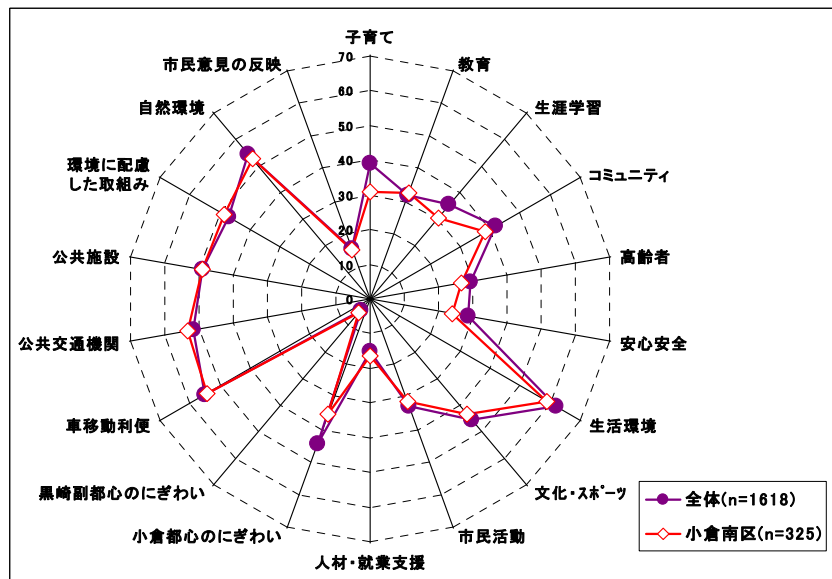
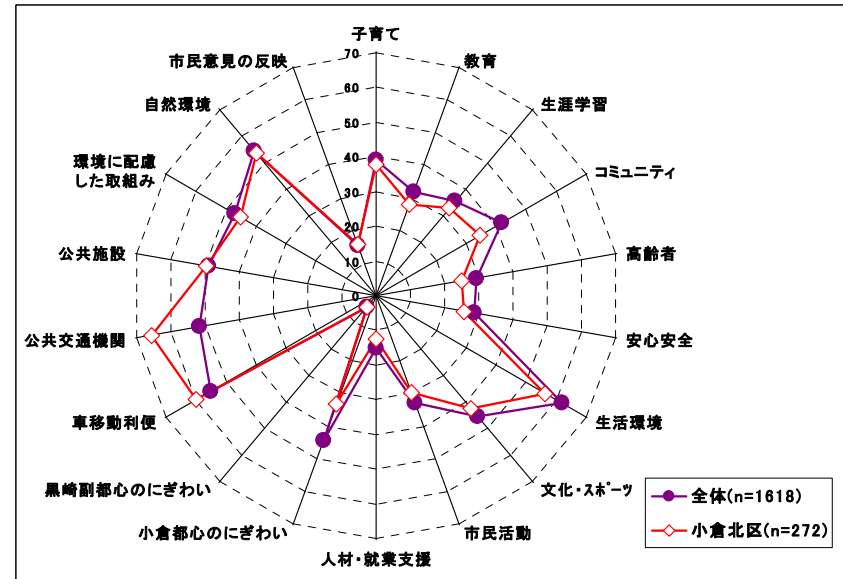
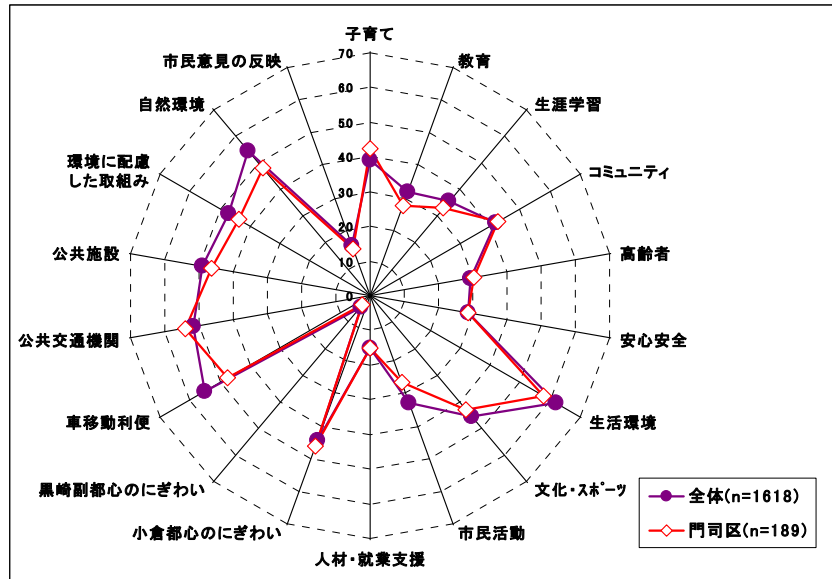
年齢別にみた肯定層の割合 (その1)



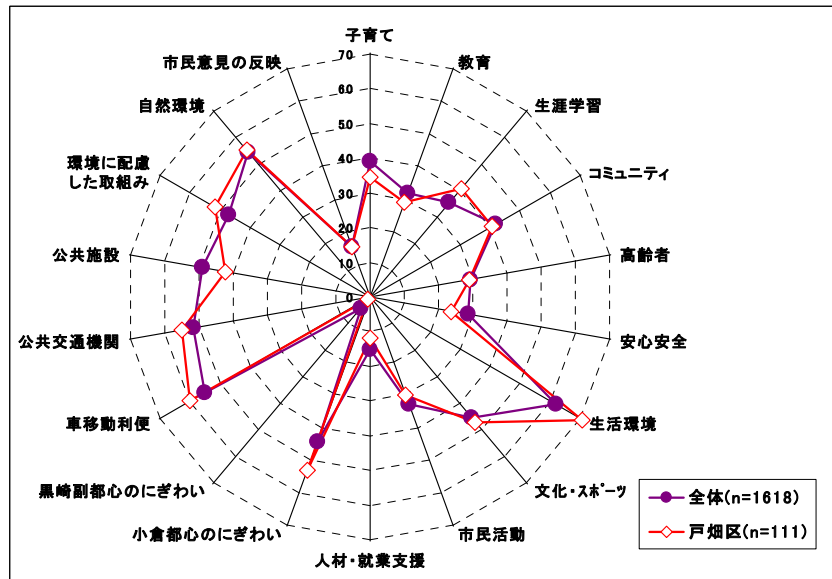
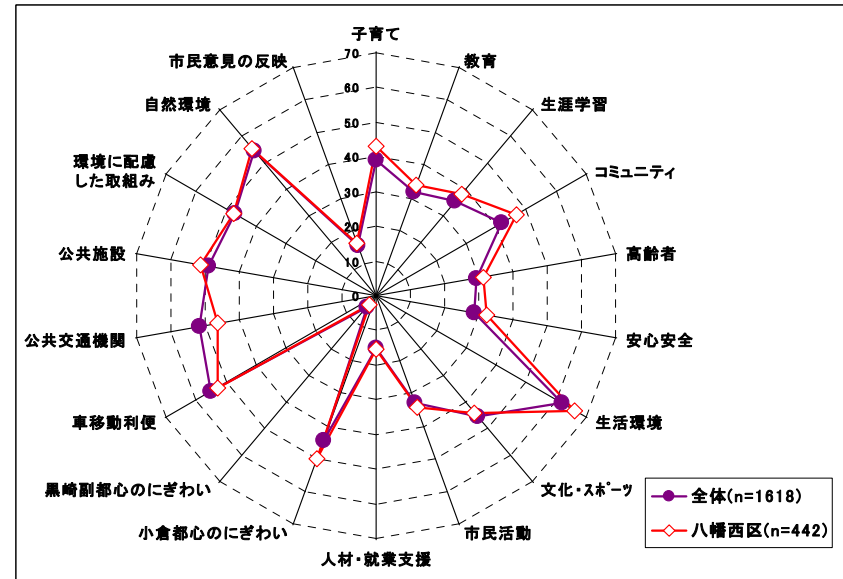
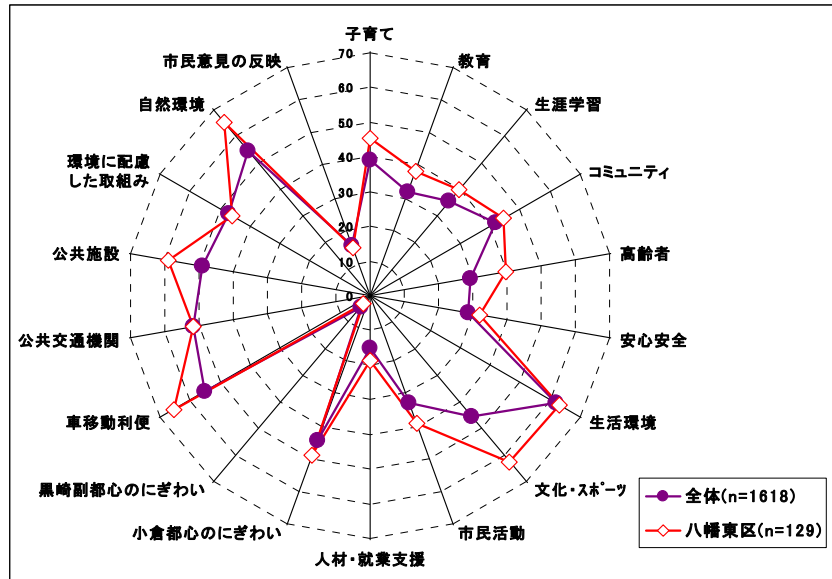
年齢別にみた肯定層の割合 (その2)



居住区別にみた肯定層の割合 (その1)



居住区別にみた肯定層の割合 (その2)



属性別にみた肯定層の割合

	サンプル数	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問15	問16	問17	問21	問22	
		る安心して子育てができる	子どもたちがいきいきと学ばせている	学生涯にわたってその成果を活かしている	地域とのつながりが深い	高齢者がいつまでもいきいきと生活している	すべての市民がお互いを尊重し合っている	住みやすい、環境を有している	芸術・文化やスポーツに恵まれている	町内会やNPO、ボランティアなどの市民活動に参加している	市が取り組んでいる人材育成・就業支援は十分である	市内の車での移動は便利である	市内の電車やバス、移動は公共モビリティなどを利用している	道の公園、建物など、公共施設、快適に利用できる	自然とふれ合う場としての自然環境	あなたの声が届いている	
全体	1618	39.0	31.6	35.3	41.7	29.0	28.5	61.6	45.2	32.8	15.1	54.9	51.4	48.8	54.2	15.4	
性別	男性	661	37.2	30.8	34.1	39.3	27.4	28.4	61.2	44.0	29.4	16.9	54.1	54.0	50.9	53.9	18.5
	女性	944	40.1	31.8	36.0	43.4	30.1	28.4	61.9	45.9	35.1	13.9	55.2	49.6	47.8	54.7	13.4
年齢	20歳代	132	30.3	25.0	27.3	27.3	30.3	22.0	56.8	41.6	25.0	9.9	50.0	56.1	43.9	47.8	10.6
	30歳代	222	34.7	22.6	29.7	31.1	18.9	23.4	52.7	47.8	28.0	15.8	52.3	45.5	44.6	50.0	8.2
	40歳代	227	36.6	26.9	32.1	34.8	21.6	21.6	61.2	42.7	24.2	10.5	54.6	47.1	41.4	56.4	9.7
	50歳代	299	39.1	30.1	31.7	39.1	23.0	29.1	59.2	43.9	32.1	14.0	54.5	45.5	49.9	55.8	12.7
	60歳代	362	42.8	37.3	39.7	47.5	30.4	29.8	66.3	44.2	37.9	15.8	58.8	55.5	53.8	56.9	19.9
	70歳以上	363	42.2	37.8	41.9	54.2	42.7	36.6	66.4	48.2	39.4	20.1	54.3	56.8	53.5	54.6	23.5
現在地での居住年数	1年未満	54	27.8	22.3	31.5	22.3	24.1	18.6	51.8	44.4	20.4	11.1	42.6	42.6	48.1	51.8	11.1
	2年未満	44	20.5	20.5	22.7	27.2	25.0	22.7	59.0	47.7	34.0	9.1	43.1	43.2	34.1	50.0	2.3
	3年未満	58	44.9	31.1	32.8	39.7	24.1	36.2	69.0	50.0	32.7	17.2	65.5	62.0	46.5	56.9	15.5
	5年未満	89	32.6	28.0	32.6	38.2	21.4	26.9	61.8	48.3	30.4	12.4	61.8	55.1	47.1	50.6	14.6
	10年未満	164	33.5	28.0	30.4	33.5	19.5	23.8	53.7	41.5	26.2	13.4	53.0	54.9	46.3	51.3	12.2
	20年未満	282	39.0	26.9	32.3	36.9	25.9	20.9	57.8	45.1	34.1	12.1	56.0	46.1	40.4	55.7	12.4
	30年未満	321	39.6	29.9	36.1	42.6	30.8	29.9	61.7	44.2	29.9	16.5	52.4	52.6	51.4	51.7	18.3
	30年以上	593	42.7	37.8	39.4	49.4	34.5	33.5	66.1	45.7	36.8	17.6	55.9	52.1	54.6	57.0	17.8
職業	自営業	109	38.6	31.2	38.5	43.1	27.5	31.2	56.8	46.8	33.0	21.1	57.8	54.1	50.5	55.9	14.7
	自由業	19	57.9	15.8	10.5	26.4	21.1	21.1	68.4	52.6	10.5	21.1	73.7	47.4	79.0	68.5	15.8
	会社員	376	33.3	26.0	27.4	33.0	22.6	22.3	59.8	41.7	26.0	12.2	50.8	47.7	47.3	55.0	12.2
	公務員・教員	52	30.8	23.0	34.6	28.8	32.7	30.8	61.5	44.2	28.8	19.2	63.4	44.2	52.0	59.6	17.3
	農・林・漁業	10	50.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	50.0	60.0	50.0	10.0	30.0	40.0	30.0	50.0	10.0
	主婦・主夫(パートなど)	228	37.7	35.1	35.1	41.3	23.3	29.4	65.7	43.5	35.1	13.1	57.0	55.3	46.5	56.6	11.4
	主婦・主夫(専業)	329	45.9	35.5	39.5	47.7	34.0	33.7	63.0	48.3	39.2	13.4	53.8	47.8	48.3	53.8	16.4
	学生	25	32.0	16.0	32.0	40.0	24.0	32.0	56.0	40.0	20.0	8.0	52.0	52.0	52.0	44.0	4.0
	無職	358	40.5	36.1	40.8	48.0	37.1	29.6	63.1	44.1	34.7	18.5	57.0	55.6	53.0	53.6	21.8
	その他	89	34.8	24.7	31.4	40.5	21.3	23.6	55.0	51.7	31.4	15.7	50.6	56.2	41.6	47.2	12.3
	同居の家族	1人暮らし	192	36.5	28.6	34.3	40.6	32.8	28.6	63.0	43.7	30.7	18.7	52.7	56.7	51.6	51.0
夫婦のみ		474	41.5	37.3	41.0	48.3	31.7	29.5	63.9	46.7	36.7	17.5	56.3	55.7	52.7	54.4	20.2
親子(2世代)		735	38.5	29.0	31.0	37.9	25.0	25.5	60.0	44.2	29.4	12.7	55.0	48.4	45.9	55.0	12.1
親・子・孫		125	40.0	33.6	44.0	49.6	37.6	43.2	60.8	45.6	46.4	17.6	53.6	45.6	53.6	57.6	16.0
その他		69	30.4	23.1	23.2	30.4	26.1	26.1	59.4	43.5	23.1	11.5	52.1	46.4	44.9	53.6	15.9
居住区	門司区	189	42.3	27.5	32.8	42.3	30.2	28.6	57.7	42.4	26.5	14.9	47.1	54.0	46.1	47.6	14.3
	小倉北区	272	37.5	27.9	32.7	34.2	25.0	25.4	55.9	42.3	29.4	12.5	59.6	65.5	49.3	53.3	15.8
	小倉南区	325	30.8	32.3	30.5	38.4	26.4	24.0	58.7	43.3	31.4	16.3	54.1	53.0	48.9	52.6	15.0
	若松区	150	42.0	32.0	38.6	47.3	25.3	34.7	63.4	46.0	43.4	16.0	51.3	32.6	41.4	54.0	15.3
	八幡東区	129	45.0	38.0	39.6	44.2	39.6	31.8	62.8	62.1	38.8	18.6	65.1	51.2	59.0	65.2	14.8
	八幡西区	442	42.7	33.8	37.8	46.4	31.2	32.1	65.6	43.9	34.0	15.4	52.7	46.1	50.9	55.4	16.1
	戸畑区	111	34.2	38.8	40.5	40.5	28.8	23.4	70.3	46.8	29.7	11.7	59.4	54.9	42.3	55.0	15.3

(注) **太字** 全体よりも5ポイント以上高いもの

太字 全体よりも5ポイント以上低いもの